

## . 參考資料

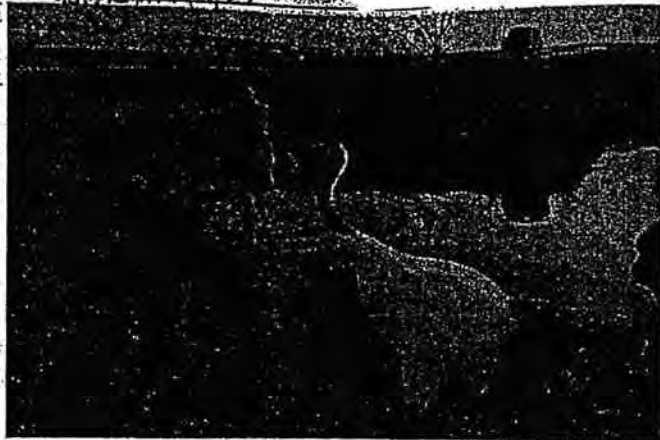
## 参考資料 目次

1．関連報道記事	1
2．東北ボランティアホリデー検討委員会委員名簿	16
3．東北ボランティアホリデー検討委員会議事録	18
4．大都市住民に向けたニーズ調査アンケート票	33
5．大都市住民に向けたニーズ調査アンケート集計表	42
6．大都市住民に向けたニーズ調査アンケート自由回答	59
7．モデル事業モニター募集告知先リスト	75
8．モデル事業モニター募集チラシ	78

2004.11.13 北海道新聞 朝刊

2004.11.13 北海道新聞 夕刊

6.11.13  
北海道新聞(朝刊)



モデル事業では、阿寒国際ツルセンターで給餌や掃除などの作業を体験してもらう。

# 奉仕活動に 阿寒へおいで

【阿寒】過疎化の進む地方で、大都市の住民がボランティア活動しながら長期滞在する「ボランティアホリデー」のモデル事業が、阿寒町で十四日から始まる。国土交通省が来年からの事業化を目指しているもので、同町も将来は多くのボランティアを受け入れ、町内での消費拡大や定住促進につなげる考えだ。

都市と地域との交流、地域経済の活性化などの効果

【阿寒】過疎化の進む地方で、大都市の住民がボランティア活動しながら長期滞在する「ボランティアホリデー」のモデル事業が、阿寒町で十四日から始まる。国土交通省が来年からの事業化を目指しているもので、同町も将来は多くのボランティアを受け入れ、町内での消費拡大や定住促進につなげる考えだ。

## 消費拡大、定住促進狙う

加者を募集する一方、受け入れる自治体も企画と呼びかける計画だ。

今回、阿寒町では、奈良県の五十代女性と兵庫県六十代女性がモニターとして二週間滞在する。阿寒国際ツルセンターでタヌキの給餌や、移動図書館バスで本の貸し出しなどを手伝う。

町まちづくり推進課は「ボランティアには、夏ならマリモの保護活動などたくさんメニューを用意したい。道内への移住を考えている本州の人は、阿寒町での生活を試してもらえ」と意欲的。中島守一町長も「この事業で阿寒町のイメージが上がるかもしれない」と期待を寄せている。(本郷由美子)

## ツル飼育、遺跡復元…

# ボランティア体験で道東知って

道庁職員は十四日から一週間にPRし、観光を生かしたまま、都市部の住民がボランティア活動をしながら地方に滞在する「ボランティアホリデー」のモニター実験を、道東の四町で行う。国土交通省が本年度始めた事業の一環で、地域の魅力を都市部の人たち

にPRし、観光を生かしたまま、ことなかり理由。道外では東北、四国、九州の各地域でもちづくりにつなげる。実験地は網走管内斜里町、同様の実験が準備中。

### 都市住民招き4町で実験

道庁職員あすから

同管内町、同女道町、釧路、モニターは東京と大阪の二管内阿寒町で、自然が豊かな十五十歳代の男女八人で、北海道らしい景観が楽しめる二人一組で四町に分かれて行

動。受け入れる町は、ツルの飼育(阿寒町)や遺跡の復元(斜里町)など、まちの特色が光るユニークなボランティア活動を用意している。

道庁職員はモニター実験の結果をもとに、年明けには有識者を交えた検討会を開き、自治体が自主的に運営できるような体制や、国としての支援のあり方を探る。



ケージ内の掃除など、タンチョウに接する機会を楽しむモニターの2人（後方）

# ツルに給餌…感激

国のモデル  
奉仕事業 関西の主婦が体験

【阿寒】大都市の住民 期待する「ホランディアボランティア」をしながら「アホリデー」のモデル事業から過疎化の進む地方に長

【阿寒】大都市の住民 期待する「ホランディア」四町で始まった。このうち阿寒町では十六日、関西から参加したモニター二人が阿寒国際ツルセンターで、タンチョウへの

阿寒

給餌などを手伝った。

国土交通省が本年度から始めた事業。阿寒町を訪れたのは主婦の岡林好子さん（左）と兵庫県と岡村伸子さん（右）と奈良県。餌の量を記録しながらタンチョウに給餌したり、タンチョウが住むケージ内で池の掃除などを行った。

岡林さんは「タンチョウが自由に動ける場所に自分が入れるなんて」と貴重な体験に感激。岡村さんは「ホランディアに雪かきなどのメニューがあれば、雪のない地域から来る人も多いのでは」と提案していた。

二人は移動図書館バスでも本の貸し出しなどを手伝い、二十日まで同町内の保養施設に滞在する。主催する道運輸局はモニターの意見などを参考に、ホームページや受

け入れ組織を整備し、来年度から事業を本格化させる方針だ。

（本郷由美子）





平成16年(2004年)10月22日(金曜日)

# 農作業に従事しながら観光も

## 山形でモデル調査

### 4市町 運輸局と 交流内容など提言

#### ボランティアホリデー

東北運輸局は、大都市の住民がボランティア活動をしながら地方に長期滞在する「ボランティアホリデー」のモデル調査を山形県内の四市町で実施する。昨八月に検討委員会を設立し、来年三月まで滞在地域に合ったボランティア活動内容や交流プログラムについて調査・検討し、その後本格的な勧誘導入を目指す。

モデル調査を実施するのは山形、天童、東根、河北の四市町。果物の産地で、温泉、山などの観光資源が豊富なことか

#### どうほく総合

ら、山形県中央部のエリア。調査は北海道と高知が東北で唯一進められ、唐沢島高知でも同時進行期待する交流プログラム

われる。

検討委員会は、四市町の民間非営利団体(NPO)関係者約二十人で構成し、天童市役所で初会合を開く。滞在地域が提供したいボランティア活動内容、大都市住民が

なを調べ、運営体制の検討などを含め提言としてまとめる。四市町の交流プログラムをまとめたパンフレットや、全国のボランティア希望者と滞在先を仲介するホームページ(HP)を作成する。各市町に二人のモニターを割り、実際に一週間程度滞在しながら簡単な農作業など

ボランティアホリデー 都市部の住民が地方に滞在し、ボランティア活動をする。交流事業代わりには宿泊などの特典がある。働きながら外国に滞在するワーキングホリデーのボランティア版で、都市部と地方の交流人口の拡大を狙い、ボランティア活動に従事しながら語学習得する留学プログラムの意味もある。

に從事してもらう試験プログラムもいれる。東北運輸局はモデル調査費約千三百万円を本

年度予算に計上している。二〇〇七年度から様々な年度を通過する「塊の世代」の世代がいくつくりを狙い、地方にとっても都市部との交流が深まり、新しい雇用の創出や人材育成、ボランティア活動の活性化などの

効果が期待される。天童市の長瀬一男観光物産課長は「都市部の住民は従来の観光遊山の観光に満足しなくなっている。HJ作成など知識・技術を生かせる社会貢献の場を提供したい」と話している。



# ボランティアしながら滞在 県内3市1町を指定

## 国交省 モデル 首都圏から受け入れ

国土交通省東北運輸局は、大都市圏の住民がボランティア活動しながら地方圏に一定期間滞在する「ボランティアホリデー」の可能性を調査するモデル事業を、東北では山形、天童、東根、河北の3市1町で行う。四市町の観光、民間非営利団体(NPO)、地域住民、行政などの関係で組織する検討委員会を結成し、首都圏を受け入れ地域でのニーズ調査、公募モニターによる実証事業などを展開。本格導入を視野に、地域に合ったボランティア活動内容の把握を図るため、イン

同運輸局は、受け入れ地域に対するヒアリングや大都市の住民を対象にしたアンケートなどを進め、来月十四日～二十日には、公募モニター募集を行う。四市町による検討会は本年度内にも体制や支援の在り方などを含めた報告をまとめる。

また、来年一月末ごろを前に、企画の参加希望を受け入れ地域をつなぎ、本格稼働に向けていたが、イン

ターネットのポータルサイトも立ち上げ予定

検討会の初会合は、青森、四国、九州の名産地などで八日に天童市役所で開く。この事業は、本年度、厚は約千三百万円。ボランティアホリデーは、都会で定年を迎え、一人や若者が、一定期間の暮らしや観光を体験するもの。都市と地方の交通手段などを利用し地方に滞在。自分の知識やノウハウを生かしたボランティア活動を行いながら地方の経済活性化や魅力創出につなげる狙いがある。

2004.11.9 河北新報

滞在ボランティア受け入れ方や運用方法を探る  
天童で検討委  
大都市の住民がボラ

ボランティア活動に携わりながら地方に長期滞在する「ボランティアホリデー」の運用方法を検討する委員会(大島美穂(天童市長)が八日、天童市であり、十四日から山形市などで実施するモニターツアーについて協議した。

モニターは関西のシニア世代を中心に山形県の四市町に一人ずつ、一週間滞在し、果物の収穫や観光案内などのボランティア活動を行う。天童市では天童高原駅を会場にスタッフとして参加

し、空いた時間を高層観光などの観光に費やす。委員からは「ボランティアに対する若者や中高年のニーズは多い。受け入れ先どうするかマッチさせることが重要」「受け入れ側に負担が大きくなる。両者を仲介するホームページの作成やコーディネート育成を行う」。

検討委は東北運輸局の主催で、山形、天童、東根の3市と河北町の観光担当、民間非営利団体(NPO)関係者などで構成。都市住民の意向や活動プログラムについて調査、両者を仲介するホームページの作成やコーディネート育成を行う。



# 委員長に大島氏

## 東北ポランティア初会合で選出

国土交通省東北運輸局の「ポランティアホリデー」モデル事業エリアに選ばれた県内四市町の関係者による「東北ポランティアホリデー検討委員会」の初会合が八日、天宮市役所で開かれ、今後の事業展開や課題などについて意見を交換した。

ポランティアホリデー事業は、大都市の住民がポランティア活動をしながら地方圏に一定期間滞在し、地域との交流を深

めるもの。同運輸局は本年度、山形、天宮、東根、河北の三市一町をモデル地域に選り、調査や実証実験を展開する。

この日は、各市町の観光、民間非営利団体（NPO）、行政関係者を回

又、総務、農林各官庁の担当官など委員二十二人が出席。委員長に大島美恵子東北公益文科大学学長を選んだ。事業概要のほか、今年十四日から六泊七日の日程で、各市町ごとに「ポランティア」や、都市部の住民千人を対象にしたニーズ調査などの説明を受けた後、

意見交換に入った。

委員からは「受け入れ側の負担なども考えられ、両者の調整を図るロードマップの作成が大事」「地域特性を考慮した受け入れメニューの開発が重要」「互いに構えず気楽に取り組める態勢をとっていきたい」などの意見が出た。

本年度三回の会合を予定しており、次回は山形市で来年一月十七日に関

# リンゴ収穫イベント補助、地域との交流

## 「ボランティアホリデー」モデル事業 メニューや態勢どう?

### 山形など 4市町 モニター招き実験

国土交通省東北運輸局が真内で展開する「ボランティアホリデー」事業のモデルエリアとなっている山形、天童、東根、河北の三市一町で、県外モニター八人を招いてのモデル事業が繰り広げられている。来年度以降の本格実施に向けた実証実験。モニターは二十日までの日程で、農作業やイベント補助などのボランティアを行いながら各市町に滞在。活動メニューや受け入れ態勢などについて率直に意見、感想をまとめる。



「ボランティアホリデー」モデル事業のモニターとして、果樹園でリンゴの収穫作業を手伝う石村進さん、昌子さん夫妻（手前） 上、天童市



農産物の袋詰め作業を体験する森本陽子さん（左）と松田典子さん 上、東根市

ボランティアホリデーは、大都市圏の住民がボランティア活動をしながら地方圏に一定期間滞在し、地域との交流を深める事業。同運輸局は本年度、県内の三市一町をモデル地域に選定し、調査・検討を進めている。

受け入れ態勢の整備などに向けた課題を探るために行うのが、モニターによる実証ツアー。対象地域ごとに、県外から公募したモニター二人ずつを受け入れ、実際にボランティア

ボランティアホリデーを体験してもらう。

山形市では、ハウス栽培の食用菊の収穫やバック詰め作業など。天童市では、リンゴの収穫作業やイベント補助、宿泊を兼ねた天童高原ロッジの夜間宿直などのメニューを用意した。

東根市では、リンゴの収穫や共同選果場での仕分け、直売所での販売などをを行うほか、河北町ではリンゴ、ラフランスの選果や箱詰め、バラの芽摘み、野菜収穫などを手伝うプログラム。いずれも、作業時間以外は、観光や体験を楽しみ、地域との交流を深めている。

とは違った形で交流が面白そうだと応募した。農作業にかける土地の人の本音が聞けるし、楽しい話も聞けることができるとうれしそうに語り、東根市のモニターを務める森本陽子さん（上）兵庫県明石市、大学生と松田典子さん（中）兵庫県宝塚市、大学院生は「多くの人と触れ合える情報交換できる関係が生まれたらうれしい」と話していた。二十日は、モニター全員が集まり、関係者と意見交換する。

このうち、天童市を訪れた石村進さん（左）、昌子さん（右）夫妻は大阪府枚方市に「従来の観光旅行やボランティア活動

# ボランティアアホリデー事業

## 05年度、本格導入

県内4市町

首都圏から農産体験などのボランティアを迎え、交流人口を拡大しようという国土交通省東北運輸局などの「ボランティアアホリデー」事業で、モデル地区の指定を受けた県内三市一町の関係者らによる東北ボランティアアホリデー検討委員会が一日、東根市役所で開かれた。検討委員は、二〇〇五年度にホームページ（HP）を開設し、三市一町で事業を本格導入することを決めた。

都会の人たちが地方に一定期間滞在し、ボランティア活動を通して地域との交流を深めるもので、北海道、東北、四国、九州の四地方で本年度実施した。東北では、東根、天童、山形、河北の三市一町がモデル地区となった。八人がモニターとして実際に体験。検討委員は、実績について調査・検討を進めてきた。

この日の会議では、三市一町が〇五年度の事業に本格的に参画することを決定。農産体験やイベントの企画・運営、観光地整備といった提供できる活動メニューを示した。同時に、各市町が受け付け窓口を暫定的に担当し、事務局を担うコーディネーターの発掘、養成を進めることにした。また、今年四月に開設するHPの内容なども検討した。一方、本年度のモデル事業を通じ、同運輸局などは計五万部のパンフレットを作り、広報することにした。

# 8人がボランティアホリデー

## 高知の暮らし体験中

都市と地方の交流人口拡大を、国土交通省が取り組む「ボランティアホリデー」のモニターツアーが四日まで、安芸市など県内四市町村で行われている。参加者は普段、都会ではできない農作業などを体験し、心地よい汗を流している。

ボランティアホリデーは、都市住民が地方に民泊などで長期滞在し、ボランティア活動を行って地域住民と交流。地域活性化にもつなげようと、同省が本県や北海道などで実施。県内では安芸市、香美郡夜須町、幡多郡大方町、西土佐村がモデル地区となっている。

本県でのモニターツアーは十一月二十八日から関東や関西の大学生、企業の退職者ら八人が四市町村に滞在している。

大方町ではシカゴ大大学院生の小林盾さん(三〇)東京都と、無職の小川敬史さん(二七)千葉県が天日塩や黒砂糖作りを体験。三日は伊田漁民センターで干物作りに挑戦した。



④魚のさばき方を教わるボランティアホリデーの参加者(大方町の伊田漁民センター) ⑤ユズの収穫を体験する大学生(安芸市入河内)

## 安芸市、夜須町、大方町、西土佐村

町漁協伊田支所女性部のメンバーから魚のさばき方を教わり、小林さんは「骨に沿って包丁を動かすのがとても難しい」と四苦八苦。小川さんは三枚おろしなどを行い、メンバーも「なかなかうまくいかない」。小林さんは「ボランティアに興味はあったが、参加する機会がなかった。今回は体験メニューも用意してくれ、気軽に参加できた」と話していた。

安芸市では明治四四年の藤田宏美さん(三〇)東京都と、早稲田大三年の藤田圭子さん(三〇)千葉県がユズの収穫や内原野陶芸館で土練りを体験。三日は入河内地区でユズの収穫を手伝った。

藤田さんは「高知の人は温かい。でも、若い人がほとんどいない地区もあって驚いた」。藤田さんは「ナス農家でハチを使う先進的な取り組みを知った。新鮮な体験がたくさんできた」と喜んでた。入河内の女性(五〇)も「田舎を知ってもらっただけでも価値がある」と笑顔で話していた。



# ポランティアし長期滞在 阿久根など2市4町 受け入れ可能か調査

九州運輸局

九州運輸局は四日、都  
市部の住民がポランティ  
ア活動をしながら地方圏  
に長期滞在する「ポラン  
ティアホリデー」にかん  
する調査を、阿久根市な  
ど周辺二市四町で行うと  
発表した。ポランティア  
を通して都市部と交流を  
広げ、地域の活性化につ  
なげる目的。

調査地域は阿久根市の  
ほか出水市、高尾野、野  
田、長島、東の各町。  
計画では、九州運輸局  
が十、十一月に、宿泊施  
設や観光業者、ポランテ  
ィア団体、交通機関など  
にヒアリング調査し、受  
け入れ可能なポランティ  
ア活動を吟味する。都市

部の住民がどのようなポ  
ランティアをしたいか東  
京、大阪でアンケート調  
査を実施、十二月には実  
際にポランティアを招  
き、約一週間モデル事業  
を行う。最終的には受け  
入れ先にかんする情報を  
インターネットで紹介す  
る予定。  
同調査は二〇〇四年度  
の単年度事業で、北海道、  
東北、四国の自治体で同  
様の調査がある。

# 休暇は地方でポランティア

九州運輸局は、東京や大  
阪など大都市の住民がポ  
ランティアをしながら地方に  
一定期間滞在する「ポラン  
ティアホリデー」事業に乗  
り出す。年内に鹿児島県内  
でモデル事業を始め、今後  
要な繁忙期の農作業といっ  
なから地方での暮らしを体  
験する、といったプログ  
ラムを地域ごとに作成す  
る。

京、大阪両都市圏の住民に  
は地方で体験してみたい内  
容を調査する。

例えば都市住民が一週間  
程度の休暇を利用し、ポ  
ランティア先の民家に宿泊し  
ながら地方での暮らしを体  
験する、といったプログ  
ラムを地域ごとに作成す  
る。

同事業は九州のほか、北  
海道、東北、四国の各運輸  
局も乗り出す方針。受け入  
れ側と希望者との橋渡しの  
ため、四地域共同でポラン  
ティア需要を一覧できるポ  
ータルページも立ち上げ  
る。

## 運輸局がモデル事業

## 観光活性化ねらう

九州運輸局は「大都市圏  
との交流が地方の自立につ  
ながれば」としている。

### 青鉛筆



▽農作業や焼酎づくり  
を手伝いながら田舎暮らし  
はいかが。国土交  
通省が29日、鹿児島県の  
北薩地区でポランティア  
ホリデーのモニターツアー



1を始めた。  
▽新しい旅のスタイル  
を模索する6泊7日の企  
画。初日は関西や関東か  
ら応募した8人が、高尾  
野町の観光ブドウ園で枝  
の剪定などに取り組んだ  
写真。

▽座禅体験の寺掃除や  
みそ造りもある。  
農家民泊の旅が広  
がりつつある中  
で、旅費は公費負  
担の実験。成功の  
カギは「そこが  
みそ」と呼べる  
ようなアイデア  
か？

# モニター8人が 体験調査に参加

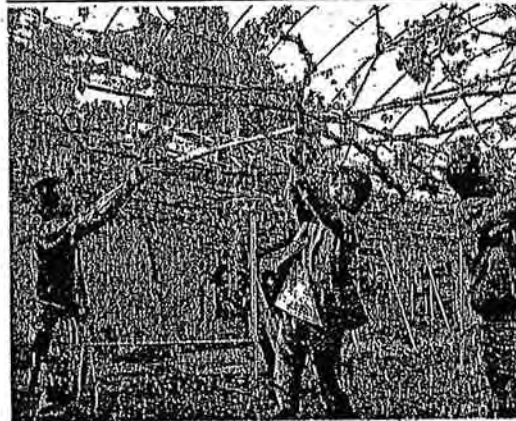
ブリ出荷やボンタン収穫など

## 出水地区でボランティアホリデー制度

国が推進する「ボランティアホリデー」制度の確立を目指し、同制度の体験調査が二十九日、高尾野町など出水地区で始まった。

同制度は大都市圏の住民が地方に長期滞在しボランティア活動をするこゝとで交流人口を増やし、地域活性化につなげようとするもので国土交通省と総務省が連携して推進する事業。今年初

九州は同町や出水市、阿久根市など二市四町で実施。大学生や六十代の主婦ら八人のモニターが、東京や大阪などから参加し、十二月三日まで東町でブリの出荷作業や阿久根市のボンタン農家で収穫作業などを手伝



神之田さん（左）のブドウ農園の枝切り作業を手伝う大学生ボランティアたち

この日は高尾野町のブドウ農園と長島町のシャガイモ畑で四人ずつか

れて作業。ブドウ農園では枝切り作業や草取りなどを手伝った。東京で美容室を経営し、農業に興味があり参加した西森章さん（右）は「都会のシンママ世代には魅力ある事業になるのでは」と評価。

「意欲のある人に来てもらえば助かるし、刺激にもなる。いい企画でいつでも受け入れたい」と話した。

園はモニターや受け入れ先からのアンケート調査を基に具体的な運営方法を検討する。



### 長期滞在型ボランティア 鹿児島でモニター調査

九州運輸局

国土交通

省九州運輸局は、都市の住民が地方に長期滞在し、ボランティア活動をする

「ボランティアホリデー」普及を目指して、鹿児島県内でモニター調査を始めた。

調査は、東京都と大阪府在住の男女八人がモニターとなり、二十八日から十二月四日までの六泊七日の日程で同県内の出水市、阿久根市など二市八町に滞在。シャカイモ掘りやフリ出荷作業、ミ

カン農家のボランティアなどを行う。同運輸局が最終日に参加した印籠や楽しかったことなどのモニターの意見を集約する。調査結果は、学識経験者などで構成する「九州ボランティアホリデー検討委員会」が別に実施した受け入れ先のニーズ調査などとあわせて検討し、来年三月に報告書をまとめる予定。同運輸局によると、モニター調査は国交省のモデル事業として、北海道、東北、四国、九州の四運輸局で実施している。これら調査結果を踏まえ、国交省が大都市圏と地方圏の交流人口拡大策となる「ボランティアホリデー」の仕組み確立を目指すといい。

#### ☆ボランティアホリデー制を体験

**鹿児島**

大都市の住民が地方に長期滞在し、ボランティア活動することを通して交流人口を増やそうという「ボランティアホリデー制度」の体験調査が高尾野町などで始まった。参加者は農作業などを手伝う。

# 都会からボランティア

## 農業体験など 長期滞在で活性化や交流



神之田さん（左端）の手ほどきを受けながら、ブドウの枝切りをするボランティアモニター

1/1 統

過疎化に悩む地域に都市部からボランティアを招き、長期間滞在してもらうことで、地域の活性化や交流人口拡大につなげようと、国が実施しているボランティアホリデー・モデル事業」が、高尾野町などで始まった。

国のモデル事業 高尾野などで始まる

ボランティアホリデー代から六十歳代までのモニターは、都市部の住民が余暇をター八人が参加。このうち利用して、農山村の民家や四人は十一月二十九日、高尾野町の観光ブドウ園で、キャンピング場などの施設で過ごしながら、地元で農作業などの手伝いを無償で行う取り組み。国土交通省と総務省は今年度、北海道と山形、高知、鹿児島県でモデル事業を実施。県内からは、出水市や長島町など出水地区の二市四町がモデル地域に選ばれた。

関東や関西在住の二十歳

農園主の神之田玄一さん

（41）は「普段は接客することのできない都市の人たちと交流できて、いい刺激になりました」と話した。

モデル事業は、十二月四日までで、ミカン農家やブドウの出荷作業、土産品店などでボランティアを行う予定。

「ミニトマトは青いまま採って出荷しても店に並ぶころは赤くなる。でもね、樹上完熟のほうが断然おいしいんだ」

十一月末、根占町のトマト農家田淵悦一さん(左)が自分のハウスで、農業体験中の鹿児島市の会社員らに説明した。

都市と地方の交流人口を増やそうと、県と地元市町が実施した「南大隅体験型ツアー」だ。参加したのは県内のミニタロー十人。各農家に一日民泊し、よもぎだんご作りや佐多岬トレッキングなどのメニューも組まれている。

田淵さんにとっては、農業へのこだわりを消費者に直接伝える場だ。「樹上完熟で赤く色づいたトマトをいかに早く市場に送るかが勝負。流通の都合よりもおいしい物が優先」

# スローに生きる

## 新田舎暮らしの波

ミニタローは「スローパー」で買うトマトに、当たり外れがある理由が分かった。どうなすいた。



# 都市の「ス」眠る地域の素材に光

ミニトマトは青いまま採って出荷しても店に並ぶころは赤くなる。でもね、樹上完熟のほうが断然おいしいんだ

真鍋勝利さん(右)の説明を熱心に聞くホリデーの参加者ら  
＝出水市美原町

東京や大阪から訪れた男女四人が収穫作業を手伝っていた。「枝は短く切ってください。箱に詰めるときミカンに傷が付きます」ミカン園を営む真鍋勝利さん(右)が手を休めることなくアドバイスする。ホリデーからは見よう見まねでハサミを入れる。東京都板橋区の実業家森草さん(左)は初めての体験に興味津々だ。趣味はガーデニングや庭園管理などの土いじり。こうして農家にしかに接していると愛情を持って仕事をしてくれる様子がよく分かる」と語った。

ホリデーの調査は一週間。総勢十人の都市住民が出水のミカン園のほか阿久根市のボンタン農家や東町のアヲ漁師の仕事などを体験した。都市と農山漁村による交流のあり方をめぐり、さまざま形で模索が続いている。

「都市に住む人たちの旅行目的は依然として『温泉と食』が上位だが、農村や自然に触れる旅を欲する人が増えているのは確か」南大隅体験型ツアーをコーディネートした出版会社、マイソドシエア九州(福岡市)の白水田一郎さん(左)は都市側の「ス」を実感する。農家の生活の知恵や長老らの話も重要な観光素材の一つになり得るとい

「取材班：山野俊郎」  
「第四部おわり」  
「取班：山野俊郎」  
「取材班：山野俊郎」  
「第四部おわり」

**かごしま郵便**

連載へのご意見は「かごしま郵便」取材班へ。手紙＝890-8603(住所不詳)マブックスOgino, Inc. 107-8V電子メール:shokai@frees.com

年間連載第4部

## 2. 東北ボランティアホリデー検討委員会委員名簿

【敬称略】

氏 名	所 属
大島 美恵子	東北公益文科大学 副学長
山口 元	東北広域観光推進協議会 理事長
結城 英治	山形商工会議所 常務理事
山口 宣弘	天童市観光物産協会 専務理事
須藤 路子	山形創造 NPO 支援ネットワーク 理事
工藤 一夫	天童 NPO 支援サロン 理事長
阿部 俊昭	東根市農業協同組合 営農販売部 部長
佐藤 俊一郎	東日本旅客鉄道株式会社 仙台支社 営業部 部長
山本 利定	株式会社 J T B 山形支店 支店長
岡村 健司	山形県商工労働観光部 部長
榎森 正志	山形市商工観光部 部長
名佐原 雅治	天童市経済部 部長
細矢 昭男	東根市経済部 部長
阿部 憲義	河北町商工観光課 課長
松村 廣一	農林水産省農村振興局地域振興課 課長補佐
佐々木 義光	東北農政局農村計画部 農村振興課 課長
白石 秀俊	国土交通省国土計画局地方計画課 地方計画調整官
村上 雅巳	国土交通省総合政策局観光地域振興課 課長補佐
海谷 厚志	国土交通省総合政策局交通計画課 企画調整官
佐藤 紀明	総務省自治行政局地域振興課 課長補佐
名執 潔	東北運輸局企画振興部 部長

事務局

氏名	所属
三澤 眞一	東北運輸局企画振興部観光振興課 課長
田中 和男	東北運輸局企画振興部観光振興課 専門官
小野 寺 実	東北運輸局企画振興部観光振興課 観光第二係長
藤澤 義人	東北運輸局企画振興部企画課 専門官

### 3. 東北ボランティアホリデー検討委員会議事録

#### 第1回 東北ボランティアホリデー検討委員会 議事概要

- 日時： 平成16年11月8日（月） 14：00～16：00
- 会場： 天童市役所 5階会議室
- 議題： (1) 本事業の概要について  
(2) ニーズ調査の状況について  
(3) モデル事業の概要について  
(4) その他

#### 議事内容

- (天童市長あいさつ)  
(主催者あいさつ)  
(委員会委員長選任)  
(委員長あいさつ)

#### 【議題1】本事業の概要について

- (説明) 事務局より事業の概要とスケジュールについて説明
- (委員より意見) 観光も体験型・交流型になり、地域で何気なく見ているものが観光資源になることが知られてはきたが、いい資源があってもなかなか活かしきれないのが現状。天童では中山間部にスキー場もあるし、地産地消を看板にした店や新しい品種で蕎麦打ち体験させるところもあり、今回のボランティアメニューもこうした中から比較的スムーズに決まってきた。しかしこれらの資源を今はまだ経済の低迷の中ではうまく生かしきれしていない。1企業や1市だけでなく広域的に進めるべきだと考えている。
- (委員より意見) 東北運輸局と一緒に広域的に東北全体の観光に力を入れている。顧客のニーズも多種多様になっているし、こういう形からお客様を広げていくと言う意味でボランティアホリデーはおもしろい企画である。
- (委員より意見) 企画にもう一つびんとこないところがある。これから調査されるということと思うが、労働力としてあてにせず、それでいて歓迎し、リピートされるよう満足してもらうのは、受け入れに難しいソフトが必要とされるのではないか。ただ、例えば自然公園のマナー指導の講習をして、講習を受けた方に認定をして、都合のよい時に自然公園に来て、マナーのよくない人にやさしく注意をするというような、あまり拘束しなくても能力を発揮できるようなボランティアとか、お祭りの時に手伝いにくるとか、そういうことはあると思う。いずれもやりがいがあって継続的に来てもらえるメニューを発掘し、その上で地元と交流できるものを探す必要がある。
- (委員長) 確かに地元の負担や持ち出しが大きいと継続が難しい。この点は考えなくてはならない。
- (委員より意見) 地元でボランティアするならともかく、遠くから来てもらって無償という負担が重いのではないか。自発性にどうやって訴えていくかということが問題。農家レストランに関わっているが、地元のお母さんたちにボランティアで実費程度で料理をつくっ



ていただいております、地域とお料理と両方味わっていただきたいと考えている。こういうレストランの作る側に回ってもらうというボランティアもあるのではないかと。地元でもあまり知られていない地域の個性を打ち出していききたいし、そこにはコーディネーターの役割がとても大切である。

(委員より意見) ボランティアホリデーと似たような企画を東根市とJAで今春検討した。ただその時はまったく無償ではなく、東根温泉にも入っていただき、半分労働で少しだけ対価をお支払いし、リピーターをつくっていくというものであった。その企画をどう進めるかは決定していないが、その時も農家に関しては収穫の楽しみが一番魅力的だという話が出た。ただ収穫作業はなかなか難しく、JAに協力的な農家を探す必要もある。事業全体については賛成で、協力的な農家を探して、大変とは思いますがお手伝いしていきたい。

(委員より意見) 交流人口拡大というのは町の活性化につながり、旅行エージェントが常に取り組んでいるところである。アメリカだと海外へのロングステイが盛んで、年金を貯めて安く滞在できる場所に半月くらい滞在するが、ボランティアホリデーも通常の観光のリピーターをつくるのとは違い、滞在、ホームステイ的要素も出てくる。ただこういう取り組みは、例えば住民が町の魅力を共通認識として持ち、住民みんなが町の顔というのは何か、ボランティアや観光メニューの開発とは、というようなことをわかってくれないと行政だけではできない。また行政はハードへの投資は研究しているが、ボランティアも含めたソフト部分があまいうまくできない。利用者が何を求めているか、ここを研究してうまくやらないと、お金を投入しただけ、話し合っただけで終わってしまい、継続事業になりにくい。

(事務局) 今年度は実証実験である。こういうところが大変だ、ここをやらなくてはならない、ということ調査で探し出し洗い出すのが目的である。先週北海道の委員会にも出席したが、北海道では受け入れ先の問題よりも、どういう人を呼ぶか、どういう人に情報発信していくかが論点になっており、同じことをやっても地域によって討議のポイントや視点が異なる。全国の4エリアを一度に進めているのはそのような違いを活かすためでもあるので、よい例を紹介し合いながら進めたい。ボランティアホリデーに何を期待するのか、単純労働で来るのか、社会貢献したいのか、ホリデーが中心でボランティアが次なのか、そこも調査をしていく。その上で、来年以降、こうすれば来る人も来やすい、マッチングもしやすいというメニューをつくっていくことが大切である。期間は長ければ半年、1年で、1週間以上の長期滞在ということがポイントだと思っている。将来的に事業として成り立たせるためには、旅行商品として飛行機代が安くなったり、JRがお得であったりすればより魅力的になる。宿泊費を安くしようと考えているが、これはそうしないと長期滞在が難しいからで、かわりに長期滞在すれば周りにお金も落としてくれるだろうという前提がある。また、ボランティアが無償なのか有償なのかという問題については、今回で結論が出るものではなく、第2回、3回で検討していきたい。

(委員より意見) 四国の委員会でも、どんなボランティアをしてもらうかという話は出たが、結論としては西土佐村の「地域づくりを一緒に手伝ってほしいというメッセージを出したい」という意見に落ち着いた。あくまで、地域づくりをやっていく上で、もう少し手が届

かないところを一緒にやってもらえればということである。一方でモニターツアーをやるわけだが、私も個人的に話してみたところ、地域づくりに関心を持っている大学生などは大変興味を示した。飛行機代がタダだから来るのではという意見もあったが、四国の委員長が高知大学の先生で、今の学生は自己実現につながるものにはお金を払うのでニーズはある、実際に高知大学の学生は交通費自己負担であちこちの地域に入って活動しており、ポータルサイトなどでマッチングさえうまくいけば大丈夫ではないか、本当に自分たちが必要なボランティアメニューをつくっていこうということになった。

(委員長) 東北公益分科大学の学生も市町村に入り込んで、たくさんボランティアをしている。今回の事業はシニアが最大のねらいということだが、若者もターゲットの一つだと思う。

(委員より意見) 農業体験はやってみればおもしろく、農家側も案外助かり、そうお互いに負担なくできるのではないか。半日お手伝いしてもらうのを1週間から半月続けてもらい、リピーターになれば種をまいてから収穫するまで体験できる楽しみがある。もちろん好きな人であればだが、負担とは感じないのではないか。ぶどうをワインにするなど加工作業も含めれば四季を通してできる。熱心な農家を探さなくてはという声もあったが、案外いるのではないか。

(委員より意見) 実際にボランティアを受け入れられる先があまりないのではと思って心配していたが、農業や観光地の製造的な仕事など多少はあるようだ。ただ現場の仕事以外にこれを広げていくのは難しいのではないか。また、宿泊については、交通費と宿泊費の「若干安い」がないとボランティア側のメリットがない。ただ宿泊費を割引する側には何もメリットがないが、長期滞在というだけで割引は実現するのか。また地域づくりという視点が大切という話があったが、地域づくりのボランティアをするというのが具体的にイメージしにくい。イベントならば手伝えるだろうしモデル事業として2～3人の受け入れは可能だろうが、そこから広げていくのが課題かと思う。

(委員長) まさにそのとおり、しくみをどうするかということを長期的に考えなくてはならない。コーディネータをどう養成するかが課題。

(委員より意見) せっかくの機会だから東根の果樹へのこだわり、「果樹王国ひがしね」を多くの人に知ってほしい。そのためこの事業の情報発信には大変関心を持っているし、果樹の選別、収穫、花摘み等をぜひやってもらいたい。また、ボランティアが終わって午後から観光といっても、農家は収穫で忙しい時期で案内もできないが、お互いあまり構えず、一から十までスケジュールを組んであげるのではなく、ボランティアが自分で情報収集し、考えて行動してもらうよう任せるといふようであればよいと考える。旅館の割引の話が出たが、旅館にもABCランクあるわけで、交渉の余地はあり、率直に交渉していくべきだと考える。

(委員長) いろいろ課題があるということでこれからリサーチをしていただくが、いずれも前向きにということで皆さん合意がとれたものと考えてる。

## 【議題2】ニーズ調査の状況について

(説明) 事務局よりニーズ調査の概要について説明

- (委員より意見) ニーズ調査は総務省事業で進めているが、スケジュール上既に設計・発送を終えており、分析プロセスで委員の皆様の意見をちょうだいし活かしていきたい。
- (委員より質問) ニーズでなく、逆にボランティアを受け入れる側のほうは調査しないのか？
- (事務局回答) アンケートでなくヒアリングで調査している。ただし幅広くということではなく、実際に受け入れる方にヒアリングをする。まだ中間報告になるかもしれないが、ニーズ調査の結果と合わせて第2回の委員会の中で報告したい。

### 【議題3】モデル事業の概要について

- (説明) 事務局よりモデル事業の概要について説明
- (委員長) 東北の人は大変あつくおもてなしする方々なので、逆に負担になってしまわないかと心配である。なるべく気楽に、長続きするように、農家の方も楽しんでいただけるようにしていただければと考える。
- (委員より質問) このモデル事業では、観光部分ではどういうふうな考え方でいけばよいのか？先ほどの意見のようになるべく手を出さないで自分たちで組み立ててもらおうということなのか。当方では鉄道が通っておらず足の便が悪いし、宿泊施設も一つしかないが。
- (事務局回答) 今回は車で勝手に動いてもらうわけにもいかないの、コーディネータの協力も得てある程度セッティングをしていただければと思う。本格事業になると訪問客は自己責任でレンタカーを借りて動くということになると思うが、その場合にはポータルサイト等で「ここは電車が通っていないので足についてはレンタカー等が必要」というような情報をきちんと出すことがポイントになるのではないかと。
- (委員より意見) 山形はもてなし過ぎるという意見があったが、確かにすばらしいことではあって、交流の場を設けて山形の人間を知っていただく、ということも大切だと思う。また、農家の方が観光案内するのは無理とのことだが、メニュー開発の中で交流の場を設け、地元の人と話せるようになるのもっともっとすばらしいものになるかと思う。
- (委員より意見) 今の観光はただの物見遊山でなく地元の人と交流したいというニーズが強い。特に交流人口の拡大につなげたいということであるので、公式プログラムにないプログラムということで、地元のおいしいお酒と食材で、負担にならない範囲で、腹を割って飲んだり話したり触れ合える機会を考えていただければと考える。地元のお祭りでもよい。そのような機会があればボランティアの印象に残って、次もボランティアという機会でもなくても知り合いを連れて来訪、あるいは第2のふるさとということにもつながっていくのではないかと。
- (委員より意見) 賛成である。交流も観光ととらえて、交流ニーズがあるのかも把握してほしい。旅は大きく考えると文化交流だと思うので、そこも整理していただきたい。
- (委員より意見) 受け入れには地域性の問題が大きくあるかと思う。山形市は人口も多く、地域の結束が崩れていることも多い。同じ市内でも、例えば高齢化率の高いようなところで地域の結束が残っているところでは地域のふところが受け入れてくれるという形で可能だろうが、山形市の街中のような、地域の結束が崩れているところだと個人が受け入れることになってしまう。地域性の問題をぜひ考えて進めていただきたい。また農業に取り組んでいる青年たち等を核として、地域づくりの観点からボランティアを受け入れていければおもしろいと思う。

(委員より意見) 都市になると個々人の意識がそれぞれ違うので、情報発信を活用して同じ意識を持つ人をまとめる必要があり難しい。まず地域の結束の固い場所でボランティアを受け入れてみるということだろう。

(委員より意見) 天童にはボランティアガイドの会員が約30名おり、ほとんどシニアである。観光の知識については年数回、現場の勉強や専門家の話を聞くなどして活動をしている。今年度のモニターであれば、このボランティアガイドである程度受け入れられるだろうが、長く継続する事業化には別のコーディネータが必要であろう。特に、農家の忙しい時の手伝いを指導する、そういうことが充実しないと難しい。今回関西のモニターが6名とのことだが、山形県の県民性からいうと関東のお客さんのほうが接しやすい。お互いに気を使っている、関西弁だと一部理解しにくかったり誤解が生じやすいところがあるように感じるし、山形の県民性では心を開くまでちょっと時間がかかる。そういう細かいところまでを、来る方に指導するようなきめ細かいフォローをしないと、受け入れ態勢と来る人のギャップが生まれるのではないかと。

(委員長) 今回のモデル事業は事務局に詳細をお任せいただき、今後の本格事業において、具体的にどう進めるかはモデル事業の結果も踏まえて次回に議論したい。

#### 【議題4】その他

(事務局) 第2回の開催日は1月17日月曜日、場所は山形市でご予定いただきたい。時間等詳細は後日ご連絡する。

以上

## 第2回 東北ボランティアホリデー検討委員会 議事概要

- 日時： 平成17年1月17日（月）13：30～15：30
- 会場： 山形市役所 11階会議室
- 議題： (1) ニーズ調査とモデル事業について  
(2) ポータルサイトの構築と今後の取り組みについて  
(3) その他

### 議事内容

(主催者あいさつ)

(配布資料一覧により資料確認)

### 【議題1】ニーズ調査とモデル事業について

(事務局説明) 事務局より「ニーズ調査とモデル事業について」説明

(委員長) モデル事業を受け入れていただいた方にお聞きしたい。

(委員より意見) 1週間、東根に関西から若い方がきていただいた。市の課長と相談して、果物の収穫時期なので、果物の生産、販売、流通というプロセスを、箱詰めから経験してもらった。収穫の喜びを味わってもらうのが一番よいだろうと考え、朽木さんをお願いして収穫をさせてもらった。ところが、実際にやってもらうと、りんごは軸がついてないと商品価値がないのだが、そのようにきちんと収穫することがかなり難しいとわかり、箱詰め作業を体験していただいた。収穫の喜びということも重要だが、モニターの人にも簡単にできることであることが一番大事だとわかった。受け入れ側もかなり気を使うものであること、しかし、気を使いすぎると相手の負担になることを知った。

(委員より意見) 天童高原では、職員が恐縮して、モニターの人をちょっとお客さん扱いしてしまったようだ。モニターの方に感想を尋ねたところ、石村さんの奥さんは蕎麦打ちを教えてもらって役に立ったとのこと。石村さんの旦那さんは、かなり重いものでもあるものかかわらず、スキーリフトの取り付けを珍しがってやってくれたが、疲れたとのことだった。大根の引き抜きは関西でもできることだから珍しいものではないと思っていたが、モニターの人は初めてであったとのこと、都市部の人は大根の引き抜きもしたことがないのだと、こちらがびっくりした。いろいろ課題もあるが今後継続することによって、解決できることも多いと思う。

(委員より意見) ボランティア作業については、先ほど説明にあったように事故があった。当初箱詰めの手配であったが、モニターの一人が、たまたまコンテナを持ったときにぎっくり腰になってしまった。事前にボランティア作業内容をどれだけ具体的に説明でき交流ができたことが非常によかった。大学生の島澤さんが同じくらいの年代の従業員の方と交流を持つようになり、受け入れ側と町合同の懇親会を持つことができ、東京での物産販売にも参加してもらったことは大きな成果であった。1週間という期間では、最初と最後の日は移動で、途中で休息日をとるとボランティア活動日は短くなってしまふ。

河北町の課題は、他の地域と違って宿泊施設が一つしかなく民泊を考える必要がある

こと、公共交通はバスしかなく、観光といった時に広域観光になるだろうが、足をどうするかも課題となる。

(委員より意見) モデル事業ということでもうまくいったが、本番ということになると年間何百人、大量にボランティアホリデーを受け入れるということになると、受け入れ先もそれだけ確保しなくてはならない。そうすると、普段と違う体験をしたということによってもらえる受け入れ先を確保できるかと言うと不安である。関わった職員に聞くと、受け入れ側にある程度お世話をしていただく必要があり、体験していただくようなものであった。受け入れ側のほうがむしろボランティアになっているとのことだった。公共交通機関が発達していないのは、田舎はどこも同じ。今回はモニターだから行政やコーディネータ、あるいは受け入れ側が送迎したのが大半だと思うが、本番になるとそのようにはいかないだろう。その場合はレンタカーやレンタサイクルを借りる必要があり、レンタカーだとかなり高くつくと予想される。受け入れ先、交通機関の問題など、本番としてやっていくにはまだまだ詰めなくてはならない課題がある。

(委員長) 受け入れ側のほうが疲れてしまうということにならないようにしなくてはいけないが、どなたかご意見は。

(委員より意見) ボランティアの人には、気を使わないでできるような簡単な仕事をしていただくのがよい、ということが少しわかってきたような気がする。

(委員より意見) 受け入れ側も、やってもらってよかったと思えるようであればだめだと思う。今回は時期を決めて実施したからであって、時期が変われば、誰でもできる役に立つ作業があるはず。受け入れ側がこの月は何、というように決めて、それに合わせてきてもらう。12ヶ月、どの市町村も大丈夫ということにはならないかもしれないが、その辺のところを整備した形であれば、ボランティアする側、受け入れ側お互いによかったということになるのではないか。

(委員より意見) 今の意見は今後の方向性であり、「ポータルサイトの構築」につながっていくことだと思う。期間は今回モデル事業の都合で設定されてしまい、そのためにお客さん扱いになったところがあったが、基本的にはボランティアだから必要最低限の準備でよいはず。資料にあるようにマッチングのしくみをつくる、というのが重要。猫の手も借りたい時に、貢献したい人が来るというように、マッチングをしていくべき。

(委員より意見) ボランティアする人のモラルの問題もある。何かを得たくて来るのに、5000円しか出せない、交通の便が悪くて、そんなところに行けないというのは、全く観点が違うのではないか。作業ボランティアに行くと地域の人に迷惑をかけるボランティア活動になってはいけないので、来る人にしっかりとそのあたりの実情を知らせて欲しい。

(委員より意見) 当地の出身であり、小さい頃に親戚の農業の手伝いもやったことがあるが、やはり簡単なことから始めてだんだん難しいことをやらせてもらえたものだった。長続きする人、繰り返して来てくれる人を選ぶのが大切。最初は難しいところやトライアンドエラーもあるだろうが、経験をつむうちにどちらもわかってきて、気も使わなくなって、クチコミで事業が広がっていくのではないか。というのは現在も親戚から聞くのは、人手不足で農業を廃業するところが多い、そういうことにもニーズがあるのではないかと思うからである。マッチングは難しいだろうが、これが一番大事だと思う。

(委員より意見) コーディネータの役割が非常に重要。ボランティアとは自発の意味、自発的に情報を



得てボランティア活動に来られるということをお客さん扱いしてしまうのではないかと。ボランティアには自分たちで情報を得て、自分達で行くのが基本、そうでないとこちらも疲れてしまう。

(委員より意見) 宿泊についての反応はどうだったのか。

(事務局回答) 特に不満は出ていない。具体的に泊まったところは資料5の一番最後にあるスケジュール表の中に入っている。モニターから宿泊費用は安ければ安いほどよく、設備については質素でよいとのことであった。

## 【議題2】ポータルサイトと今後の取組みについて

(事務局説明) 事務局よりポータルサイトと今後の取組みについて説明

(委員長) ボランティアをした人への交通手段の割引は考えられるのか。

(委員より意見) 今でも閑散期等には割引したりなどしているが、基本的には宿とセットにすれば割引が可能。セットにすることで交通料金が明らかにならないですむので、これなら可能。

(委員より意見) JRと同じ。お恥ずかしいが交通手段は弊社の所有ではないので、お願いして商品をつくっていくしかないのでは、JRの回答に近いのではないのでしょうか。

(委員より意見) コーディネータの発掘養成とあるが、まずは受け入れ先のリストをつくるのが最初だろう。受け入れ先の顔が見えて、こんなことをやってもらうということをはっきりさせる必要がある。戻るが、ボランティアとは何かという話があったが、受け入れ側で労力が足りないということをお願いするのか、地域全体で人が足りないということなのか、分けて整理する必要があるのではないかと。

(委員より質問) ポータルサイトにパスワードや自動更新システムとあるが、ここに参加するのは自治体なのか、個人的にも山口ファームがボランティアを求めていることも掲載できるのか。

(事務局回答) 将来的には個人も情報を掲載できるようにしたい。しかし最初のうちはどこかがとりまとめて掲載する必要があるだろう。

(委員より質問) 16年度の課題を踏まえ自己負担での事業を実施するとはどういう意味か。

(事務局回答) 16年度は事業費でモニターに参加してもらったが、これを17年度は自己負担でボランティアホリデーに参加してもらおうということ、これを実施するかどうかは第3回までに方向性を決めなければならない。ただ、こういうことは最初からうまくいくものではなく、海谷委員が発言されたようにトライアンドエラーが必要だろう。

(委員より質問) モデル事業を16年度に実施したが、17年度の国交省の関わり方はどうなるのか。調査して終わりということになるのか。

(事務局回答) 今回は創発費という16年度から始まった予算を使っている。創発費は現在17年度のタマ探しにかかっているため、これに手をあげてポータルサイトの整備に寄与していきたいと思っている。

(委員より質問) ポータルサイトの運営はどこがやるのか。行政か、それともNPOか。この指とまれでやれる団体が運営するということなのか。

(事務局回答) ポータルサイトの立ち上げは16年度の経費でできる。事務局は、しばらくの間、私どもでやるが、それをNPOにしていくか、やっていただける企業があれば譲っていくことも可能。

- (委員より質問) いや、そういうことではなくて、ポータルサイトに乗せる地域の情報のとりまとめをどこがやるかという問題。今回は4つの自治体がモデル事業を実施しているが、情報のとりまとめをその4つの自治体の行政が中心になってやることになるのかどうかという質問なのだが。
- (事務局回答) 行政がつくらなくてはいけないという理由はまったくない。
- (委員より質問) 立ち上げるときの情報は誰がだすのか。
- (事務局回答) 立ち上げの時は、それぞれの自治体の皆様に出していただく形になります。ですから、行政の方で、例えば、先ほどJAのお話ありがとうございましたけれども、JAの御紹介で情報を出していただく、もしくは、ルールを決めて、例えば、個人的にやっていらっしゃるところで、こんな情報はあるよ、ということでしたら、そこは個別に入れていただくということの基本をしたいのだが。
- (委員より質問) それは、その情報を入れる場合、こちらの受け入れ側の了解が前提か。
- (事務局回答) もちろん受け入れ側の了解があつての話である。
- (委員より質問) その辺のとりまとめはどこがやるのか。
- (事務局回答) この事業が17年度も続くという状況になったら自治体の方と御相談した中で進めてまいりますし、もし16年度で終わるというお話になったら、その時点でどのように進めるのか、御相談をさせていただきたいと思っている。ただ、実際につくったものは使えるような形にしたいと思っているので、事務局として出したもの等は、この事業が、続く、続かないは別として、一応ボランティアで、事務局の作業として続けさせていただきたいと思っている。
- (委員より質問) では、地域自治体のニーズがある、なしにかかわらず、ポータルサイトの枠組みだけは作成するということか。
- (事務局回答) そうである。
- (委員長) 何ができるのか、受け入れ側をオーガナイズするのは大変難しい。
- (委員より意見) それは行政と一緒にやっていくことが必要。100軒の農家の情報を把握しておくのは民間では無理、連携しないと。
- (事務局) 最初は民間と行政と協働事業でないと思っている。最初はたくさんでなくてもよく、2つ3つのボランティアメニューでもよい。今回のモデル事業の受け入れ先がOKであれば、まずそこから始めたい。徐々に増えていけばよい。こういう人がきてくれるならいいじゃないということが受け入れ先にもクチコミで広がっていくというようであればよいと思う。
- (委員より意見) 今の話だが、そもそもこれは「ボランティアホリデー委員会」という通称になっているが、正式な調査名というのは「交流人口の拡大」という確かな文言が入っていたと思うが。つまり、「交流人口の拡大」という大目標というか、目的があると思うので、それは各地域、今回はモデル地域として手を挙げていただいた地域が、戦略的に、このボランティアホリデーを活用してその交流人口を増やしていきたい、将来的には、もう少しまくいけば定住人口などの拡大にもつなげていきたいというところがあると思うので、先ほどの御意見もありましたように、最初はある程度、行政の方がリーダーシップをとって、とりまとめ等のところで汗をかいていただいて、民間を巻き込む形で進めていただいた方がいいのかなと思っている。もちろん将来的には、地域でのNP

〇とかなんかが非常に活発に活動をするような形になり、行政は後方支援のような形でいろいろ機能するような段階になれば、ある程度、民間の方々、地域の方々に任せでもいいと思う。私は今回、モニターを受け入れていただいた自治体の方が、最初はとりまとめ等で汗をかいていただく、「交流人口の拡大」としての一つの施策として加えていただくのが一番いいのかなと思っている。

(委員より意見) コーディネータももちろん大事だろうが、マネジメントができないと絶対長続きしない。マネジメントできない理由は、JTBはよくおわかりかと思うが、商売にならないからである。ただ、JTBが募集しているカンボジアのアンコールワット遺跡のボランティアのようなものはうまくいくかもしれないですけど、国内でこうした事業を展開できないのは、お金にならないからである。 コーディネータを育てていくにもかなりの経費がかかると思う。あるいはNPOに委託して、地域の方々のどういうニーズがあるか、どういう受け入れ先があり、どういう希望を持っているかなど、このポータルサイトに乗せる情報をとりまとめるにはかなりの費用がかかると思う。これは一地域でも最低4カ所ぐらいは当然必要だろう。山形県としてやっていく場合、手を挙げた地域だけがやればいいということであれば、それは興味のあるところだけがやればいいんだろうと思うが、将来、利用者とボランティア側とが実施するようになった時には、責任問題が生まれる。責任が、コーディネータ側にあるのか、あるいは、それを担ったNPO団体にあるのかという問題も含めると、かなりの時間と、その調査に対する費用をかける必要があるだろう。

(事務局) 九州でも話が出たが、受け入れ先の方たちが受け入れてみようと思うかどうかのポイントだ。もし思っただけならば、編集に手をかけたりお金をかけたりする必要はないはず。誰かの目を通して公開するのではなく、自分で公開できる仕組みにすればよい。コーディネータが全責任を負うことにはならない。また、コーディネータに一定の手数料を入れるようにすることも考えられる。

(委員長) コーディネータの費用を賄うためには、受け入れ側に負担がかかるのではないか。

(事務局) もしこのしくみができないと、外客誘致など無理。客が来るのが先か、受け入れ体制を整備するのが先かである。どうしても無理だという自治体であれば17年度には参加なされないということでもかまわない。

(委員より意見) 「スカイ」と私たちは呼んでいるが、国際ワークキャンプ、いわゆる外国の人たちが、日本国内でボランティア活動をしながら、泊まって旅行して歩く取り組みがある。何年前に私どもでも協力をしたことがあったが、今回の事業で私が成功してほしいと思っているところは、実は山形の地域おこしとというか、少し山形県を知ってもらい、山形県に来ていただきたいということであった。村山地域では、特に「仙山県交流」とか、仙台と山形の交流を活発にしようという動きがある。今回のこの取り組みもその一環になればいいなというところで期待をしている。このポータルサイトは、それぞれの自治体のPRにさせていただくための手段だというふうを考えていただきたい。特に個々の農家や個人の家で受け入れるということは、できれば、その地域、町内会、地区の受け入れ体制に発展していったほしい。そこでいろいろな全国の方々と交流してほしいと思う。観光協会の方々にとっても非常にメリットがあるのではないか。村山地域では「癒しの里プロジェクト」というのを去年までやっていた。それと

合致できるような形でもっていければいいのではないか。

- (委員より意見) 各地域では観光による地域づくりまちおこしが熱心に取り組まれているが、個人の旅行ニーズも多種多様にわたっている。今までと同じことをして人が来てくれる地域はそれでいいだろうが、そうでないところは地域資源を活かした新たな取り組みをしていく必要がある。最初から全てうまく行くわけではないかと思う。これからの高齢化社会にマッチした取り組みであって、うまく回りだしてから腰を上げるのではなく今からやってほしい。外国でやっているのはあるのか。
- (事務局) 英国には事例がある。他はワーキングホリデー。時給いくらでおしまい、というのはなく、地元と交流しながらであり、地元の雇用を奪わないということがワーホリとボラホリの相違点。最初はボラホリだったものがワーホリになったり、半定住になったりという形でもよい、その地に来るきっかけをつくることが重要。
- (委員より意見) 先ほどお話をしましたけれども、春から私たちは、市の観光課や市の観光物産協会とボランティア事業をやろうという計画を立てていたが、おりましたけれども、なかなかうまく進まない。今回、みなさんのおかげでここまで実現でき、本当に感謝申し上げますと思っている。先ほど誤解を招くような話をしたが、受け入れ側にもいろいろ問題があるが、私たちは、支援していただくという部分については、ほんとにわずかなことでいいと思う。この事業の目的は、山形に来てもらい、山形はよかったと思っただけ、そうした人が別な人を連れて来ていただくことにあると思う。私は基本的にこうしたことを考えながらこのボランティア事業を企画しておりましたので、前向きにこの事業をぜひ継続していただきたいと思っている。
- (委員長) そろそろ時間になったので、この辺で最後の議題の「その他について」に移りたい。

### 【議題3】その他

次回は3月1日～4日のどこかで開催の予定。時間等詳細は後日連絡する。

観光みらいプロジェクトについてアナウンス

フルーツサミットについて東根市よりアナウンス

以上

### 第3回 東北ボランティアホリデー検討委員会 議事概要

- 日時： 平成17年3月1日（火） 13：15～15：15
- 会場： 東根市役所 会議室
- 議題： (1) 「ボランティアホリデー」ポータルサイトとパンフレットについて  
ポータルサイトについて  
パンフレットについて  
(2) 報告書案について  
(3) 平成17年度「ボランティアホリデー」について  
(4) その他

#### 議事内容

(東根市長あいさつ)

(配布資料一覧により資料確認)

#### 【議題1】「ボランティアホリデー」ポータルサイトとパンフレットについて

- (事務局説明) 事務局より「ボランティアホリデー」ポータルサイトとパンフレットについて説明
- (委員長) ポータルサイトについてご意見ございますか。
- (委員より意見) ボランティアメニューを探すのに、ボランティア内容、地域別などで検索できるようになっているのか。
- (事務局回答) 検索機能があるので、可能である。
- (委員より意見) ボランティアホリデーという言葉や活動内容を、いかに広くアピールしていくかが必要であり、知名度が上がればサイトへのアクセス数も増えるのではないかと。
- (委員長) ご意見は広報につながる話なので、パンフレットのところでご意見いただきたい。
- (委員より意見) 参加希望者も、今後、親子や家族で参加というのにも出てくるかもしれない。そういった参加希望者にも対応できるように、ポータルサイトの募集画面にも「親子の参加、子供のみ参加可能」といった項目を入力できるようにして欲しい。そうすれば、ボランティアホリデーの輪も広がると思う。
- (事務局回答) ボランティア募集画面にそのようなことについて入力できる項目を作りたいと思う。先ほどのボランティアホリデーの告知については、全国的に告知する方法を考えているところである。
- (委員長) ポータルサイトが立ち上がると希望者が出てくるが、自治体が最初の問い合わせ先となることについて意見をいただきたい。
- (委員より意見) ボランティアメニューは、冬以外は数多く用意することができるし、せつかく半年間以上、検討してきたことでもあるし、市としても積極的に行っていきたい。
- (委員より意見) 天童市も対応していく。
- (委員より意見) 河北町も大丈夫であるが、自治体とコーディネーターの役割分担についてお聞きしたい。

- (事務局回答) 将来的には、コーディネーターが中心となって民間が問い合わせなどに答えるかたちが理想だが、今の段階では難しいと思うので、オープン時には自治体でまずは受けてもらうようお願いしたい。来年度の中で、コーディネーターの方にそこまで受けていただけるような、教育研修を進めていきたい。
- (委員より意見) 将来的には、統一したかたちで、例えばNPOのようなところが受けていていただくことを前提に、17年度は自治体で問い合わせには受けたいと思う。
- (委員長) ポータルサイトの問い合わせには4自治体で、受けていただけるということなので、次に、パンフレットについてお伺いしたい。キャッチフレーズの「ちょっと遠い親戚に会いに行きませんか。」についてご意見をください。
- (委員より意見) 山形新幹線が開業したときの「その先の日本へ」というキャッチフレーズに似ている。ちょっと遠い親戚に、「あなたの力が生きるんですよ、あるいは、「私の力が何か活かされるんだな」という、達成感、生きがい感ということを伝えられれば良いと思う。
- (事務局回答) パンフレットについては、4地域共通で作成しなくてはいけないので、キャッチコピーについては、どこかで妥協点を探していく必要がある。皆様のご意見を伺って最終案に反映していきたいと思う。
- (委員より意見) ボランティアと聞くと、どうしてもハードルが高い、何か慈善活動とか、すごく高尚のここのように思いがちであるが、このような「ちょっと遠い親戚に会いに行きませんか」という、気軽なキャッチフレーズがあると、余りハードルの高さが、緩和されるのかと思う。
- (委員より意見) キャッチフレーズはあったほうが、気軽な感じがするのであったほうがよいと思う。パンフレットに「国交省と総務省によって始められた事業です」と書かれているが、何となく敷居が高いような感じがするので、除外した方がよいのではないか。ポータルサイトは、個人情報を入力するような形になっているので、こういうのは外した方が、敷居が低くなると思う。
- (事務局回答) 「国交省と総務省によって始められた事業です」と書いたほうが、信用度が増すという意見もあるので、掲載している。表現をもう少し、柔らかくするよう検討する。

## 【議題2】 報告書案について

- (委員長) 報告書の全体について、あるいは、ボランティアホリデーというものの定義について、記載しているものでよいか、ご意見をいただきたい。
- (委員より意見) ボランティアホリデーを説明する際の長期滞在という言葉のイメージは、人によって考える期間は違うと思う。長期という言葉にひっかかって、応募するほうも、受け入れるほうも戸惑うかもしれない。一つの案として、中長期という言葉に広げてもいいかもしれない。
- (委員長) ボランティアホリデーの定義について伺いたい。私は、漠然とした広い説明ではなく、若い人たちにとって、中年にとって、シニアにとってどういうものであるか、年代別の説明があればいいのではないかと思う。
- (委員より意見) 言葉だけでなく、絵などで説明があるとわかりやすいと思う。



- (委員より意見) 私も簡単なイラスト的な図があるとわかりやすいと思う。
- (委員より意見) ボランティアホリデーという言葉の人々に浸透させていくためには時間はかかるが、色々な形でPRしていくことが必要だと思う。
- (委員より意見) 言葉は人それぞれ捉え方が違うので、ポータルサイトのボランティア募集で、受け入れ側の写真を掲載して、この人のお手伝いに行くのだという意識を持っていただくようにすればイメージしやすいのではないかな。
- (委員より意見) 定義は、ボランティアの参加者が個人を対象にしているように見える。もちろん一人でも参加できるが、少人数のグループや夫婦や家族でも参加できる。そのようなニュアンスも含めた定義にすれば、もっとわかりやすくなるのではないかな。パンフレットの説明は非常にわかりやすいものになっていると思う。
- (委員長) モデル事業は個人の参加が多かったが、今後は、グループや幅広い年代の参加者が応募できるということを広告していく必要があると思う。
- (委員より意見) ボランティアがメインだと言いつつも、交流にももう少しウエイトを置きながら、もっと気楽な形で参加できるようにしたらよいと思う。気楽な形で地域の方々と交流をしながら楽しめるボランティア活動だと説明できればよいと思う。余りボランティアをきつく打ち出すと、参加者と受け入れ側の間で行き違いも出たりしないかと心配している。
- (委員長) 確かに、ボランティアという言葉のイメージが非常に強いので、地域の方との交流も楽しめるというニュアンスも入っているといいのではないかな。
- (委員より意見) 私の力が、都市と農村部のかけ橋になるんだというぐらいのイメージがボランティアホリデーにあると、もっとほんわかとして、自分自身の中に目的を見つけられるのではないかなと思う。ボランティアは、やはり、自分の中にその目的や価値を見つけることから始まる。今回はやや農業関係が多かったために、少しグリーンツーリズムのイメージが出ているように思う。ただ山形県では高齢化率が非常に高く、高齢者家族も非常に多い。もしかすると本当にボランティアが必要なのは、そのような高齢で農業をされている方や高齢世帯の方々かもしれない。
- (委員より意見) 受け入れ側にもメリットがないといけないと思うので、あまり気軽さをアピールしすぎてもいけないだろう。受け入れる側に、しわ寄せが来ると、長続きしないと思う。定義の部分で、参加者、受け入れ側両方にメリットがあるということをわかりやすく表現したほうがいい。
- (委員より意見) 今の話のように、受け入れ側と参加者両方メリットがあるのが理想だが、なかなかボランティアが欲しいという要望は見つけれなかった。
- (委員より意見) ボランティアホリデーの定義についてだが、一番重要なのは交流拡大であると思う。一般の観光では、あくまでお客様ということで、その地域のうわべの部分を見て帰ってしまうが、ボランティアホリデーでは、実際に地元の人たちと一緒にあって共通のことをしながら交流するという、一歩踏み込んだ形の交流である。定義として書くのであれば、なるべく柔らかく書けばいいということではないだろうか。また、長期滞在ということには、こだわらなくてもいいと思う、農家も専業の方も少ないであろうし、週末だけであるとかの希望もあるかもしれない。その辺は、きちんと定義づけないでもう少しやわらかい表現でいいと思う。

(委員長) 1カ所に留まりながら作業をお手伝いするとか、優しい言葉にしておいたらいいかもしれない。

(委員より意見) 受け入れ先を探すために、個人の農家を1軒1軒当たるとなると、きついかもしれない。山形県内では、高島町あたりは東京の人たちと交流して、実際、学生が農作業体験できて、非常にうまくいっていると聞く。あそこだけは広域合併しなくても生き残れるのではないかという巷の噂があるほどだ。農村、都市との交流もうまくいっていて、まちづくりも非常に活発にされているという現状がある。地域づくりに取り組んでいるような団体とかグループとか、そういうところとうまくマッチさせていけば、口伝えに徐々に広がっていくので、先ほどのボランティアが欲しいという受け入れ先情報も得られるのではないか。地域を何とかしたいという若い人たちもたくさん山形にはいるので、そういう力を活用するという方法も視野に入れたらどうか。

### 【議題3】平成17年度「ボランティアホリデー」について

(委員より意見) ボランティアホリデーに送客するしくみということで、企業の話が出てきたが、そのことについてももう少し詳しく教えてほしい。企業のお勤めの方に来てもらうということか。

(事務局回答) そうである。企業によっては、ボランティア休暇という制度的に持っているところもあるので、そういう企業に呼びかけていきたい。最近、日本の企業は、CSRと言って、社会的貢献によって企業価値を高めることに熱心である。大学生が入社を希望する会社の人気投票にも、CSRに熱心かどうかの影響している。こうした状況の中で、上場企業などのいわゆる一流企業ほど、そういうことに力を入れている。こうした企業とうまくマッチングさせて、定期的に送客できるような仕組みができればよいのではないかと思っている。そうは言っても、ポータルサイトは4月1日から立ち上がるので、いわゆる実験ではなく、実践の中で、本当にやりやすい方法を探していく。それから先ほどの定義に関しても、実践の中からよりよいものに変えていくという形で、17年度はやっていきたいと思っている。

(委員長) ご意見ありがとうございました。それでは17年度は本格稼働するという事なので、各関係者のみなさまよろしくお願い致します。

### 【議題3】 その他

以上

## 4. 大都市住民に向けたニーズ調査アンケート票

### 【ボランティアについて】

問1 あなたは、これまでにボランティアなどの社会貢献活動の経験はありますか。次の中から1つお選びください。(1つだけ)

- |   |   |
|---|---|
| 1 | 個人として参加・協力したことがある                           |
| 2 | NPO・NGO・市民団体・ボランティア団体の活動に加わって、参加・協力したことがある。 |
| 3 | 勤務先や学校などの所属団体の活動の一環として、参加・協力したことがある         |
| 4 | 個人と所属団体の両方で参加・協力したことがある                     |
| 5 | ボランティア活動に参加したことはない                          |

→ 問3へ

(問1で「1~4 ボランティア活動に参加したことがある」とお答えの方に)

問2 今までにどのようなボランティア活動に参加したことがありますか?(いくつでも)

- |   |                             |    |                  |
|---|-----------------------------|----|------------------|
| 1 | 福祉・保健(高齢者、障害者、各種保護施設など)への支援 | 6  | 人権や平和のための活動      |
| 2 | 趣味・文化的活動・スポーツ・生涯学習などの指導・支援  | 7  | 国際協力・国際貢献の活動     |
| 3 | よりよいまちづくりに関する活動             | 8  | 男女共同参画を促進する活動    |
| 4 | 環境美化・自然保護に関する活動             | 9  | 子どもの健全な育成を支援する活動 |
| 5 | 防災や安全に関する活動                 | 10 | 情報化社会づくりに貢献する活動  |
|   |                             | 11 | その他<br>(具体的に )   |

(問1で「5 ボランティア活動に参加したことはない」とお答えの方に)

問3 参加しなかった理由は何ですか。次の中から1つお選びください。(1つだけ)

- |   |                                 |
|---|---------------------------------|
| 1 | 参加してみたいが方法がわからない、きっかけがない        |
| 2 | 時間的に参加する余裕がない                   |
| 3 | 身近にはボランティア内容に興味を持てるようなボランティアがない |
| 4 | ボランティア活動などの社会貢献活動に興味がない         |
| 5 | その他(具体的に )                      |

(全員に)

問4 今後、ボランティア活動を行いたいと思いますか。次の中から1つお選びください。(1つだけ)

- |   |                          |
|---|--------------------------|
| 1 | きっかけや参加する方法がわかれば参加・協力したい |
| 2 | 時間にゆとりがあれば参加・協力したい       |
| 3 | ボランティア内容に興味があれば、参加したい    |
| 4 | ボランティア活動には興味がない          |
| 5 | その他(具体的に )               |

### 【地方圏(都市部でない、いわゆる「田舎」)への長期滞在について】

問5 あなたは過去3年間に仕事の出張や帰省以外で1泊以上の国内旅行に行きましたか。次の中から1つお選びください。(1つだけ)

- |   |     |   |        |
|---|-----|---|--------|
| 1 | 行った | 2 | 行かなかった |
|---|-----|---|--------|

→ 問9へ

(問5で「1 行った」とお答えの方に)

問6 あなたが過去3年間にいった国内旅行で最も期間が長かったのは何日間ですか。(1つだけ)

- |   |     |   |           |
|---|-----|---|-----------|
| 1 | 2日間 | 5 | 6日間       |
| 2 | 3日間 | 6 | 1週間~2週間未満 |
| 3 | 4日間 | 7 | 2週間~1ヶ月未満 |
| 4 | 5日間 | 8 | 1ヶ月以上     |

(問5で「1 行った」とお答えの方に)

問7 過去3年間にいった最も期間が長かった国内旅行では、主にどのような行動をしましたか。次の中からいくつでもお選びください。(いくつでも)

- |                               |                           |
|-------------------------------|---------------------------|
| 1 自然・風景を見る                    | 9 スポーツ(スキー、テニス、ゴルフ等)をする   |
| 2 史跡・文化財・博物館・美術館で鑑賞する         | 10 都市で観光する(デパートでのショッピング等) |
| 3 神社・仏閣等の参拝                   | 11 車でドライブする               |
| 4 祭りなどのイベントを見る                | 12 温泉で休養する                |
| 5 郷土の料理を食べる                   | 13 のんびりとくつろぐ              |
| 6 名産品・特産品を買う                  | 14 海水浴、釣り、マリンスポーツ         |
| 7 体験型観光(りんご狩り、うどん打ち、自然体験等)をする | 15 登山、山歩き                 |
| 8 テーマパーク・遊園地で遊ぶ               | 16 その他<br>(具体的に )         |

(問5で「1 行った」とお答えの方に)

問8 国内旅行を考えるときの情報はどこから得ますか。この中からいくつでもお選びください。(いくつでも)

- |                  |                     |
|------------------|---------------------|
| 1 業者のポスター、パンフレット | 6 インターネット           |
| 2 旅行代理店の窓口で勧められて | 7 公的な観光案内所          |
| 3 テレビやラジオ        | 8 家族、友人、知人等の紹介(口コミ) |
| 4 新聞、雑誌(旅行雑誌以外)  | 9 その他(具体的に )        |
| 5 旅行雑誌、ガイドブック等   |                     |

(問5で「2 行かなかった」とお答えの方に)

問9 1泊以上の国内旅行に行かなかったのはどうしてですか。この中からいくつでもお選びください。

- |                            |         |
|----------------------------|---------|
| 1 休みがとれないから                | (いくつでも) |
| 2 金銭的に余裕がないから              |         |
| 3 行きたい観光地や施設等がないから         |         |
| 4 計画や準備をするのが面倒だから          |         |
| 5 留守中に家族の世話をする人がいないから      |         |
| 6 留守中にペットを預かってくれる人がいないから   |         |
| 7 家族と一緒に休みがとれないから          |         |
| 8 一緒に行く人がいないから             |         |
| 9 健康・体力に自信がないから            |         |
| 10 高齢・障害等のため、移動や滞在に不安があるから |         |
| 11 きっかけがなかったから             |         |
| 12 旅行は好きではないから             |         |
| 13 海外旅行のほうが好きだから           |         |
| 14 その他(具体的に )              |         |

(全員に)

問10 今後3年間に、国内旅行をしたいと思いませんか。(1つだけ)

- |      |       |        |
|------|-------|--------|
| 1 はい | 2 いいえ | → 問13へ |
|------|-------|--------|

(問10で「1 はい」とお答えの方に)

問11 これまでと比べて国内旅行の回数や日数をどのようにしたいと思いませんか。(1つだけ)

- |                            |  |
|----------------------------|--|
| 1 旅行の回数を多くし、1回の旅行日数も長くしたい  |  |
| 2 旅行の回数を多くし、1回の旅行日数を短くしたい  |  |
| 3 旅行の回数を少なくし、1回の旅行日数を長くしたい |  |
| 4 旅行の回数を少なくし、1回の旅行日数も短くしたい |  |
| 5 これまでと同程度でよい              |  |
| 6 その他(具体的に )               |  |

(問10で「1 はい」とお答えの方に)

問12 これまでと比べて国内旅行の費用をどのようにしたいと思えますか。(1つだけ)

- |  |
|--|
| 1 これまで以上に費用をかける<br>2 これまでよりも費用をかけない<br>3 これまでと同程度でよい<br>4 その他(具体的に ) |
|--|

【「ボランティアホリデー」について】

都市部にお住まいの方がボランティア活動しながら地方圏(田舎)に長期滞在するという「ボランティアホリデー」というプログラムがあります。

これは訪問地での様々なボランティア活動を通して地域へ貢献をすることにより、地元の理解と協力を得ることができ、通常よりも安い料金で滞在が可能になります。また地元の方々と交流する機会が生まれ、一般的な観光旅行とは一味違った体験をすることができます。

(全員に)

問13 このような「ボランティアホリデー」を体験したいと思えますか。(1つだけ)

- |  |        |
|--|--------|
| 1 ぜひ体験してみたい<br>2 機会があれば体験してみたい<br>3 どちらともいえない<br>4 あまり体験したくない<br>5 まったく体験したくない | → 問25へ |
|--|--------|

(問13で「1~3」とお答えの方に)

問14 下記の「ボランティアホリデー」の説明文をお読みになって、最も関心のある部分を1つだけお答え下さい。(1つだけ)

都市部にお住まいの方がボランティア活動しながら地方圏(田舎)に長期滞在するという「ボランティアホリデー」というプログラムがあります。

これは訪問地での様々なボランティア活動を通して地域へ貢献をすることにより、地元の理解と協力が得ることができ、通常よりも安い料金で滞在が可能になります。

また地元の方々と交流する機会が生まれ、一般的な観光旅行とは一味違った体験をすることができます。

- |  |
|--|
| 1 ボランティア活動しながら地方圏(田舎)に長期滞在<br>2 様々なボランティア活動を通して地域へ貢献<br>3 通常よりも安い料金で滞在が可能<br>4 地元の方々と交流する機会<br>5 一般的な観光旅行とは一味違った体験をする<br>6 ~ 以外<br>(関心のある点を具体的に: ) |
|--|

(問13で「1」「2」とお答えの方は、問15～問25を続けてお答えください。問13で「3」とお答えの方は、問25へ進んでください。)

問15 「ボランティアホリデー」を体験するにあたり、どのくらい滞在したいと思いますか。(1つだけ)

1 日帰り	5 5日間	9 1ヶ月～3ヶ月未満
2 2日間	6 6日間	10 3ヶ月以上
3 3日間	7 1週間～2週間未満	
4 4日間	8 2週間～1ヶ月未満	

(問13で「1」「2」とお答えの方に)

問16 「ボランティアホリデー」を体験するにあたり、誰と訪れたいと思いますか。(1つだけ)

1 自分1人
2 配偶者
3 配偶者以外の家族(兄弟姉妹、親、子供)
4 友人
5 その他(具体的に )

(問13で「1」「2」とお答えの方に)

問17 「ボランティアホリデー」で訪れる場合、どの地域に行きたいですか。(いくつでも)

問17-1 また、その中で、県あるいは地域(北海道のみ)をお選びください。(いくつでも)

問17 行きたい地域 (いくつでも)	問17-1 具体的な県・地域(いくつでも)
1 北海道	→ 1 道南 2 道央 3 道東 4 道北
2 東北	→ 1 青森 2 岩手 3 宮城 4 秋田 5 山形 6 福島
3 関東	→ 1 茨城 2 栃木 3 群馬 4 埼玉 5 千葉 6 東京 7 神奈川 8 山梨 9 長野
4 中部	→ 1 岐阜 2 静岡 3 愛知 4 三重
5 北陸	→ 1 新潟 2 富山 3 石川 4 福井
6 近畿	→ 1 滋賀 2 京都 3 大阪 4 兵庫 5 奈良 6 和歌山
7 四国	→ 1 徳島 2 香川 3 愛媛 4 高知
8 中国	→ 1 鳥取 2 島根 3 岡山 4 広島 5 山口
9 九州	→ 1 福岡 2 佐賀 3 長崎 4 熊本 5 大分 6 宮崎 7 鹿児島 8 沖縄

道北は稚内、旭川等、道南は函館、室蘭等、道央は札幌、岩見沢等、道東は網走、北見、帯広、釧路等を指す。

(問13で「1」「2」とお答えの方に)

問18 「ボランティアホリデー」で滞在する地域に、どのようなものがあれば行きたいと思いますか。次の中からいくつでもお選びください。(いくつでも)

1 自然や動植物
2 史跡・文化財・博物館・美術館等
3 神社・仏閣等
4 地域の文化、資源にふれることができる体験型施設
5 名産品や特産品が購入できる場所
6 郷土料理が味わえる場所
7 農家民宿
8 温泉
9 観光案内所
10 祭りなどのイベント
11 スポーツ(スキー、テニス、ゴルフ等)ができる場所
12 釣りができる場所
13 ボランティア活動を通じた地域の人々との触れ合い
14 その他(具体的に )

(問 13 で「 1 」「 2 」とお答えの方に)

問 19 「ボランティアホリデー」で滞在する際、一日当たりの費用はいくらぐらいまで負担できますか。  
(宿泊費、飲食費、現地での交通費など合わせて)(1つだけ)

- 1 5,000 円未満
- 2 5,000 ~ 10,000 円未満
- 3 10,000 ~ 15,000 円未満
- 4 15,000 ~ 20,000 円未満
- 5 20,000 円以上(具体的に\_\_\_\_\_円程度)

(問 13 で「 1 」「 2 」とお答えの方に)

問 20 往復の交通費はいくらぐらいまで負担できますか。(1つだけ)

- 1 30,000 円未満
- 2 30,000 ~ 50,000 円未満
- 3 50,000 ~ 70,000 円未満
- 4 70,000 円以上

(問 13 で「 1 」「 2 」とお答えの方に)

問 21 「ボランティアホリデー」で宿泊する場合、どのような宿泊施設がよろしいですか。(いくつでも)

- 1 旅館
- 2 ホテル
- 3 公的な宿泊施設(青年の家など)
- 4 国民宿舎、ユースホステル
- 5 民家(ホームステイ)
- 6 自炊できるアパート・マンション・貸家
- 7 その他(具体的に\_\_\_\_\_)

(問 13 で「 1 」「 2 」とお答えの方に)

問 22 ボランティアホリデーで宿泊する施設や設備について、どうしても欠かせないという条件等がありましたらお聞かせください。(いくつでもご自由にお書き下さい。)

(問 13 で「 1 」「 2 」とお答えの方に)

問 23 ボランティアホリデーでは、滞在地でどのようなボランティアを行いたいですか。(いくつでも)

- 1 農作業手伝い
- 2 漁業手伝い
- 3 林業手伝い
- 4 酪農手伝い
- 5 草刈、清掃、雪かき
- 6 体験型観光(陶芸、郷土料理体験)の手伝い
- 7 観光案内所・観光ガイド・温泉施設・キャンプ場運営等の手伝い
- 8 祭りやイベント等の地域活動手伝い
- 9 スポーツに関する手伝い(スキー場・プールや海水浴場の監視員、指導など)
- 10 特産品の加工作業
- 11 特産品の販売
- 12 野生動物の保護
- 13 野生植物の保護
- 14 役場や公共施設の手伝い
- 15 その他(具体的に\_\_\_\_\_)

(問 13 で「 1 」「 2 」とお答えの方に)

問 24 あなたが提供できるボランティア内容としてどのようなものがありますか。次の中からお選びください。(いくつでも)

1 話し相手	13 音楽指導
2 体を動かした作業	14 ネーチャーガイド(野生動物や植物の有識者)
3 軽作業	15 手話
4 町づくり・イベント等の手伝い	16 ライフセーバー
5 接客	17 散髪
6 調理支援	18 通訳(英語、韓国語、中国語等)
7 保育支援	19 弁護士・会計士・司法書士などの法律や税務関連
8 介護支援	20 医療活動(医者、獣医)
9 ホームページ作成・更新	21 その他
10 パソコン指導(ワード、エクセル等)	(具体的に )
11 スポーツ指導	
12 美術指導	22 特になし

(問 13 で「 3、 4、 5 」とお答えの方に)

問 25 『「ボランティアホリデー」を体験したくない・体験するかどうかどちらともいえない』とお答えになった理由をお聞かせください。(いくつでも)

1 休みがとれないから
2 金銭的に余裕がないから
3 行きたい観光地や施設等がないから
4 計画や準備をするのが面倒だから
5 留守中に家族の世話をする人がいないから
6 留守中にペットを預かってくれる人がいないから
7 家族と一緒に休みがとれないから
8 一緒に行く人がいないから
9 健康・体力に自信がないから
10 高齢・障害等のため、移動や滞在に不安があるから
11 旅行は好きではないから
12 海外旅行のほうが好きだから
13 ボランティアホリデーという仕組みに興味がない
14 ボランティアはやりたくないから
15 地方圏(田舎)に興味がないから
16 実家や親戚が地方圏(田舎)にあるので地方圏(田舎)に行く機会は充分あるから
17 その他(具体的に )

(全員に)

問 26 「ボランティアホリデー」(地方圏(田舎)にボランティアをしながら長期滞在をするプログラム)について、あなたが参加するならばどのようなものを期待もしくは、要望しますか。(いくつでもご自由にお書き下さい。)



(全員に)

【地方圏(田舎)への定住について】

問 27 あなたは将来、地方圏(田舎)への定住についてどう思われますか。(1つだけ)

1	大変関心がある	
2	やや関心がある	
3	どちらともいえない	
4	あまり関心がない	
5	まったく関心がない	

→ 問 30 へ

(問 27 で「1」「2」とお答えの方に)

問 28 地方圏(田舎)への定住をはじめるとしたら、それはいつ頃ですか。(1つだけ)

1	今すぐ
2	1～3年未満
3	3～5年未満
4	5～10年未満
5	10年後以降
6	わからない

(問 27 で「1」「2」とお答えの方に)

問 29 地方圏(田舎)への定住を考える理由は何ですか。(いくつでも)

1	地方圏(田舎)のほうが住みやすい、暮らしやすい
2	空気がきれいで水が美味しい
3	生活費が安くすむ
4	広い家に住むことができる
5	ゆったりとした生活ができる
6	まわりの人が親切で気さくである
7	食べ物が美味しい
8	野菜などをつくってみたい
9	子供を豊かな自然の中でのびのびと育てたい
10	自分あるいは家族の健康のため
11	自然の中で暮らしたい
12	その他(具体的に

)

(全員に)

問 30 あなたが地方圏(田舎)への定住をお考えならば、定住にどんなことを期待もしくは、要望しますか。ご自由にご意見ください。(いくつでもご自由にお書き下さい。)

--

(全員に)

**あなたご自身のことについておうかがいします**

F 1 あなたの性別をお教えてください。(1つだけ)

1 男                      2 女

F 2 あなたの年齢をお教えてください。(1つだけ)

1 20歳未満	7 45～49歳
2 20～24歳	8 50～54歳
3 25～29歳	9 55～59歳
4 30～34歳	10 60～64歳
5 35～39歳	11 65歳以上
6 40～44歳	

F 3 あなたのお住まいの地域をお教え下さい。(1つだけ)

1 東京都	6 京都府
2 千葉県	7 兵庫県
3 埼玉県	8 奈良県
4 神奈川県	9 その他の都道府県
5 大阪府	

F 4 あなたが1年以上住んだことのある地域をお教え下さい。(いくつでも)

F 4-1 また、その中で、県あるいは地域(北海道のみ)をお選びください。(いくつでも)

F 4 1年以上住んだことのある地域(いくつでも)	F 4 - 1 具体的な県・地域(いくつでも)
1 北海道	→ 1 道南 2 道央 3 道東 4 道北
2 東北	→ 1 青森 2 岩手 3 宮城 4 秋田 5 山形 6 福島
3 関東	→ 1 茨城 2 栃木 3 群馬 4 埼玉 5 千葉 6 東京 7 神奈川 8 山梨 9 長野
4 中部	→ 1 岐阜 2 静岡 3 愛知 4 三重
5 北陸	→ 1 新潟 2 富山 3 石川 4 福井
6 近畿	→ 1 滋賀 2 京都 3 大阪 4 兵庫 5 奈良 6 和歌山
7 四国	→ 1 徳島 2 香川 3 愛媛 4 高知
8 中国	→ 1 鳥取 2 島根 3 岡山 4 広島 5 山口
9 九州	→ 1 福岡 2 佐賀 3 長崎 4 熊本 5 大分 6 宮崎 7 鹿児島 8 沖縄

道北は稚内、旭川等、道南は函館、室蘭等、道央は札幌、岩見沢等、道東は網走、北見、帯広、釧路等を指す。

F 5 あなたの職業をお教えてください。(1つだけ)

( 自 営 ・ 自 由 業 )	
1	農 林 漁 業 ; 農 業 、 漁 業 、 畜 産 、 林 業 に 従 事 す る 人 及 び 家 族 従 事 者
2	自 営 ・ 商 工 業 ; 個 人 企 業 、 中 小 企 業 の 会 社 、 工 場 の 社 長 、 商 店 経 営 者 及 び こ れ ら を 手 伝 う 家 族 従 業 員
3	自 由 業 ; 勤 務 時 間 に あ ま り 制 約 を 受 け ず に 自 分 の 才 能 ・ 技 術 で 生 計 を 立 て て い る 人 、 開 業 医 、 弁 護 士 、 政 治 家 、 画 家 、 作 家 、 俳 優 な ど
( フ ル タ イ ム 勤 め の 人 )	
4	管 理 職 ; 官 公 庁 、 大 中 企 業 、 法 人 ・ 団 体 の 部 ・ 課 長 以 上 の 給 与 生 活 者 、 大 学 教 授 以 上 の 学 者 、 教 頭 以 上 の 教 職 員 な ど
5	事 務 ・ 技 術 職 ; 事 務 ・ 技 術 関 係 の 一 般 サ リ マ ン 、 官 公 吏 、 教 員 な ど の 給 与 生 活 者
6	労 務 ・ 技 能 職 ; 各 種 産 業 労 働 者 及 び 中 小 企 業 、 個 人 商 店 、 各 種 サ ビ ー ス 業 の 従 業 員
7	パ ー ト ・ ア ル バ イ ト
8	主 婦 専 業
9	学 生
10	無 職

F 6 あなたの最終学歴をお教えてください。(中退・在学中を含みます)(1つだけ)

1	小 学 校 ・ 中 学 校 ( 含 旧 高 等 小 学 校 )	4	短 大 ( 含 高 等 専 門 学 校 )
2	高 等 学 校 ( 含 旧 中 等 学 校 )	5	大 学 ・ 大 学 院 ( 含 旧 専 門 学 校 )
3	各 種 専 門 学 校		

F 7 あなたは現在配偶者がいらっしゃいますか。(1つだけ)

1	い る	2	い ない ( 死 別 し た )	3	い ない ( 死 別 以 外 で )
---	-----	---	------------------	---	--------------------

F 8 世帯の年収は全部でどれくらいになりますか。ご家族全部の収入を税込みでボーナス、内職、利息収入なども含めて概算でお教えてください。(1つだけ)

1	2 0 0 万 円 未 満	7	7 0 0 ~ 8 0 0 万 円 未 満
2	2 0 0 ~ 3 0 0 万 円 未 満	8	8 0 0 ~ 9 0 0 万 円 未 満
3	3 0 0 ~ 4 0 0 万 円 未 満	9	9 0 0 ~ 1, 0 0 0 万 円 未 満
4	4 0 0 ~ 5 0 0 万 円 未 満	10	1, 0 0 0 万 円 ~ 1, 2 0 0 万 円 未 満
5	5 0 0 ~ 6 0 0 万 円 未 満	11	1, 2 0 0 万 円 以 上
6	6 0 0 ~ 7 0 0 万 円 未 満		

F 9 あなたのご家族は次のどれにあたりますか。(1つだけ)

1	単 身 世 帯	4	夫 婦 と 子 供 の 世 帯
2	夫 婦 だ け の 世 帯	5	親 と 夫 婦 と 子 供 の 世 帯
3	夫 婦 と 親 の 世 帯	6	そ の 他 ( 具 体 的 に )

F 10 あなたを含めた全部の家族人数をお知らせください。(1つだけ)

1	1 人	4	4 人
2	2 人	5	5 人
3	3 人	6	6 人 以 上

F 11 貴方が保有している資格あるいは優れた技術・技能をすべてお書きください。  
( 運 転 免 許 、 教 員 免 許 、 英 検 、 珠 算 、 お 茶 、 お 花 、 習 字 、 武 道 、 ダ ン ス 、 ピ ア ノ 、 料 理 な ど )

--

質問は以上です。ご協力ありがとうございました

## 5. 大都市住民に向けたニーズ調査アンケート集計表

### 問1 社会貢献活動経験有無 (SA)

		n	所属団体活動の一環で参加	個人として参加・協力	団体活動に加わって参加	個人と所属団体両方で参加	参加したことは無い	無回答		
全体		1021	16.3	12.7	7.6	5.4	58.0	-		
地域別	首都圏	534	14.4	13.1	8.2	6.4	57.9	-		
	関西圏	487	18.3	12.3	7.0	4.3	58.1	-		
年代別	20代	171	19.3	7.0	4.7	4.7	64.3	-		
	30代	122	16.4	11.5	5.7	1.6	64.8	-		
	40代	107	25.2	7.5	7.5	3.7	56.1	-		
	50代	213	17.4	16.4	8.5	7.5	50.2	-		
	60代	272	14.0	13.2	8.5	6.6	57.7	-		
	70代	136	8.1	18.4	10.3	5.1	58.1	-		
性別	男性	500	14.8	10.2	6.6	4.2	64.2	-		
	女性	521	17.7	15.2	8.6	6.5	52.0	-		
性・年代別	男性	20代	75	12.0	6.7	4.0	4.0	73.3	-	
		30代	58	20.7	5.2	5.2	1.7	67.2	-	
		40代	56	21.4	7.1	3.6	1.8	66.1	-	
		50代	81	22.2	12.3	8.6	6.2	50.6	-	
		60代	150	12.0	12.7	6.0	5.3	64.0	-	
		70代	80	6.3	12.5	11.3	3.8	66.3	-	
	女性	20代	96	25.0	7.3	5.2	5.2	57.3	-	
		30代	64	12.5	17.2	6.3	1.6	62.5	-	
		40代	51	29.4	7.8	11.8	5.9	45.1	-	
		50代	132	14.4	18.9	8.3	8.3	50.0	-	
		60代	122	16.4	13.9	11.5	8.2	50.0	-	
		70代	56	10.7	26.8	8.9	7.1	46.4	-	
		ボランティア経験の有無	ボランティア経験あり	429	38.7	30.3	18.2	12.8	-	-
		ボランティア経験なし	592	-	-	-	-	100.0	-	

n(サンプル数)の\*は、n < 30を表す。

### 問2 参加したボランティア活動の種類 (MA)

		n	福祉・保健への支援	環境美化・自然保護	子どもの健全育成	趣味等の指導・支援	まちづくりに関する活動	防災や安全に関する活動	国際協力・国際貢献の活動	人権や平和のための活動	男女共同参画促進	情報化社会づくり	その他	無回答		
全体		429	45.0	28.0	24.9	23.5	19.3	15.2	5.6	4.2	1.2	0.7	5.1	-		
地域別	首都圏	225	45.3	23.6	23.1	27.6	15.1	16.0	8.0	2.7	1.8	0.4	4.0	-		
	関西圏	204	44.6	32.8	27.0	19.1	24.0	14.2	2.9	5.9	0.5	1.0	6.4	-		
年代別	20代	61	50.8	29.5	18.0	11.5	11.5	4.9	4.9	4.9	1.6	-	13.1	-		
	30代	43	46.5	30.2	27.9	14.0	18.6	14.0	7.0	7.0	-	-	4.7	-		
	40代	47	42.6	27.7	34.0	29.8	12.8	10.6	2.1	2.1	2.1	-	6.4	-		
	50代	106	44.3	29.2	28.3	22.6	21.7	19.8	4.7	4.7	1.9	0.9	0.9	-		
	60代	115	44.3	24.3	19.1	32.2	21.7	13.0	8.7	3.5	5.2	0.9	0.9	-		
	70代	57	42.1	29.8	28.1	22.8	24.6	26.3	3.5	-	5.3	1.8	1.8	-		
性別	男性	179	31.8	35.2	21.2	24.6	25.1	16.2	3.9	5.6	2.8	-	4.5	-		
	女性	250	54.4	22.8	27.6	22.8	15.2	14.4	6.8	3.2	-	1.2	5.6	-		
性・年代別	男性	20代	20*	35.0	40.0	10.0	15.0	15.0	5.0	5.0	5.0	-	-	10.0	-	
		30代	19*	36.8	36.8	10.5	15.8	15.8	10.5	5.3	10.5	-	-	5.3	-	
		40代	19*	52.6	31.6	31.6	15.8	10.5	5.3	-	-	5.3	-	-	-	
		50代	40	37.5	35.0	27.5	30.0	27.5	15.0	2.5	2.5	2.5	-	7.5	-	
		60代	54	24.1	29.6	18.5	27.8	29.6	14.8	5.6	9.3	1.9	-	3.7	-	
		70代	27*	18.5	44.4	25.9	29.6	37.0	40.7	3.7	3.7	3.7	-	-	-	
	女性	20代	41	58.5	24.4	22.0	9.8	9.8	4.9	4.9	4.9	-	-	14.6	-	
		30代	24*	54.2	25.0	41.7	12.5	20.8	16.7	8.3	4.2	-	-	4.2	-	
		40代	28*	35.7	25.0	35.7	39.3	14.3	14.3	3.6	3.6	-	-	10.7	-	
		50代	66	48.5	25.8	28.8	18.2	18.2	22.7	6.1	1.5	-	1.5	3.0	-	
		60代	61	62.3	19.7	19.7	36.1	14.8	11.5	11.5	1.6	-	1.6	3.3	-	
		70代	30	63.3	16.7	30	16.7	13.3	13.3	3.3	6.7	-	3.3	-	-	
		ボランティア経験の有無	ボランティア経験あり	429	45.0	28.0	24.9	23.5	19.3	15.2	5.6	4.2	1.2	0.7	5.1	-
		ボランティア経験なし	0*	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

n(サンプル数)の\*は、n < 30を表す。

問3 ボランティア活動に参加しない理由 ( S A )

		n	余時間的に参加する	わ参加したいが方法	活身近に興味持てる	味社会貢献活動に興	その他	無回答	
全体		592	47.8	26.4	10.1	9.3	6.3	0.2	
地域別	首都圏	309	44.3	29.1	11.0	8.7	6.5	0.3	
	関西圏	283	51.6	23.3	9.2	9.9	6.0	-	
年代別	20代	110	37.3	30.9	10.9	18.2	1.8	0.9	
	30代	79	48.1	25.3	7.6	17.7	1.3	-	
	40代	60	66.7	20.0	6.7	5.0	1.7	-	
	50代	107	72.0	19.6	2.8	3.7	1.9	-	
	60代	157	38.2	33.1	14.0	5.1	9.6	-	
	70代	79	34.2	21.5	16.5	7.6	20.3	-	
性別	男性	321	44.5	25.2	11.8	11.5	6.9	-	
	女性	271	51.7	27.7	8.1	6.6	5.5	0.4	
性・年代別	男性	20代	55	34.5	27.3	14.5	23.6	-	-
		30代	39	43.6	28.2	5.1	23.1	-	-
		40代	37	67.6	13.5	10.8	5.4	2.7	-
		50代	41	63.4	24.4	-	7.3	4.9	-
		60代	96	40.6	31.3	14.6	6.3	7.3	-
		70代	53	32.1	18.9	18.9	7.5	22.6	-
		20代	55	40.0	34.5	7.3	12.7	3.6	1.8
	女性	30代	40	52.5	22.5	10.0	12.5	2.5	-
		40代	23*	65.2	30.4	-	4.3	-	-
		50代	66	77.3	16.7	4.5	1.5	-	-
		60代	61	34.4	36.1	13.1	3.3	13.1	-
		70代	26*	38.5	26.9	11.5	7.7	15.4	-
		ボランティア経験あり	0*	-	-	-	-	-	-
		ボランティア経験なし	592	47.8	26.4	10.1	9.3	6.3	0.2

n(サンプル数)の\*は、n < 30を表す。

問4 今後のボランティア活動参加意向 ( S A )

		n	加時した余裕あれば参	加し内容興味あれば参	加きしつたかけあれば参	い活動には興味がない	その他	無回答	
全体		1021	42.6	25.4	17.6	7.9	6.5	-	
地域別	首都圏	534	41.0	27.5	17.6	7.3	6.6	-	
	関西圏	487	44.4	23.0	17.7	8.6	6.4	-	
年代別	20代	171	38.0	31.6	15.2	14.0	1.2	-	
	30代	122	43.4	23.8	17.2	14.8	0.8	-	
	40代	107	57.0	24.3	9.3	7.5	1.9	-	
	50代	213	54.0	23.0	16.0	4.2	2.8	-	
	60代	272	34.6	27.6	23.9	4.4	9.6	-	
	70代	136	34.6	19.1	17.6	7.4	21.3	-	
性別	男性	500	40.4	25.8	17.4	10.0	6.4	-	
	女性	521	44.7	25.0	17.9	6.0	6.5	-	
性・年代別	男性	20代	75	32.0	37.3	10.7	20.0	-	-
		30代	58	41.4	22.4	17.2	19.0	-	-
		40代	56	58.9	23.2	5.4	12.5	-	-
		50代	81	54.3	27.2	12.3	6.2	-	-
		60代	150	36.0	25.3	26.7	4.7	7.3	-
		70代	80	28.8	18.8	20.0	6.3	26.3	-
		20代	96	42.7	27.1	18.8	9.4	2.1	-
	女性	30代	64	45.3	25.0	17.2	10.9	1.6	-
		40代	51	54.9	25.5	13.7	2.0	3.9	-
		50代	132	53.8	20.5	18.2	3.0	4.5	-
		60代	122	32.8	30.3	20.5	4.1	12.3	-
		70代	56	42.9	19.6	14.3	8.9	14.3	-
		ボランティア経験あり	429	46.9	28.9	18.2	0.9	5.1	-
		ボランティア経験なし	592	39.5	22.8	17.2	13.0	7.4	-

n(サンプル数)の\*は、n < 30を表す。

問5 過去3年間の1泊以上の国内旅行  
経験の有無 ( S A )

問6 過去3年間の国内旅行の最長  
期間 ( S A )

		n	行った	行かなかった	無回答	
全体		1021	75.6	23.2	1.2	
地域別	首都圏	534	77.9	20.6	1.5	
	関西圏	487	73.1	26.1	0.8	
年代別	20代	171	73.7	26.3	-	
	30代	122	73.0	26.2	0.8	
	40代	107	79.4	19.6	0.9	
	50代	213	69.5	29.1	1.4	
	60代	272	79.0	19.1	1.8	
	70代	136	80.1	18.4	1.5	
性別	男性	500	74.8	24.4	0.8	
	女性	521	76.4	22.1	1.5	
性・年代別	男性	20代	75	65.3	34.7	-
		30代	58	70.7	29.3	-
		40代	56	76.8	23.2	-
		50代	56	76.8	23.2	-
		60代	81	70.4	27.2	2.5
		70代	150	78.0	20.7	1.3
		女性	20代	96	80.2	19.8
	30代		64	75.0	23.4	1.6
	40代		51	82.4	15.7	2.0
	50代		132	68.9	30.3	0.8
	60代		122	80.3	17.2	2.5
	70代		56	75.0	21.4	3.6
	ボランティア経験の有無					
	ボランティア経験あり		429	81.8	16.6	1.6
ボランティア経験なし		592	71.1	28.0	0.8	

n	2日間	3日間	4日間	5日間	6日間	未 満 1 週 間 〜 2 週 間	未 満 2 週 間 〜 1 ヶ 月	1 ヶ 月 以上	無 回 答	平 均 値
772	32.0	36.8	16.5	6.6	3.0	3.9	1.0	0.1	0.1	3.6
416	30.3	37.0	16.8	6.3	3.4	4.8	1.2	0.2	-	3.7
356	34.0	36.5	16.0	7.0	2.5	2.8	0.8	-	0.3	3.4
126	35.7	38.1	12.7	6.3	1.6	3.2	1.6	0.8	-	3.7
89	31.5	39.3	18.0	2.2	2.2	5.6	1.1	-	-	3.6
85	37.6	28.2	18.8	9.4	4.7	1.2	-	-	-	3.2
148	29.7	39.9	16.9	4.7	3.4	4.7	0.7	-	-	3.5
215	31.2	34.9	15.3	8.4	4.2	4.2	1.9	-	-	3.8
109	28.4	39.4	19.3	7.3	0.9	3.7	-	-	0.9	3.3
374	32.9	35.0	15.0	6.7	3.5	5.1	1.3	0.3	0.3	3.8
398	31.2	38.4	17.8	6.5	2.5	2.8	0.8	-	-	3.4
49	34.7	30.6	12.2	6.1	4.1	8.2	2.0	2.0	-	4.7
41	39.0	41.5	12.2	-	-	7.3	-	-	-	3.2
43	27.9	37.2	18.6	9.3	4.7	2.3	-	-	-	3.4
57	29.8	33.3	17.5	5.3	5.3	7.0	1.8	-	-	4
117	33.3	34.2	12.8	7.7	5.1	4.3	2.6	-	-	3.9
67	32.8	35.8	17.9	9.0	-	3.0	-	-	1.5	3.2
77	36.4	42.9	13.0	6.5	-	-	1.3	-	-	3.1
48	25.0	37.5	22.9	4.2	4.2	4.2	2.1	-	-	3.9
42	47.6	19.0	19.0	9.5	4.8	-	-	-	-	3
91	29.7	44.0	16.5	4.4	2.2	3.3	-	-	-	3.3
98	28.6	35.7	18.4	9.2	3.1	4.1	1.0	-	-	3.6
42	21.4	45.2	21.4	4.8	2.4	4.8	-	-	-	3.5
351	29.3	35.9	16.8	7.4	3.7	5.4	1.1	-	0.3	3.7
421	34.2	37.5	16.2	5.9	2.4	2.6	1.0	0.2	-	3.5

n(サグノ数)の\*は、n < 30を表す。

問7 過去3年間の最長国内旅行での主な行動 ( M A )

		n	自然・風景を見る	温泉で休養する	郷土の料理を食べる	等鑑賞	史跡・文化財博物館	のんびりとくつろぐ	土産品・特産品を買う	神社・仏閣等の参拝	車でドライブする	スポーツをする	地遊バ	海水浴、釣り等	登山、山歩き	体験型観光をする	都市で観光する	祭りなどのイベント	その他	無回答	
全体		772	68.8	64.1	41.1	39.0	33.2	32.6	28.8	28.6	14.6	13.7	13.3	10.8	7.1	6.5	6.3	3.2	0.1		
地域別	首都圏	416	71.6	64.9	42.1	42.3	34.1	37.7	29.3	32.5	15.1	13.5	12.0	11.8	8.7	6.5	7.5	3.4	0.2		
	関西圏	356	65.4	63.2	39.9	35.1	32.0	26.7	28.1	24.2	14.0	14.0	14.9	9.6	5.3	6.5	5.1	3.1	-		
年代別	20代	126	61.9	55.6	46.8	27.8	30.2	16.7	29.4	16.7	27.8	15.1	5.6	7.1	15.1	4.8	3.2	-	-		
	30代	89	64.0	52.8	36.0	21.3	47.2	28.1	16.9	36.0	24.7	20.2	24.7	5.6	13.5	6.7	4.5	3.4	-		
	40代	85	62.4	49.4	37.6	32.9	41.2	34.1	21.2	29.4	24.7	28.2	35.3	9.4	8.2	3.5	4.7	1.2	-		
	50代	148	75.7	70.9	51.4	43.9	39.9	43.9	31.1	31.1	15.5	10.1	9.5	12.8	6.1	4.1	9.5	2.7	-		
	60代	215	71.6	70.7	40.5	47.4	27.4	31.2	36.3	29.8	10.7	5.6	7.0	16.7	7.4	6.0	8.8	3.7	0.5		
	70代	109	70.6	72.5	28.4	47.7	21.1	25.7	40.4	15.6	2.8	1.8	2.8	7.3	1.8	2.8	1.8	4.6	-		
性別	男性	374	65.0	61.5	37.2	33.7	31.3	22.2	25.9	30.5	16.8	11.8	14.4	9.9	6.1	5.1	4.5	5.1	-		
	女性	398	72.4	66.6	44.7	44.0	34.9	42.5	31.4	26.9	12.6	15.6	12.3	11.6	8.0	7.8	8.0	1.5	0.3		
性・年代別	男性	20代	49	63.3	53.1	46.9	28.6	26.5	24.5	18.4	28.6	22.4	22.4	14.3	6.1	4.1	12.2	2.0	8.2	-	
		30代	41	58.5	51.2	36.6	14.6	48.8	19.5	14.6	43.9	31.7	29.3	26.8	4.9	14.6	7.3	7.3	2.4	-	
		40代	43	62.8	44.2	30.2	25.6	44.2	23.3	20.9	25.6	25.6	25.6	34.9	11.6	11.6	4.7	2.3	2.3	-	
		50代	57	71.9	59.6	45.6	28.1	35.1	29.8	21.1	40.4	22.8	7.0	19.3	8.8	3.5	3.5	3.5	5.3	-	
		60代	117	65.0	68.4	38.5	43.6	26.5	20.5	30.8	33.3	11.1	5.1	7.7	15.4	6.0	4.3	6.8	5.1	-	
		70代	67	65.7	74.6	25.4	41.8	20.9	17.9	37.3	13.4	3.0	-	1.5	6.0	1.5	1.5	3.0	6.0	-	
		女性	20代	77	61.0	57.1	46.8	27.3	32.5	33.8	15.6	29.9	13.0	31.2	15.6	5.2	9.1	16.9	6.5	-	-
	30代		48	68.8	54.2	35.4	27.1	45.8	35.4	18.8	29.2	18.8	12.5	22.9	6.3	12.5	6.3	2.1	4.2	-	
	40代		42	61.9	54.8	45.2	40.5	38.1	45.2	21.4	33.3	23.8	31.0	35.7	7.1	4.8	2.4	7.1	-	-	
	50代		91	78.0	78.0	54.9	53.8	42.9	52.7	37.4	25.3	11.0	12.1	3.3	15.4	7.7	4.4	13.2	1.1	-	
	60代		98	79.6	73.5	42.9	52.0	28.6	43.9	42.9	25.5	10.2	6.1	6.1	18.4	9.2	8.2	11.2	2.0	1.0	
	70代		42	78.6	69.0	33.3	57.1	21.4	38.1	45.2	19.0	2.4	4.8	4.8	9.5	2.4	4.8	-	2.4	-	
	ボランティア経験の有無																				
	ボランティア経験あり		351	71.5	66.1	43.3	44.2	33.9	36.8	31.1	32.2	15.7	13.7	13.4	14.0	8.0	7.7	6.3	2.0	-	
ボランティア経験なし		421	66.5	62.5	39.2	34.7	32.5	29.2	26.8	25.7	13.8	13.8	13.3	8.1	6.4	5.5	6.4	4.3	0.2		

n(サグノ数)の\*は、n < 30を表す。

問 8 国内旅行を考える時の情報入手経路 ( M A )

		n	旅行雑誌、ガイド	業者のポスター、パンフレット	家族、友人、知人等の紹介	インターネット	新聞、雑誌	テレビやラジオ	公的な観光案内所	旅行代理店窓口の勤め	その他	無回答	
全 体		772	54.5	49.7	43.0	33.3	30.8	13.2	8.3	7.8	2.7	0.4	
地域別	首都圏	416	54.3	46.2	45.4	38.2	31.7	13.7	10.1	7.7	2.4	0.2	
	関西圏	356	54.8	53.9	40.2	27.5	29.8	12.6	6.2	7.9	3.1	0.6	
年代別	20代	126	57.9	47.6	36.5	48.4	24.6	10.3	5.6	5.6	0.8	-	
	30代	89	55.1	40.4	46.1	58.4	28.1	15.7	5.6	4.5	1.1	-	
	40代	85	63.5	47.1	32.9	57.6	23.5	12.9	8.2	7.1	2.4	-	
	50代	148	61.5	58.8	43.9	35.1	39.9	14.9	8.1	6.8	3.4	-	
	60代	215	48.8	48.8	44.7	16.3	37.7	13.0	10.2	7.4	4.2	-	
	70代	109	45.0	51.4	51.4	7.3	20.2	12.8	10.1	15.6	2.8	-	
	性別	男性	374	53.5	42.0	39.0	35.3	31.6	11.2	8.6	7.2	2.9	0.5
	女性	398	55.5	57.0	46.7	31.4	30.2	15.1	8.0	8.3	2.5	0.3	
性・年代別	男性	20代	49	55.1	34.7	40.8	46.9	30.6	14.3	6.1	4.1	-	-
		30代	41	53.7	29.3	53.7	56.1	29.3	12.2	7.3	4.9	-	-
		40代	43	69.8	39.5	27.9	69.8	30.2	11.6	4.7	2.3	-	-
		50代	57	57.9	47.4	35.1	43.9	24.6	7.0	8.8	3.5	5.3	-
		60代	117	47.9	44.4	35.0	21.4	44.4	12.0	9.4	7.7	5.1	-
		70代	67	47.8	47.8	46.3	9.0	17.9	10.4	11.9	16.4	3.0	3.0
		ボランティア経験の有無	ボランティア経験あり	49	59.7	55.8	33.8	49.4	20.8	7.8	5.2	6.5	1.3
		ボランティア経験なし	48	56.3	50.0	39.6	60.4	27.1	18.8	4.2	4.2	2.1	-
	女性	20代	42	57.1	54.8	38.1	45.2	16.7	14.3	11.9	11.9	4.8	-
		30代	91	63.7	65.9	49.5	29.7	49.5	19.8	7.7	8.8	2.2	-
		40代	91	63.7	65.9	49.5	29.7	49.5	19.8	7.7	8.8	2.2	-
		50代	98	50.0	54.1	56.1	10.2	29.6	14.3	11.2	7.1	3.1	-
		60代	98	50.0	54.1	56.1	10.2	29.6	14.3	11.2	7.1	3.1	-
		70代	42	40.5	57.1	59.5	4.8	23.8	16.7	7.1	14.3	2.4	2.4
ボランティア経験の有無		ボランティア経験あり	351	58.4	50.7	44.2	36.8	32.2	14.8	11.1	8.0	3.1	0.9
	ボランティア経験なし	421	51.3	48.9	42.0	30.4	29.7	11.9	5.9	7.6	2.4	-	

n(サンプル数)の \* は、n < 30を表す。

問 9 1泊以上の国内旅行に行かなかった理由 ( M A )

		n	金銭的に余裕がない	休みが取れないから	きつかけがなかった	家族と一緒に休みとれない	留守中ペット預ける人なし	留守中ペット預ける人なし	留守中家族の世話がない	健康・体力に自信がない	一緒に行く人がいない	面倒や準備をするのが面倒	行きたい観光地や施設から	旅行は好きではない	高齢・障害等のため移動が難しい	海外旅行の方が好き	その他	無回答
全 体		237	41.4	36.7	21.5	21.1	14.3	13.5	11.8	8.0	7.2	6.3	5.1	4.2	3.0	3.8	1.3	
地域別	首都圏	110	38.2	40.0	20.9	21.8	17.3	14.5	12.7	4.5	7.3	4.5	4.5	4.5	4.5	5.5	0.9	
	関西圏	127	44.1	33.9	22.0	20.5	11.8	12.6	11.0	11.0	7.1	7.9	5.5	3.9	1.6	2.4	1.6	
年代別	20代	45	60.0	48.9	28.9	8.9	-	4.4	2.2	20.0	15.6	17.8	11.1	-	6.7	4.4	-	
	30代	32	56.3	56.3	15.6	18.8	9.4	15.6	-	6.3	6.3	6.3	3.1	-	3.1	-	3.1	
	40代	21*	47.6	47.6	19.0	42.9	28.6	9.5	4.8	-	4.8	4.8	-	4.8	-	-	4.8	
	50代	62	33.9	46.8	22.6	33.9	19.4	17.7	4.8	8.1	1.6	6.5	-	-	1.6	6.5	-	
	60代	52	30.8	11.5	21.2	13.5	21.2	11.5	30.8	5.8	1.9	3.8	3.8	13.5	3.8	3.8	1.9	
	70代	25*	24.0	8.0	16.0	12.0	8.0	24.0	28.0	-	4.0	4.0	-	8.0	-	4.0	-	
	性別	男性	122	45.9	44.3	23.0	18.9	12.3	4.9	13.1	10.7	5.7	9.0	7.4	4.9	3.3	0.8	0.8
	女性	115	36.5	28.7	20.0	23.5	16.5	22.6	10.4	5.2	8.7	3.5	2.6	3.5	2.6	7.0	1.7	
性・年代別	男性	20代	26*	53.8	57.7	30.8	7.7	-	-	3.8	30.8	15.4	19.2	11.5	-	7.7	-	-
		30代	17*	35.3	64.7	23.5	11.8	11.8	5.9	-	11.8	11.8	5.9	-	-	5.9	-	-
		40代	13*	61.5	61.5	23.1	38.5	15.4	-	-	-	-	7.7	-	7.7	-	-	7.7
		50代	22*	50.0	59.1	22.7	31.8	18.2	9.1	4.5	9.1	4.5	4.5	13.6	-	-	4.5	-
		60代	31	45.2	19.4	19.4	19.4	22.6	6.5	25.8	3.2	-	3.2	6.5	12.9	3.2	-	-
		70代	13*	23.1	7.7	15.4	7.7	-	7.7	46.2	-	-	7.7	-	7.7	-	-	-
		ボランティア経験の有無	ボランティア経験あり	19*	68.4	36.8	26.3	10.5	-	10.5	-	5.3	15.8	15.8	10.5	-	5.3	10.5
		ボランティア経験なし	15*	80.0	46.7	6.7	26.7	6.7	26.7	-	-	-	-	-	-	-	-	6.7
	女性	20代	8*	25.0	25.0	12.5	50.0	50.0	25.0	12.5	-	12.5	-	-	-	-	-	-
		30代	40	25.0	40.0	22.5	35.0	20.0	22.5	5.0	7.5	10.0	-	2.5	-	2.5	7.5	-
		40代	21*	9.5	-	23.8	4.8	19.0	19.0	38.1	9.5	4.8	4.8	-	14.3	4.8	9.5	4.8
		50代	21*	9.5	-	23.8	4.8	19.0	19.0	38.1	9.5	4.8	4.8	-	14.3	4.8	9.5	4.8
		60代	21*	9.5	-	23.8	4.8	19.0	19.0	38.1	9.5	4.8	4.8	-	14.3	4.8	9.5	4.8
		70代	12*	25.0	8.3	16.7	16.7	16.7	41.7	8.3	-	8.3	-	-	8.3	-	8.3	-
ボランティア経験の有無		ボランティア経験あり	71	35.2	40.8	23.9	25.4	16.9	12.7	8.5	4.2	4.2	2.8	1.4	4.2	5.6	-	
	ボランティア経験なし	166	44.0	34.9	20.5	19.3	13.3	13.9	13.3	9.6	8.4	7.2	6.0	5.4	2.4	3.0	1.8	

n(サンプル数)の \* は、n < 30を表す。

問10 今後3年間に国内旅行をしたいか(SA) 問11 今後の国内旅行回数や日数の増減意向(SA)

		n	はい	いいえ	無回答		
全体		1021	91.3	7.3	1.4		
地域別	首都圏	534	91.6	6.9	1.5		
	関西圏	487	91.0	7.8	1.2		
年代別	20代	171	91.8	8.2	-		
	30代	122	90.2	9.0	0.8		
	40代	107	94.4	5.6	-		
	50代	213	92.0	7.5	0.5		
	60代	272	92.3	4.8	2.9		
	70代	136	86.0	11.0	2.9		
性別	男性	500	88.8	9.8	1.4		
	女性	521	93.7	5.0	1.3		
性・年代別	男性	20代	75	84.0	16.0	-	
		30代	58	86.2	13.8	-	
		40代	56	94.6	5.4	-	
		50代	81	91.4	7.4	1.2	
		60代	150	91.3	6.0	2.7	
		70代	80	83.8	13.8	2.5	
		20代	96	97.9	2.1	-	
	女性	30代	64	93.8	4.7	1.6	
		40代	51	94.1	5.9	-	
		50代	132	92.4	7.6	-	
		60代	122	93.4	3.3	3.3	
		70代	56	89.3	7.1	3.6	
		ボランティア経験の有無	ボランティア経験あり	429	94.9	4.4	0.7
		ボランティア経験なし	592	88.7	9.5	1.9	

n(サンプル数)の\*は、n < 30を表す。

n	これまでと同程度	長く多くなりたい回数、日数	短く多くなりたい回数、日数	長く少くなりたい回数、日数	短く少くなりたい回数、日数	その他	無回答
932	33.7	32.7	15.0	14.2	3.4	0.6	0.3
489	34.8	33.9	14.9	12.5	2.5	0.8	0.6
443	32.5	31.4	15.1	16.0	4.5	0.5	-
157	29.3	39.5	15.3	14.6	1.3	-	-
110	30.0	40.9	10.0	17.3	0.9	-	0.9
101	42.6	37.6	3.0	13.9	2.0	1.0	-
196	32.7	35.7	12.2	14.8	3.1	1.5	-
251	35.9	23.9	22.3	12.0	4.4	0.8	0.8
117	32.5	25.6	18.8	14.5	8.5	-	-
444	30.9	35.6	14.6	14.6	3.2	0.5	0.7
488	36.3	30.1	15.4	13.7	3.7	0.8	-
63	23.8	44.4	15.9	14.3	1.6	-	-
50	32.0	42.0	4.0	18.0	2.0	-	2.0
53	30.2	50.9	3.8	13.2	1.9	-	-
74	29.7	41.9	12.2	14.9	-	1.4	-
137	32.1	24.8	21.9	15.3	3.6	0.7	1.5
67	35.8	25.4	17.9	11.9	9.0	-	-
94	33.0	36.2	14.9	14.9	1.1	-	-
60	28.3	40.0	15.0	16.7	-	-	-
48	56.3	22.9	2.1	14.6	2.1	2.1	-
122	34.4	32.0	12.3	14.8	4.9	1.6	-
114	40.4	22.8	22.8	7.9	5.3	0.9	-
50	28.0	26.0	20.0	18.0	8.0	-	-
407	36.4	32.9	14.5	12.8	2.5	0.5	0.5
525	31.6	32.6	15.4	15.2	4.2	0.8	0.2

問12 国内旅行費用の増減意向(SA)

		n	これまでと同程度でよい	これまでより費用がけない	これまでより費用がかかる	その他	無回答		
全体		932	72.5	13.2	12.9	0.5	0.9		
地域別	首都圏	489	74.6	11.0	12.7	0.6	1.0		
	関西圏	443	70.2	15.6	13.1	0.5	0.7		
年代別	20代	157	67.5	16.6	15.9	-	-		
	30代	110	71.8	14.5	10.9	2.7	-		
	40代	101	64.4	14.9	19.8	-	1.0		
	50代	196	73.0	12.2	12.8	1.5	0.5		
	60代	251	76.5	13.5	9.2	0.8	-		
	70代	117	77.8	6.8	12.8	1.7	0.9		
性別	男性	444	69.6	14.2	15.1	-	1.1		
	女性	488	75.2	12.3	10.9	1.0	0.6		
性・年代別	男性	20代	63	66.7	17.5	15.9	-	-	
		30代	50	76.0	8.0	16.0	-	-	
		40代	53	50.9	18.9	30.2	-	-	
		50代	74	67.6	16.2	13.5	2.7	-	
		60代	137	71.5	16.1	11.7	0.7	-	
		70代	67	80.6	6.0	10.4	3.0	-	
		20代	94	68.1	16.0	16.0	-	-	
	女性	30代	60	68.3	20.0	6.7	5.0	-	
		40代	48	79.2	10.4	8.3	-	2.1	
		50代	122	76.2	9.8	12.3	0.8	0.8	
		60代	114	82.5	10.5	6.1	0.9	-	
		70代	50	74.0	8.0	16.0	-	2.0	
		ボランティア経験の有無	ボランティア経験あり	407	73.5	11.3	13.3	0.7	1.2
		ボランティア経験なし	525	71.8	14.7	12.6	0.4	0.6	

n(サンプル数)の\*は、n < 30を表す。



問 1 3 「ボランティアホリデー」体験希望意向 ( S A )

		n	ぜひ体験してみたい	機会があれば体験したい	どちらともいえない	あまり体験したくない	まったく体験したくない	無回答		
全 体		1021	2.0	35.9	24.9	26.4	10.8	-		
地域別	首都圏	534	1.1	35.0	25.1	27.2	11.6	-		
	関西圏	487	2.9	37.0	24.6	25.7	9.9	-		
年代別	20代	171	3.5	38.0	25.7	21.6	11.1	-		
	30代	122	2.5	36.1	28.7	22.1	10.7	-		
	40代	107	3.7	37.4	25.2	28.0	5.6	-		
	50代	213	1.4	40.4	24.9	25.4	8.0	-		
	60代	272	0.7	36.0	24.3	26.8	12.1	-		
	70代	136	1.5	25.0	21.3	36.0	16.2	-		
	性別	男性	500	0.8	34.2	24.6	28.4	12.0	-	
女性		521	3.1	37.6	25.1	24.6	9.6	-		
性・年代別	男性	20代	75	2.7	33.3	21.3	29.3	13.3	-	
		30代	58	-	24.1	32.8	31.0	12.1	-	
		40代	56	1.8	35.7	19.6	33.9	8.9	-	
		50代	81	-	42.0	27.2	18.5	12.3	-	
		60代	150	0.7	39.3	25.3	27.3	7.3	-	
		70代	80	-	23.8	21.3	33.8	21.3	-	
		20代	96	4.2	41.7	29.2	15.6	9.4	-	
	女性	30代	64	4.7	46.9	25.0	14.1	9.4	-	
		40代	51	5.9	39.2	31.4	21.6	2.0	-	
		50代	132	2.3	39.4	23.5	29.5	5.3	-	
		60代	122	0.8	32.0	23.0	26.2	18.0	-	
		70代	56	3.6	26.8	21.4	39.3	8.9	-	
		ボランティア経験の有無	ボランティア経験あり	429	4.0	42.0	23.1	23.3	7.7	-
		ボランティア経験なし	592	0.5	31.6	26.2	28.7	13.0	-	

n(サンプル数)の \* は、n < 30を表す。

問 1 4 「ボランティアホリデー」説明文の最も関心ある部分 ( S A )

		n	体験一般的旅行と違った	地元の方々と交流する機会	様々な活動を通して地域貢献	活動しながら地方滞在	通常より安価で滞在	以外	無回答		
全 体		641	40.2	22.5	14.7	10.3	10.3	0.3	1.7		
地域別	首都圏	327	39.8	22.0	15.9	9.2	11.6	-	1.5		
	関西圏	314	40.8	22.9	13.4	11.5	8.9	0.6	1.9		
年代別	20代	115	34.8	21.7	10.4	16.5	16.5	-	-		
	30代	82	34.1	17.1	17.1	14.6	13.4	-	3.7		
	40代	71	50.7	15.5	9.9	16.9	7.0	-	-		
	50代	142	35.9	25.4	20.4	8.5	9.9	-	-		
	60代	166	42.8	25.9	13.9	4.8	8.4	1.2	3.0		
	70代	65	49.2	23.1	13.8	4.6	4.6	-	4.6		
	性別	男性	298	38.3	24.2	15.8	10.4	10.4	0.3	0.7	
女性		343	42.0	21.0	13.7	10.2	10.2	0.3	2.6		
性・年代別	男性	20代	43	39.5	25.6	11.6	11.6	-	-		
		30代	33	21.2	30.3	12.1	21.2	15.2	-	-	
		40代	32	50.0	18.8	9.4	15.6	6.3	-	-	
		50代	56	33.9	26.8	21.4	10.7	7.1	-	-	
		60代	98	37.8	21.4	17.3	7.1	13.3	1.0	2.0	
		70代	36	50.0	25.0	16.7	2.8	5.6	-	-	
		20代	72	31.9	19.4	9.7	19.4	19.4	-	-	
	女性	30代	49	42.9	8.2	20.4	10.2	12.2	-	6.1	
		40代	39	51.3	12.8	10.3	17.9	7.7	-	-	
		50代	86	37.2	24.4	19.8	7.0	11.6	-	-	
		60代	68	50.0	32.4	8.8	1.5	1.5	1.5	4.4	
		70代	29*	48.3	20.7	10.3	6.9	3.4	-	10.3	
		ボランティア経験の有無	ボランティア経験あり	296	38.5	22.6	16.6	11.8	9.1	0.3	1.0
		ボランティア経験なし	345	41.7	22.3	13.0	9.0	11.3	0.3	2.3	

n(サンプル数)の \* は、n < 30を表す。

問 15 「ボランティアホリデー」体験の希望滞在期間 ( S A )

		n	日 帰 り	2 日 間	3 日 間	4 日 間	5 日 間	6 日 間	1 週 間 〜 2 週 間 未 満	2 週 間 〜 1 ヶ 月 未 満	1 ヶ 月 〜 3 ヶ 月 未 満	3 ヶ 月 以 上	無 回 答	平 均 値	
全 体		387	3.4	13.2	23.3	3.6	7.2	5.4	25.3	6.5	4.1	0.3	7.8	9.3	
地域別	首都圏	193	2.6	12.4	23.8	4.7	6.7	5.2	27.5	7.3	3.1	0.5	6.2	9.2	
	関西圏	194	4.1	13.9	22.7	2.6	7.7	5.7	23.2	5.7	5.2	-	9.3	9.3	
年代別	20代	71	2.8	12.7	16.9	4.2	2.8	5.6	32.4	11.3	9.9	-	1.4	13.2	
	30代	47	2.1	10.6	17.0	2.1	2.1	8.5	27.7	19.1	2.1	2.1	6.4	13	
	40代	44	2.3	15.9	20.5	2.3	6.8	4.5	36.4	2.3	9.1	-	-	11.3	
	50代	89	4.5	13.5	31.5	5.6	7.9	3.4	21.3	2.2	2.2	-	7.9	6.6	
	60代	100	5.0	17.0	21.0	4.0	10.0	6.0	16.0	4.0	2.0	-	15.0	6.7	
	70代	36	-	2.8	33.3	-	13.9	5.6	30.6	2.8	-	-	11.1	6.5	
	性別	男性	175	2.3	11.4	25.1	2.9	7.4	5.7	26.3	6.9	4.6	-	7.4	9.4
	女性	212	4.2	14.6	21.7	4.2	7.1	5.2	24.5	6.1	3.8	0.5	8.0	9.2	
性・年代別	男性	20代	27*	3.7	11.1	18.5	7.4	3.7	-	25.9	14.8	11.1	-	3.7	14.3
		30代	14*	-	14.3	7.1	7.1	-	-	28.6	28.6	7.1	-	7.1	15.2
		40代	21*	4.8	19.0	28.6	-	4.8	4.8	33.3	-	4.8	-	-	8
		50代	34	-	11.8	32.4	2.9	8.8	8.8	26.5	-	2.9	-	5.9	7.1
		60代	60	3.3	11.7	25.0	1.7	8.3	8.3	21.7	5.0	3.3	-	11.7	8.2
		70代	19*	-	-	31.6	-	15.8	5.3	31.6	5.3	-	-	10.5	7.1
		70代	19*	-	-	31.6	-	15.8	5.3	31.6	5.3	-	-	10.5	7.1
	女性	20代	44	2.3	13.6	15.9	2.3	2.3	9.1	36.4	9.1	9.1	-	-	12.6
		30代	33	3.0	9.1	21.2	-	3.0	12.1	27.3	15.2	-	3.0	6.1	12.1
		40代	23*	-	13.0	13.0	4.3	8.7	4.3	39.1	4.3	13.0	-	-	14.2
		50代	55	7.3	14.5	30.9	7.3	7.3	-	18.2	3.6	1.8	-	9.1	6.2
		60代	40	7.5	25.0	15.0	7.5	12.5	2.5	7.5	2.5	-	-	20.0	4.2
		70代	17*	-	5.9	35.3	-	11.8	5.9	29.4	-	-	-	11.8	5.7
		70代	17*	-	5.9	35.3	-	11.8	5.9	29.4	-	-	-	11.8	5.7
ボランティア 経験の有無	ボランティア経験あり	197	2.0	9.6	25.4	5.1	8.6	5.1	22.8	6.6	4.6	-	10.2	9.3	
	ボランティア経験なし	190	4.7	16.8	21.1	2.1	5.8	5.8	27.9	6.3	3.7	0.5	5.3	9.2	

n(サンプル数)の\*は、n < 30を表す。

問 16 「ボランティアホリデー」に一緒に行きたい人 ( S A )

		n	自 分 1 人	友 人	配 偶 者	配 偶 者 以 外 の 家 族	そ の 他	無 回 答	
全 体		387	29.2	28.9	22.2	10.1	2.3	7.2	
地域別	首都圏	193	28.5	33.7	21.2	9.3	1.0	6.2	
	関西圏	194	29.9	24.2	23.2	10.8	3.6	8.2	
年代別	20代	71	38.0	39.4	9.9	8.5	2.8	1.4	
	30代	47	19.1	23.4	21.3	27.7	4.3	4.3	
	40代	44	25.0	25.0	22.7	22.7	4.5	-	
	50代	89	32.6	27.0	24.7	6.7	1.1	7.9	
	60代	100	26.0	27.0	30.0	3.0	1.0	13.0	
	70代	36	30.6	30.6	19.4	2.8	2.8	13.9	
	性別	男性	175	37.1	22.3	28.6	4.6	1.1	6.3
	女性	212	22.6	34.4	17.0	14.6	3.3	8.0	
性・年代別	男性	20代	27*	44.4	44.4	7.4	-	-	3.7
		30代	14*	50.0	14.3	28.6	7.1	-	-
		40代	21*	19.0	28.6	28.6	19.0	4.8	-
		50代	34	44.1	8.8	32.4	5.9	2.9	5.9
		60代	60	35.0	16.7	38.3	1.7	-	8.3
		70代	19*	31.6	31.6	21.1	-	-	15.8
		70代	19*	31.6	31.6	21.1	-	-	15.8
	女性	20代	44	34.1	36.4	11.4	13.6	4.5	-
		30代	33	6.1	27.3	18.2	36.4	6.1	6.1
		40代	23*	30.4	21.7	17.4	26.1	4.3	-
		50代	55	25.5	38.2	20.0	7.3	-	9.1
		60代	40	12.5	42.5	17.5	5.0	2.5	20.0
		70代	17*	29.4	29.4	17.6	5.9	5.9	11.8
		70代	17*	29.4	29.4	17.6	5.9	5.9	11.8
ボランティア 経験の有無	ボランティア経験あり	197	23.9	27.9	26.9	9.1	2.5	9.6	
	ボランティア経験なし	190	34.7	30.0	17.4	11.1	2.1	4.7	

n(サンプル数)の\*は、n < 30を表す。

問 1 7 「ボランティアホリデー」に行きたい地域 ( M A )

		n	北海道	九州	東北	四国	北陸	近畿	関東	中国	中部	無回答	
全体		387	62.3	62.0	47.3	33.9	32.8	31.8	31.5	26.9	24.3	7.2	
地域別	首都圏	193	65.3	64.2	56.5	36.3	38.9	33.2	40.4	31.1	26.9	5.7	
	関西圏	194	59.3	59.8	38.1	31.4	26.8	30.4	22.7	22.7	21.6	8.8	
年代別	20代	71	76.1	80.3	46.5	45.1	29.6	29.6	21.1	26.8	19.7	2.8	
	30代	47	85.1	80.9	46.8	38.3	38.3	29.8	36.2	29.8	23.4	4.3	
	40代	44	88.6	77.3	61.4	34.1	38.6	38.6	47.7	36.4	29.5	-	
	50代	89	57.3	52.8	46.1	39.3	38.2	33.7	32.6	25.8	28.1	9.0	
	60代	100	45.0	43.0	47.0	27.0	31.0	31.0	31.0	26.0	25.0	12.0	
	70代	36	33.3	58.3	36.1	11.1	16.7	27.8	25.0	16.7	16.7	11.1	
性別	男性	175	58.9	57.1	50.3	37.1	30.9	26.3	27.4	26.9	21.1	5.7	
	女性	212	65.1	66.0	44.8	31.1	34.4	36.3	34.9	26.9	26.9	8.5	
性・年代別	男性	20代	27*	81.5	70.4	51.9	48.1	29.6	18.5	29.6	25.9	22.2	3.7
		30代	14*	78.6	78.6	64.3	71.4	42.9	21.4	35.7	35.7	21.4	-
		40代	21*	85.7	81.0	61.9	38.1	42.9	38.1	47.6	42.9	38.1	-
		50代	34	55.9	55.9	47.1	50.0	35.3	32.4	23.5	26.5	20.6	5.9
		60代	60	45.0	40.0	48.3	26.7	28.3	23.3	25.0	25.0	18.3	8.3
		70代	19*	31.6	52.6	36.8	5.3	10.5	26.3	10.5	10.5	10.5	10.5
		女性	20代	44	72.7	86.4	43.2	43.2	29.5	36.4	15.9	27.3	18.2
	30代		33	87.9	81.8	39.4	24.2	36.4	33.3	36.4	27.3	24.2	6.1
	40代		23*	91.3	73.9	60.9	30.4	34.8	39.1	47.8	30.4	21.7	-
	50代		55	58.2	50.9	45.5	32.7	40.0	34.5	38.2	25.5	32.7	10.9
	60代		40	45.0	47.5	45.0	27.5	35.0	42.5	40.0	27.5	35.0	17.5
	70代		17*	35.3	64.7	35.3	17.6	23.5	29.4	41.2	23.5	23.5	11.8
	ボランティア経験の有無		ボランティア経験あり	197	60.4	58.9	45.7	33.0	35.5	33.0	34.5	28.4	29.4
		ボランティア経験なし	190	64.2	65.3	48.9	34.7	30.0	30.5	28.4	25.3	18.9	5.3

n(サンプル数)の\*は、n < 30を表す。

問 1 7 - 1 具体的な県・地域 北海道 ( M A )

		n	北海道	
全体		387	62.3	
地域別	首都圏	193	65.3	
	関西圏	194	59.3	
年代別	20代	71	76.1	
	30代	47	85.1	
	40代	44	88.6	
	50代	89	57.3	
	60代	100	45.0	
	70代	36	33.3	
性別	男性	175	58.9	
	女性	212	65.1	
性・年代別	男性	20代	27*	81.5
		30代	14*	78.6
		40代	21*	85.7
		50代	34	55.9
		60代	60	45.0
		70代	19*	31.6
		女性	20代	44
	30代		33	87.9
	40代		23*	91.3
	50代		55	58.2
	60代		40	45.0
	70代		17*	35.3
	ボランティア経験の有無		ボランティア経験あり	197
		ボランティア経験なし	190	64.2

n(サンプル数)の\*は、n < 30を表す。

	n	道南	道央	道東	道北	無回答
	241	52.3	42.3	42.3	39.4	5.4
	126	51.6	43.7	42.9	39.7	7.1
	115	53.0	40.9	41.7	39.1	3.5
	54	66.7	53.7	50.0	48.1	3.7
	40	57.5	40.0	40.0	50.0	2.5
	39	53.8	64.1	38.5	38.5	2.6
	51	52.9	41.2	35.3	33.3	3.9
	45	26.7	22.2	48.9	31.1	13.3
	12*	58.3	8.3	33.3	25.0	8.3
	103	47.6	41.7	46.6	35.9	5.8
	138	55.8	42.8	39.1	42.0	5.1
	22*	72.7	50.0	50.0	54.5	-
	11*	54.5	63.6	54.5	54.5	9.1
	18*	55.6	61.1	27.8	33.3	5.6
	19*	42.1	42.1	31.6	21.1	5.3
	27*	22.2	18.5	59.3	29.6	11.1
	6*	50.0	16.7	66.7	16.7	-
	32	62.5	56.3	50.0	43.8	6.3
	29*	58.6	31.0	34.5	48.3	-
	21*	52.4	66.7	47.6	42.9	-
	32	59.4	40.6	37.5	40.6	3.1
	18*	33.3	27.8	33.3	33.3	16.7
	6*	66.7	-	-	33.3	16.7
	119	49.6	44.5	37.8	37.8	3.4
	122	54.9	40.2	46.7	41.0	7.4

問 1 7 - 2 具体的な県 東北 ( M A )

		n	東 北	
全 体		387	47.3	
地域別	首都圏	193	56.5	
	関西圏	194	38.1	
年代別	20代	71	46.5	
	30代	47	46.8	
	40代	44	61.4	
	50代	89	46.1	
	60代	100	47.0	
	70代	36	36.1	
性別	男性	175	50.3	
	女性	212	44.8	
性・年代別	男性	20代	27*	51.9
		30代	14*	64.3
		40代	21*	61.9
		50代	34	47.1
		60代	60	48.3
		70代	19*	36.8
		女性	20代	44
	30代		33	39.4
	40代		23*	60.9
	50代		55	45.5
	60代		40	45.0
	70代		17*	35.3
	ボランティア 経験の有無		ボランティア経験あり	197
		ボランティア経験なし	190	48.9

n(サンプル数)の \* は、n < 30を表す。

n	青 森	秋 田	岩 手	山 形	宮 城	福 島	無 回 答
183	51.4	49.2	39.9	36.6	33.3	21.3	7.1
109	46.8	51.4	45.0	37.6	34.9	25.7	7.3
74	58.1	45.9	32.4	35.1	31.1	14.9	6.8
33	63.6	57.6	45.5	36.4	33.3	15.2	-
22*	72.7	54.5	54.5	36.4	36.4	36.4	9.1
27*	51.9	51.9	63.0	55.6	33.3	29.6	7.4
41	39.0	46.3	24.4	31.7	29.3	22.0	7.3
47	40.4	38.3	31.9	34.0	40.4	14.9	10.6
13*	61.5	61.5	30.8	23.1	15.4	15.4	7.7
88	51.1	50.0	47.7	40.9	36.4	25.0	8.0
95	51.6	48.4	32.6	32.6	30.5	17.9	6.3
14*	71.4	42.9	64.3	35.7	42.9	21.4	-
9*	77.8	77.8	55.6	55.6	55.6	66.7	11.1
13*	38.5	46.2	53.8	53.8	23.1	15.4	15.4
16*	31.3	43.8	37.5	37.5	25.0	25.0	6.3
29*	41.4	48.3	37.9	41.4	44.8	17.2	10.3
7*	85.7	57.1	57.1	14.3	14.3	28.6	-
19*	57.9	68.4	31.6	36.8	26.3	10.5	-
13*	69.2	38.5	53.8	23.1	23.1	15.4	7.7
14*	64.3	57.1	71.4	57.1	42.9	42.9	-
25*	44.0	48.0	16.0	28.0	32.0	20.0	8.0
18*	38.9	22.2	22.2	22.2	33.3	11.1	11.1
6*	33.3	66.7	-	33.3	16.7	-	16.7
90	53.3	51.1	38.9	42.2	35.6	21.1	4.4
93	49.5	47.3	40.9	31.2	31.2	21.5	9.7

問 1 7 - 3 具体的な県 関東 ( M A )

		n	関 東	
全 体		387	31.5	
地域別	首都圏	193	40.4	
	関西圏	194	22.7	
年代別	20代	71	21.1	
	30代	47	36.2	
	40代	44	47.7	
	50代	89	32.6	
	60代	100	31.0	
	70代	36	25.0	
性別	男性	175	27.4	
	女性	212	34.9	
性・年代別	男性	20代	27*	29.6
		30代	14*	35.7
		40代	21*	47.6
		50代	34	23.5
		60代	60	25.0
		70代	19*	10.5
		女性	20代	44
	30代		33	36.4
	40代		23*	47.8
	50代		55	38.2
	60代		40	40.0
	70代		17*	41.2
	ボランティア 経験の有無		ボランティア経験あり	197
		ボランティア経験なし	190	28.4

n(サンプル数)の \* は、n < 30を表す。

n	長 野	山 梨	群 馬	栃 木	東 京	神 奈 川	埼 玉	千 葉	茨 城	無 回 答
122	67.2	40.2	18.9	16.4	14.8	13.1	12.3	11.5	10.7	4.1
78	71.8	43.6	19.2	19.2	11.5	12.8	15.4	9.0	10.3	5.1
44	59.1	34.1	18.2	11.4	20.5	13.6	6.8	15.9	11.4	2.3
15*	73.3	46.7	20.0	20.0	40.0	26.7	13.3	20.0	13.3	6.7
17*	64.7	41.2	29.4	11.8	17.6	11.8	17.6	17.6	11.8	5.9
21*	76.2	52.4	14.3	14.3	9.5	9.5	9.5	9.5	14.3	4.8
29*	69.0	44.8	6.9	20.7	6.9	10.3	10.3	13.8	6.9	-
31	64.5	32.3	22.6	6.5	12.9	16.1	12.9	6.5	9.7	3.2
9*	44.4	11.1	33.3	44.4	11.1	-	11.1	-	11.1	11.1
48	68.8	39.6	22.9	22.9	12.5	12.5	12.5	12.5	18.8	4.2
74	66.2	40.5	16.2	12.2	16.2	13.5	12.2	10.8	5.4	4.1
8*	87.5	50.0	37.5	37.5	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	-
5*	80.0	60.0	60.0	40.0	20.0	20.0	40.0	40.0	40.0	-
10*	70.0	50.0	20.0	20.0	10.0	10.0	10.0	10.0	20.0	10.0
8*	62.5	25.0	-	25.0	-	-	-	-	12.5	-
15*	66.7	33.3	13.3	6.7	13.3	13.3	6.7	6.7	6.7	6.7
2*	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-	50.0	-
7*	57.1	42.9	-	-	57.1	28.6	-	14.3	-	14.3
12*	58.3	33.3	16.7	-	16.7	8.3	8.3	8.3	-	8.3
11*	81.8	54.5	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	-
21*	71.4	52.4	9.5	19.0	9.5	14.3	14.3	19.0	4.8	-
16*	62.5	31.3	31.3	6.3	12.5	18.8	18.8	6.3	12.5	-
7*	57.1	14.3	28.6	42.9	14.3	-	14.3	-	-	14.3
68	77.9	45.6	22.1	16.2	16.2	13.2	13.2	13.2	13.2	2.9
54	53.7	33.3	14.8	16.7	13.0	13.0	11.1	9.3	7.4	5.6

問 1 7 - 4 具体的な県 中部 ( M A )

		n	中 部	
全 体		387	24.3	
地域別	首都圏	193	26.9	
	関西圏	194	21.6	
年代別	20代	71	19.7	
	30代	47	23.4	
	40代	44	29.5	
	50代	89	28.1	
	60代	100	25.0	
	70代	36	16.7	
性別	男性	175	21.1	
	女性	212	26.9	
性・年代別	男性	20代	27*	22.2
		30代	14*	21.4
		40代	21*	38.1
		50代	34	20.6
		60代	60	18.3
		70代	19*	10.5
	女性	20代	44	18.2
		30代	33	24.2
		40代	23*	21.7
		50代	55	32.7
		60代	40	35.0
		70代	17*	23.5
	ボランティア 経験の有無	ボランティア経験あり	197	29.4
		ボランティア経験なし	190	18.9

n(サンプル数)の \* は、n < 30を表す。

n	岐 阜	静 岡	三 重	愛 知	無 回 答
94	48.9	40.4	28.7	20.2	6.4
52	50.0	46.2	30.8	23.1	3.8
42	47.6	33.3	26.2	16.7	9.5
14*	71.4	21.4	42.9	35.7	-
11*	45.5	54.5	27.3	18.2	9.1
13*	46.2	61.5	30.8	30.8	7.7
25*	48.0	52.0	16.0	8.0	8.0
25*	44.0	20.0	24.0	16.0	8.0
6*	33.3	50.0	66.7	33.3	-
37	51.4	43.2	32.4	24.3	5.4
57	47.4	38.6	26.3	17.5	7.0
6*	66.7	33.3	50.0	50.0	-
3*	100.0	66.7	66.7	33.3	-
8*	37.5	62.5	37.5	25.0	12.5
7*	42.9	42.9	14.3	-	-
11*	54.5	18.2	9.1	9.1	9.1
2*	-	100.0	100.0	100.0	-
8*	75.0	12.5	37.5	25.0	-
8*	25.0	50.0	12.5	12.5	12.5
5*	60.0	60.0	20.0	40.0	-
18*	50.0	55.6	16.7	11.1	11.1
14*	35.7	21.4	35.7	21.4	7.1
4*	50.0	25.0	50.0	-	-
58	55.2	43.1	25.9	20.7	3.4
36	38.9	36.1	33.3	19.4	11.1

問 1 7 - 5 具体的な県 北陸 ( M A )

		n	北 陸	
全 体		387	32.8	
地域別	首都圏	193	38.9	
	関西圏	194	26.8	
年代別	20代	71	29.6	
	30代	47	38.3	
	40代	44	38.6	
	50代	89	38.2	
	60代	100	31.0	
	70代	36	16.7	
性別	男性	175	30.9	
	女性	212	34.4	
性・年代別	男性	20代	27*	29.6
		30代	14*	42.9
		40代	21*	42.9
		50代	34	35.3
		60代	60	28.3
		70代	19*	10.5
	女性	20代	44	29.5
		30代	33	36.4
		40代	23*	34.8
		50代	55	40.0
		60代	40	35.0
		70代	17*	23.5
	ボランティア 経験の有無	ボランティア経験あり	197	35.5
		ボランティア経験なし	190	30.0

n(サンプル数)の \* は、n < 30を表す。

n	新 潟	富 山	石 川	福 井	無 回 答
127	47.2	43.3	42.5	26.8	3.9
75	45.3	46.7	41.3	29.3	2.7
52	50.0	38.5	44.2	23.1	5.8
21*	76.2	38.1	38.1	28.6	-
18*	61.1	44.4	44.4	22.2	5.6
17*	35.3	52.9	70.6	35.3	5.9
34	50.0	44.1	38.2	26.5	2.9
31	19.4	45.2	32.3	22.6	6.5
6*	66.7	16.7	50.0	33.3	-
54	44.4	51.9	44.4	31.5	3.7
73	49.3	37.0	41.1	23.3	4.1
8*	87.5	62.5	62.5	50.0	-
6*	83.3	33.3	50.0	50.0	-
9*	33.3	55.6	55.6	33.3	11.1
12*	33.3	58.3	25.0	25.0	-
17*	23.5	47.1	35.3	17.6	5.9
2*	50.0	50.0	100.0	50.0	-
13*	69.2	23.1	23.1	15.4	-
12*	50.0	50.0	41.7	8.3	8.3
8*	37.5	50.0	87.5	37.5	-
22*	59.1	36.4	45.5	27.3	4.5
14*	14.3	42.9	28.6	28.6	7.1
4*	75.0	-	25.0	25.0	-
70	45.7	48.6	47.1	31.4	-
57	49.1	36.8	36.8	21.1	8.8

問 17 - 6 具体的な県 近畿 (MA)

		n	近 畿	
全 体		387	31.8	
地域別	首都圏	193	33.2	
	関西圏	194	30.4	
年代別	20代	71	29.6	
	30代	47	29.8	
	40代	44	38.6	
	50代	89	33.7	
	60代	100	31.0	
	70代	36	27.8	
性別	男性	175	26.3	
	女性	212	36.3	
性・年代別	男性	20代	27*	18.5
		30代	14*	21.4
		40代	21*	38.1
		50代	56	32.4
		60代	45	23.3
		70代	32	26.3
		女性	20代	44
	30代		33	33.3
	40代		23*	39.1
	50代		58	34.5
	60代		45	42.5
	70代		35	29.4
	ボランティア経験の有無		ボランティア経験あり	197
		ボランティア経験なし	190	30.5

n(サンプル数)の \* は、n < 30を表す。

n	京 都	奈 良	和 歌 山	兵 庫	滋 賀	大 阪	無 回 答
123	52.0	38.2	33.3	29.3	23.6	21.1	3.3
64	65.6	45.3	34.4	23.4	21.9	23.4	3.1
59	37.3	30.5	32.2	35.6	25.4	18.6	3.4
21*	76.2	38.1	23.8	38.1	14.3	42.9	4.8
14*	64.3	35.7	35.7	28.6	35.7	28.6	7.1
17*	41.2	29.4	47.1	41.2	23.5	29.4	5.9
30	50.0	36.7	43.3	16.7	23.3	10.0	3.3
31	41.9	38.7	22.6	25.8	25.8	9.7	-
10*	40.0	60.0	30.0	40.0	20.0	20.0	-
46	37.0	45.7	32.6	32.6	23.9	23.9	2.2
77	61.0	33.8	33.8	27.3	23.4	19.5	3.9
5*	60.0	40.0	20.0	20.0	20.0	80.0	-
3*	66.7	66.7	66.7	66.7	33.3	66.7	-
8*	12.5	37.5	50.0	37.5	12.5	12.5	12.5
11*	18.2	54.5	9.1	9.1	36.4	45.5	-
14*	28.6	21.4	7.1	35.7	50.0	14.3	-
5*	40.0	40.0	40.0	60.0	60.0	20.0	-
16*	81.3	37.5	25.0	43.8	12.5	31.3	6.3
11*	63.6	27.3	27.3	18.2	36.4	18.2	9.1
9*	66.7	22.2	44.4	44.4	33.3	44.4	-
19*	47.4	36.8	42.1	21.1	26.3	10.5	5.3
17*	58.8	29.4	29.4	17.6	23.5	11.8	-
5*	40.0	60.0	40.0	20.0	-	-	-
65	52.3	41.5	40.0	27.7	26.2	20.0	3.1
58	51.7	34.5	25.9	31.0	20.7	22.4	3.4

問 17 - 7 具体的な県 四国 (MA)

		n	四 国	
全 体		387	33.9	
地域別	首都圏	193	36.3	
	関西圏	194	31.4	
年代別	20代	71	45.1	
	30代	47	38.3	
	40代	44	34.1	
	50代	89	39.3	
	60代	100	27.0	
	70代	36	11.1	
性別	男性	175	37.1	
	女性	212	31.1	
性・年代別	男性	20代	27*	48.1
		30代	14*	71.4
		40代	21*	38.1
		50代	34	50.0
		60代	60	26.7
		70代	19*	5.3
		女性	20代	44
	30代		33	24.2
	40代		23*	30.4
	50代		55	32.7
	60代		40	27.5
	70代		17*	17.6
	ボランティア経験の有無		ボランティア経験あり	197
		ボランティア経験なし	190	34.7

n(サンプル数)の \* は、n < 30を表す。

n	高 知	愛 媛	香 川	徳 島	無 回 答
131	59.5	49.6	35.1	32.8	6.1
70	68.6	57.1	40.0	34.3	4.3
61	49.2	41.0	29.5	31.1	8.2
32	65.6	56.3	40.6	25.0	3.1
18*	72.2	61.1	38.9	55.6	5.6
15*	66.7	73.3	40.0	33.3	6.7
35	57.1	34.3	34.3	25.7	8.6
27*	48.1	40.7	25.9	40.7	7.4
4*	25.0	50.0	25.0	-	-
65	63.1	50.8	33.8	29.2	7.7
66	56.1	48.5	36.4	36.4	4.5
13*	61.5	53.8	30.8	15.4	7.7
10*	90.0	80.0	60.0	60.0	-
8*	75.0	75.0	50.0	37.5	12.5
17*	47.1	35.3	23.5	17.6	11.8
16*	62.5	37.5	18.8	31.3	6.3
1*	-	-	100.0	-	-
19*	68.4	57.9	47.4	31.6	-
8*	50.0	37.5	12.5	50.0	12.5
7*	57.1	71.4	28.6	28.6	-
18*	66.7	33.3	44.4	33.3	5.6
11*	27.3	45.5	36.4	54.5	9.1
3*	33.3	66.7	-	-	-
65	63.1	46.2	35.4	36.9	4.6
66	56.1	53.0	34.8	28.8	7.6

問 17 - 8 具体的な県 中国 (MA)

		n	中 国	
全 体		387	26.9	
地域別	首都圏	193	31.1	
	関西圏	194	22.7	
年代別	20代	71	26.8	
	30代	47	29.8	
	40代	44	36.4	
	50代	89	25.8	
	60代	100	26.0	
	70代	36	16.7	
性別	男性	175	26.9	
	女性	212	26.9	
性・年代別	男性	20代	27*	25.9
		30代	14*	35.7
		40代	21*	42.9
		50代	34	26.5
		60代	60	25.0
		70代	19*	10.5
	女性	20代	44	27.3
		30代	33	27.3
		40代	23*	30.4
		50代	55	25.5
		60代	40	27.5
		70代	17*	23.5
	ボランティア経験の有無	ボランティア経験あり	197	28.4
		ボランティア経験なし	190	25.3

n(サグⅡ数)の \* は、n < 30を表す。

n	鳥 取	広 島	島 根	山 口	岡 山	無 回 答
104	46.2	37.5	34.6	31.7	26.0	4.8
60	51.7	43.3	33.3	28.3	20.0	5.0
44	38.6	29.5	36.4	36.4	34.1	4.5
19*	57.9	63.2	36.8	21.1	26.3	-
14*	57.1	64.3	42.9	35.7	50.0	7.1
16*	43.8	31.3	43.8	37.5	25.0	6.3
23*	52.2	26.1	34.8	39.1	21.7	-
26*	30.8	15.4	23.1	26.9	19.2	11.5
6*	33.3	50.0	33.3	33.3	16.7	-
47	38.3	29.8	40.4	34.0	29.8	6.4
57	52.6	43.9	29.8	29.8	22.8	3.5
7*	57.1	57.1	71.4	28.6	28.6	-
5*	100.0	80.0	60.0	80.0	80.0	-
9*	22.2	33.3	55.6	22.2	33.3	11.1
9*	44.4	11.1	22.2	22.2	11.1	-
15*	20.0	6.7	20.0	33.3	20.0	13.3
2*	-	50.0	50.0	50.0	50.0	-
12*	58.3	66.7	16.7	16.7	25.0	-
9*	33.3	55.6	33.3	11.1	33.3	11.1
7*	71.4	28.6	28.6	57.1	14.3	-
14*	57.1	35.7	42.9	50.0	28.6	-
11*	45.5	27.3	27.3	18.2	18.2	9.1
4*	50.0	50.0	25.0	25.0	-	-
56	53.6	44.6	39.3	32.1	32.1	3.6
48	37.5	29.2	29.2	31.3	18.8	6.3

問 17 - 9 具体的な県 九州 (MA)

		n	九 州	
全 体		387	62.0	
地域別	首都圏	193	64.2	
	関西圏	194	59.8	
年代別	20代	71	80.3	
	30代	47	80.9	
	40代	44	77.3	
	50代	89	52.8	
	60代	100	43.0	
	70代	36	58.3	
性別	男性	175	57.1	
	女性	212	66.0	
性・年代別	男性	20代	27*	70.4
		30代	14*	78.6
		40代	21*	81.0
		50代	34	55.9
		60代	60	40.0
		70代	19*	52.6
	女性	20代	44	86.4
		30代	33	81.8
		40代	23*	73.9
		50代	55	50.9
		60代	40	47.5
		70代	17*	64.7
	ボランティア経験の有無	ボランティア経験あり	197	58.9
		ボランティア経験なし	190	65.3

n(サグⅡ数)の \* は、n < 30を表す。

n	沖 縄	鹿 児 島	宮 崎	長 崎	熊 本	大 分	福 岡	佐 賀	無 回 答
240	65.0	40.8	29.6	28.3	19.6	17.1	16.3	10.4	5.0
124	69.4	42.7	33.9	31.5	21.8	16.9	21.8	8.9	4.8
116	60.3	38.8	25.0	25.0	17.2	17.2	10.3	12.1	5.2
57	77.2	42.1	21.1	31.6	21.1	21.1	17.5	8.8	1.8
38	76.3	52.6	26.3	36.8	18.4	15.8	23.7	13.2	2.6
34	82.4	50.0	47.1	38.2	29.4	23.5	20.6	17.6	2.9
47	59.6	34.0	36.2	23.4	12.8	10.6	12.8	8.5	4.3
43	44.2	34.9	25.6	16.3	23.3	9.3	11.6	4.7	11.6
21*	38.1	28.6	23.8	23.8	9.5	28.6	9.5	14.3	9.5
100	63.0	49.0	38.0	25.0	25.0	22.0	18.0	12.0	6.0
140	66.4	35.0	23.6	30.7	15.7	13.6	15.0	9.3	4.3
19*	78.9	57.9	31.6	31.6	31.6	31.6	26.3	15.8	5.3
11*	81.8	90.9	45.5	63.6	45.5	36.4	45.5	36.4	-
17*	82.4	47.1	52.9	35.3	29.4	23.5	17.6	23.5	5.9
19*	52.6	36.8	42.1	5.3	15.8	10.5	15.8	-	5.3
24*	41.7	41.7	29.2	16.7	16.7	12.5	4.2	-	12.5
10*	50.0	30.0	30.0	10.0	20.0	30.0	10.0	10.0	-
38	76.3	34.2	15.8	31.6	15.8	15.8	13.2	5.3	-
27*	74.1	37.0	18.5	25.9	7.4	7.4	14.8	3.7	3.7
17*	82.4	52.9	41.2	41.2	29.4	23.5	23.5	11.8	-
28*	64.3	32.1	32.1	35.7	10.7	10.7	10.7	14.3	3.6
19*	47.4	26.3	21.1	15.8	31.6	5.3	21.1	10.5	10.5
11*	27.3	27.3	18.2	36.4	-	27.3	9.1	18.2	18.2
116	69.0	42.2	32.8	25.0	19.8	14.7	19.0	13.8	1.7
124	61.3	39.5	26.6	31.5	19.4	19.4	13.7	7.3	8.1

問 18 「ボランティアホリデー」滞在地域に欲しいもの (MA)

		n	温泉	自然や動植物	融合	活動通じ地域の人の	所郷土料理が味わえる場	等史跡・文化財・博物館	設地域文化等の体験型施設	農家民宿	祭りなどのイベント	神社・仏閣等	名産品特産品購入場所	スポーツができる場所	釣りができる場所	観光案内所	その他	無回答
全体		387	59.9	55.8	48.6	40.8	30.0	29.7	26.6	22.2	19.6	16.3	14.0	9.3	4.7	1.0	7.8	
地域別	首都圏	193	57.5	59.1	53.4	39.4	33.2	31.6	28.0	24.4	20.2	14.0	15.5	10.4	4.1	1.6	5.7	
	関西圏	194	62.4	52.6	43.8	42.3	26.8	27.8	25.3	20.1	19.1	18.6	12.4	8.2	5.2	0.5	9.8	
年代別	20代	71	69.0	60.6	46.5	47.9	29.6	35.2	31.0	38.0	22.5	25.4	15.5	9.9	8.5	-	2.8	
	30代	47	70.2	59.6	51.1	42.6	21.3	31.9	38.3	27.7	10.6	14.9	29.8	12.8	4.3	4.3	4.3	
	40代	44	63.6	79.5	54.5	56.8	29.5	27.3	25.0	40.9	11.4	18.2	20.5	11.4	6.8	-	2.3	
	50代	89	59.6	55.1	50.6	38.2	34.8	30.3	23.6	15.7	15.7	20.2	12.4	6.7	4.5	-	9.0	
	60代	100	49.0	43.0	45.0	32.0	27.0	27.0	26.0	12.0	28.0	8.0	7.0	8.0	2.0	2.0	13.0	
	70代	36	55.6	50.0	47.2	36.1	38.9	25.0	13.9	5.6	22.2	11.1	5.6	11.1	2.8	-	11.1	
	性別	男性	175	55.4	53.1	44.6	37.7	28.6	27.4	23.4	13.7	22.9	9.7	13.7	16.6	1.7	1.7	6.9
	女性	212	63.7	58.0	51.9	43.4	31.1	31.6	29.2	29.2	17.0	21.7	14.2	3.3	7.1	0.5	8.5	
性・年代別	男性	20代	27*	63.0	55.6	33.3	40.7	29.6	33.3	29.6	14.8	25.9	18.5	25.9	14.8	3.7	-	3.7
		30代	14*	71.4	78.6	57.1	35.7	7.1	14.3	50.0	21.4	7.1	7.1	7.1	28.6	7.1	7.1	-
		40代	21*	61.9	66.7	47.6	66.7	33.3	28.6	19.0	42.9	14.3	14.3	19.0	19.0	4.8	-	4.8
		50代	34	58.8	61.8	44.1	35.3	38.2	29.4	20.6	8.8	23.5	11.8	14.7	14.7	-	-	5.9
		60代	60	45.0	40.0	46.7	30.0	20.0	26.7	20.0	6.7	25.0	5.0	10.0	13.3	-	3.3	10.0
		70代	19*	52.6	42.1	42.1	31.6	47.4	26.3	15.8	5.3	31.6	5.3	5.3	21.1	-	-	10.5
		70代	17*	58.8	58.8	52.9	41.2	29.4	23.5	11.8	5.9	11.8	17.6	5.9	-	5.9	-	11.8
	女性	20代	44	72.7	63.6	54.5	52.3	29.5	36.4	31.8	52.3	20.5	29.5	9.1	6.8	11.4	-	2.3
		30代	33	69.7	51.5	48.5	45.5	27.3	39.4	33.3	30.3	12.1	18.2	39.4	6.1	3.0	3.0	6.1
		40代	23*	65.2	91.3	60.9	47.8	26.1	26.1	30.4	39.1	8.7	21.7	21.7	4.3	8.7	-	-
		50代	55	60.0	50.9	54.5	40.0	32.7	30.9	25.5	20.0	10.9	25.5	10.9	1.8	7.3	-	10.9
		60代	40	55.0	47.5	42.5	35.0	37.5	27.5	35.0	20.0	32.5	12.5	2.5	-	5.0	-	17.5
		70代	17*	58.8	58.8	52.9	41.2	29.4	23.5	11.8	5.9	11.8	17.6	5.9	-	5.9	-	11.8
		ボランティア経験の有無	ボランティア経験あり	197	59.9	57.4	47.2	39.1	28.9	31.0	30.5	22.3	18.3	15.7	12.2	8.6	5.6	0.5
	ボランティア経験なし	190	60.0	54.2	50.0	42.6	31.1	28.4	22.6	22.1	21.1	16.8	15.8	10.0	3.7	1.6	6.3	

n(サンプル数)の\*は、n < 30を表す。

問 19 負担できる一日当たりの費用 (SA)

		n	5千円未満	5千円～1万円未満	1万円～1万5千円未満	1万5千円～2万円未満	2万円以上	無回答	平均値	
全体		387	35.7	42.9	9.0	4.4	0.3	7.8	6.6	
地域別	首都圏	193	33.7	45.1	8.8	5.2	0.5	6.7	6.8	
	関西圏	194	37.6	40.7	9.3	3.6	-	8.8	6.3	
年代別	20代	71	53.5	36.6	4.2	2.8	-	2.8	5.3	
	30代	47	61.7	27.7	-	4.3	-	6.4	4.7	
	40代	44	47.7	40.9	4.5	4.5	-	2.3	5.8	
	50代	89	28.1	55.1	6.7	2.2	-	7.9	6.6	
	60代	100	19.0	41.0	21.0	5.0	1.0	13.0	8.4	
	70代	36	16.7	52.8	8.3	11.1	-	11.1	8.3	
	性別	男性	175	31.4	45.1	13.1	2.9	0.6	6.9	6.9
	女性	212	39.2	41.0	5.7	5.7	-	8.5	6.3	
性・年代別	男性	20代	27*	51.9	37.0	3.7	3.7	-	3.7	5.4
		30代	14*	64.3	35.7	-	-	-	-	4.3
		40代	21*	42.9	42.9	4.8	4.8	-	4.8	6
		50代	34	29.4	50.0	14.7	-	-	5.9	6.7
		60代	60	16.7	46.7	23.3	1.7	1.7	10.0	8.3
		70代	19*	15.8	52.6	10.5	10.5	-	10.5	8.4
		70代	17*	17.6	52.9	5.9	11.8	-	11.8	8.2
	女性	20代	44	54.5	36.4	4.5	2.3	-	2.3	5.2
		30代	33	60.6	24.2	-	6.1	-	9.1	4.8
		40代	23*	52.2	39.1	4.3	4.3	-	-	5.5
		50代	55	27.3	58.2	1.8	3.6	-	9.1	6.5
		60代	40	22.5	32.5	17.5	10.0	-	17.5	8.4
		70代	17*	17.6	52.9	5.9	11.8	-	11.8	8.2
		70代	17*	17.6	52.9	5.9	11.8	-	11.8	8.2
ボランティア経験の有無	ボランティア経験あり	197	32.5	42.6	8.6	5.6	0.5	10.2	6.9	
	ボランティア経験なし	190	38.9	43.2	9.5	3.2	-	5.3	6.3	

n(サンプル数)の\*は、n < 30を表す。



問 2 0 往復の交通費 ( S A )

			n	3万円未満	3万円～5万円未満	5万円～7万円未満	7万円以上	無回答	平均値	
全体			387	72.6	16.0	2.3	0.3	8.8	2.5	
地域別	首都圏		193	72.5	16.6	2.6	0.5	7.8	2.5	
	関西圏		194	72.7	15.5	2.1	-	9.8	2.4	
年代別	20代		71	80.3	15.5	1.4	-	2.8	2.4	
	30代		47	87.2	6.4	-	-	6.4	2.1	
	40代		44	84.1	11.4	2.3	-	2.3	2.3	
	50代		89	71.9	19.1	1.1	-	7.9	2.5	
	60代		100	61.0	17.0	4.0	1.0	17.0	2.7	
	70代		36	58.3	25.0	5.6	-	11.1	2.8	
性別	男性		175	70.9	17.1	3.4	0.6	8.0	2.6	
	女性		212	74.1	15.1	1.4	-	9.4	2.4	
性・年代別	男性	20代	27*	85.2	7.4	3.7	-	3.7	2.3	
		30代	14*	85.7	14.3	-	-	-	2.3	
		40代	21*	81.0	14.3	-	-	4.8	2.3	
		50代	34	76.5	17.6	-	-	5.9	2.4	
		60代	60	60.0	18.3	6.7	1.7	13.3	2.8	
		70代	19*	52.6	31.6	5.3	-	10.5	2.9	
	女性	20代	44	77.3	20.5	-	-	2.3	2.4	
		30代	33	87.9	3.0	-	-	9.1	2.1	
		40代	23*	87.0	8.7	4.3	-	-	2.3	
		50代	55	69.1	20.0	1.8	-	9.1	2.5	
		60代	40	62.5	15.0	-	-	22.5	2.4	
		70代	17*	64.7	17.6	5.9	-	11.8	2.7	
		ボランティア経験の有無	ボランティア経験あり	197	72.1	15.7	2.0	-	10.2	2.4
		ボランティア経験なし	ボランティア経験なし	190	73.2	16.3	2.6	0.5	7.4	2.5

n(サンプル数)の \* は、n < 30を表す。

平均値の単位：万円

問 2 1 希望する宿泊施設 ( M A )

			n	公的な宿泊施設	国民宿舎、ユースホステル	民家(ホームステイ)	旅館	自炊できるアパート等	ホテル	その他	無回答	
全体			387	48.3	48.1	41.6	25.8	23.0	20.2	1.0	7.8	
地域別	首都圏		193	49.7	46.1	40.9	27.5	26.9	20.2	1.0	6.7	
	関西圏		194	46.9	50.0	42.3	24.2	19.1	20.1	1.0	8.8	
年代別	20代		71	46.5	42.3	47.9	43.7	33.8	32.4	1.4	2.8	
	30代		47	53.2	46.8	51.1	21.3	29.8	25.5	2.1	6.4	
	40代		44	63.6	59.1	47.7	29.5	31.8	31.8	-	2.3	
	50代		89	46.1	43.8	39.3	24.7	20.2	18.0	2.2	7.9	
	60代		100	44.0	46.0	35.0	17.0	13.0	11.0	-	13.0	
	70代		36	44.4	63.9	33.3	19.4	16.7	5.6	-	11.1	
性別	男性		175	47.4	44.6	45.1	26.3	22.3	15.4	2.3	6.9	
	女性		212	49.1	50.9	38.7	25.5	23.6	24.1	-	8.5	
性・年代別	男性	20代	27*	51.9	48.1	51.9	55.6	33.3	25.9	3.7	3.7	
		30代	14*	42.9	35.7	78.6	28.6	42.9	28.6	7.1	-	
		40代	21*	52.4	42.9	52.4	23.8	19.0	33.3	-	4.8	
		50代	34	52.9	35.3	41.2	32.4	26.5	8.8	5.9	5.9	
		60代	60	43.3	46.7	33.3	13.3	13.3	8.3	-	10.0	
		70代	19*	42.1	57.9	47.4	15.8	15.8	5.3	-	10.5	
	女性	20代	44	43.2	38.6	45.5	36.4	34.1	36.4	-	2.3	
		30代	33	57.6	51.5	39.4	18.2	24.2	24.2	-	9.1	
		40代	23*	73.9	73.9	43.5	34.8	43.5	30.4	-	-	
		50代	55	41.8	49.1	38.2	20.0	16.4	23.6	-	9.1	
		60代	40	45.0	45.0	37.5	22.5	12.5	15.0	-	17.5	
		70代	17*	47.1	70.6	17.6	23.5	17.6	5.9	-	11.8	
		ボランティア経験の有無	ボランティア経験あり	197	46.7	49.2	42.1	23.4	22.8	17.8	0.5	9.6
		ボランティア経験なし	ボランティア経験なし	190	50.0	46.8	41.1	28.4	23.2	22.6	1.6	5.8

n(サンプル数)の \* は、n < 30を表す。

問 2 3 滞在地で行いたいボランティア活動 ( M A )

		n	農作業手伝い	体験型観光の手伝い	動手伝	祭イベント等地域活動	伝い	役場や公共施設の手伝い	観光案内所等の手伝い	酪農手伝い	野生植物の保護	特産品の加工作業	草刈、清掃、雪かき	野生動物の保護	特産品の販売	漁業手伝い	林業手伝い	スボーツに関する手伝い	その他	無回答
全体		387	52.2	40.1	34.6	30.5	29.5	28.2	26.1	24.3	24.0	23.0	22.5	18.1	16.8	12.4	0.5	8.3		
地域別	首都圏	193	55.4	42.0	35.2	33.2	28.0	29.0	27.5	29.0	25.9	23.3	22.8	19.7	21.2	13.0	-	7.3		
	関西圏	194	49.0	38.1	34.0	27.8	30.9	27.3	24.7	19.6	22.2	22.7	22.2	16.5	12.4	11.9	1.0	9.3		
年代別	20代	71	69.0	46.5	39.4	25.4	45.1	45.1	31.0	23.9	28.2	38.0	22.5	29.6	25.4	25.4	-	4.2		
	30代	47	68.1	42.6	42.6	17.0	27.7	48.9	34.0	29.8	31.9	34.0	27.7	29.8	25.5	25.5	2.1	6.4		
	40代	44	59.1	52.3	45.5	31.8	38.6	31.8	18.2	25.0	31.8	27.3	11.4	18.2	22.7	25.0	-	4.5		
	50代	89	50.6	41.6	37.1	36.0	29.2	25.8	23.6	28.1	20.2	21.3	25.8	14.6	11.2	4.5	-	7.9		
	60代	100	35.0	33.0	26.0	37.0	17.0	12.0	25.0	20.0	18.0	12.0	21.0	11.0	11.0	3.0	1.0	13.0		
	70代	36	41.7	25.0	19.4	25.0	25.0	13.9	25.0	19.4	22.2	8.3	25.0	8.3	11.1	-	-	11.1		
	性別	男性	175	51.4	32.6	30.3	25.1	24.0	28.0	26.9	19.4	24.0	24.6	13.1	27.4	24.0	14.9	0.6	8.0	
	女性	212	52.8	46.2	38.2	34.9	34.0	28.3	25.5	28.3	24.1	21.7	30.2	10.4	10.8	10.4	0.5	8.5		
性・年代別	男性	20代	27*	70.4	40.7	25.9	18.5	33.3	37.0	33.3	14.8	40.7	33.3	14.8	40.7	37.0	29.6	-	7.4	
		30代	14*	64.3	42.9	35.7	14.3	35.7	64.3	50.0	42.9	35.7	42.9	35.7	50.0	42.9	35.7	-	-	
		40代	21*	52.4	38.1	47.6	23.8	33.3	33.3	19.0	19.0	19.0	28.6	-	33.3	23.8	38.1	-	9.5	
		50代	34	64.7	38.2	32.4	20.6	17.6	32.4	20.6	26.5	17.6	32.4	8.8	32.4	20.6	5.9	-	5.9	
		60代	60	35.0	25.0	28.3	35.0	16.7	15.0	25.0	13.3	18.3	15.0	15.0	15.0	16.7	5.0	1.7	10.0	
		70代	19*	42.1	21.1	15.8	21.1	26.3	15.8	26.3	15.8	26.3	10.5	10.5	15.8	21.1	-	-	10.5	
		70代	44	68.2	50.0	47.7	29.5	52.3	50.0	29.5	29.5	20.5	40.9	27.3	22.7	18.2	22.7	-	2.3	
	女性	20代	33	69.7	42.4	45.5	18.2	24.2	42.4	27.3	24.2	30.3	30.3	24.2	21.2	18.2	21.2	3.0	9.1	
		30代	23*	65.2	65.2	43.5	39.1	43.5	30.4	17.4	30.4	43.5	26.1	21.7	4.3	21.7	13.0	-	-	
		40代	55	41.8	43.6	40.0	45.5	36.4	21.8	25.5	29.1	21.8	14.5	36.4	3.6	5.5	3.6	-	9.1	
		50代	40	35.0	45.0	22.5	40.0	17.5	7.5	25.0	30.0	17.5	7.5	30.0	5.0	2.5	-	-	17.5	
		60代	17*	41.2	29.4	23.5	29.4	23.5	11.8	23.5	23.5	17.6	5.9	41.2	-	-	-	-	11.8	
		ボランティア経験の有無	ボランティア経験あり	197	49.2	40.1	37.1	29.4	31.5	27.9	26.9	24.9	23.9	23.4	24.9	21.3	18.8	10.7	-	10.2
			ボランティア経験なし	190	55.3	40.0	32.1	31.6	27.4	28.4	25.3	23.7	24.2	22.6	20.0	14.7	14.7	14.2	1.1	6.3

n(サンプル数)の \* は、n < 30を表す。

問 2 4 提供できるボランティア内容 ( M A )

		n	軽作業	話し相手	体を動かした作業	町づくり・イベント等手伝	接客	調理支援	保育支援	介護支援	パソコン指導	スポーツ指導	音楽指導	美術指導	ホームページ作成・更新	通訳	散髪	手話	ライフライン	医療活動	弁護士等の法律や税務関連	その他	特になし	無回答			
全体		387	62.8	56.8	54.5	41.3	35.1	28.7	22.0	16.8	10.6	8.5	4.4	3.4	2.8	2.3	1.6	1.3	1.0	0.8	0.5	-	3.4	2.1	7.5		
地域別	首都圏	193	65.3	54.9	61.1	44.0	36.3	30.1	23.8	19.7	12.4	8.3	5.2	4.1	2.6	2.6	0.5	1.6	0.5	1.0	0.5	-	5.2	1.6	6.2		
	関西圏	194	60.3	58.8	47.9	38.7	34.0	27.3	20.1	13.9	8.8	8.8	3.6	2.6	3.1	2.1	2.6	1.0	1.5	0.5	0.5	-	1.5	2.6	8.8		
年代別	20代	71	67.6	64.8	80.3	52.1	49.3	32.4	26.8	14.1	16.9	9.9	5.6	2.8	8.5	2.8	2.8	-	2.8	1.4	1.4	-	2.8	-	2.8		
	30代	47	63.8	63.8	68.1	48.9	40.4	29.8	27.7	14.9	14.9	8.5	4.3	2.1	2.1	4.3	2.1	2.1	-	-	-	-	2.1	2.1	6.4		
	40代	44	68.2	77.3	70.5	63.6	38.6	31.8	36.4	20.5	18.2	15.9	6.8	4.5	2.3	4.5	-	4.5	2.3	2.3	-	-	4.5	2.3	2.3		
	50代	89	65.2	69.6	47.2	33.7	33.7	36.0	21.3	19.1	9.0	9.0	2.2	3.4	2.2	2.2	1.1	-	-	-	-	-	-	1.1	1.1	6.7	
	60代	100	56.0	43.0	37.0	32.0	28.0	21.0	14.0	17.0	4.0	4.0	4.0	5.0	1.0	-	3.0	2.0	2.0	-	1.0	1.0	-	7.0	13.0		
	70代	36	58.3	38.9	33.3	27.6	19.4	19.4	11.1	13.9	5.6	8.3	5.6	-	-	2.8	2.8	-	-	-	-	-	-	-	-	11.1	
	性別	男性	175	64.6	42.3	61.1	37.1	26.3	11.4	6.9	5.7	16.0	12.6	2.9	3.4	3.4	2.3	0.6	2.9	0.6	1.7	-	-	2.9	3.4	6.3	
	女性	212	61.3	68.9	49.1	44.8	42.5	42.9	34.4	25.9	6.1	5.2	5.7	3.3	2.4	2.4	2.4	-	1.4	-	0.9	-	3.8	0.9	8.5		
性・年代別	男性	20代	27*	70.4	56.6	81.5	29.6	37.0	22.2	11.1	7.4	22.2	11.1	3.7	-	7.4	-	-	-	3.7	3.7	-	-	-	-	3.7	
		30代	14*	64.3	64.3	92.9	50.0	21.4	-	7.1	7.1	28.6	14.3	7.1	-	7.1	7.1	-	7.1	-	-	-	-	-	-	-	
		40代	21*	61.9	66.7	71.4	61.9	28.6	14.3	9.5	4.8	28.6	19.0	-	4.8	4.8	4.8	-	9.5	-	4.8	-	-	-	4.8	4.8	
		50代	34	67.6	60.0	58.8	26.5	23.5	14.7	11.8	5.9	17.6	17.6	-	2.9	2.9	2.9	2.9	-	-	-	-	-	-	-	2.9	
		60代	60	65.0	26.7	48.3	36.7	25.0	8.3	3.3	6.7	6.7	6.7	5.0	6.7	1.7	-	5.0	1.7	3.3	-	1.7	-	-	8.3	10.0	
		70代	19*	52.6	15.8	42.1	31.6	21.1	5.3	-	-	10.5	15.8	-	-	-	5.3	5.3	-	-	-	-	-	-	-	-	10.5
		70代	44	65.9	70.5	79.5	65.9	56.8	38.6	36.4	18.2	13.6	9.1	6.8	4.5	9.1	4.5	4.5	-	2.3	-	2.3	-	4.5	-	2.3	
女性	20代	33	63.6	63.6	57.6	48.5	48.5	42.4	36.4	18.2	9.1	6.1	3.0	3.0	-	3.0	3.0	-	3.0	-	-	-	3.0	3.0	9.1		
	30代	23*	73.9	87.0	69.6	65.2	47.8	47.8	60.9	34.8	8.7	13.0	13.0	4.3	-	4.3	-	4.3	-	-	-	-	8.7	-	-		
	40代	55	63.6	65.5	40.0	38.2	40.0	49.1	27.3	27.3	3.6	3.6	3.6	3.6	1.8	1.8	1.8	1.8	-	-	-	-	-	1.8	9.1		
	50代	40	42.5	67.5	20.0	25.0	32.5	40.0	30.0	32.5	-	-	2.5	2.5	-	-	2.5	-	-	-	-	-	2.5	-	5.0		
	60代	17*	64.7	64.7	23.5	23.5	17.6	35.3	23.5	29.4	-	-	11.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11.8	
	ボランティア経験の有無	ボランティア経験あり	197	57.4	61.9	53.8	41.1	36.5	36.5	26.9	22.8	9.6	12.7	7.1	3.6	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	1.0	0.5	-	2.5	1.5	9.1	
		ボランティア経験なし	190	68.4	51.6	55.3	41.6	33.7	20.5	16.8	10.5	11.6	4.2	1.6	3.2	3.2	2.1	0.5	1.1	0.5	0.5	0.5	-	4.2	2.6	5.8	

n(サンプル数)の \* は、n < 30を表す。

問 2 5 「ボランティアホリデー」を体験したくない理由 (MA)

		n	休みがとれないから	健康・体力に自信がない	金銭的余裕がないから	留守中家族の世話人いない	地方圏行く機会他に十分有	仕組みに興味がない	留守中ペット預ける人なし	高齢・障害等で移動に不安	家族と一緒に休みとれない	一緒に行く人がいない	計画や準備をするのが面倒	ボランティアやりたくない	地方圏に興味がないから	行きたい観光地、施設がない	海外旅行の方が好きだから	旅行は好きではないから	その他	無回答	
全 体		634	37.1	30.4	23.8	21.8	20.0	16.4	13.7	13.6	10.4	8.8	8.5	4.7	4.4	3.8	3.0	2.2	6.5	4.1	
地域別	首都圏	341	37.2	32.3	24.3	22.0	19.1	17.3	16.4	13.5	11.4	9.4	9.1	3.8	5.3	2.9	4.7	2.1	7.6	3.5	
	関西圏	293	36.9	28.3	23.2	21.5	21.2	15.4	10.6	13.7	9.2	8.2	7.8	5.8	3.4	4.8	1.0	2.4	5.1	4.8	
年代別	20代	100	54.0	12.0	32.0	11.0	12.0	24.0	8.0	2.0	7.0	12.0	16.0	10.0	9.0	3.0	2.0	7.0	12.0	4.0	
	30代	75	66.7	12.0	38.7	26.7	10.7	29.3	9.3	-	16.0	6.7	8.0	9.3	4.0	4.0	1.3	2.7	6.7	1.3	
	40代	63	57.1	11.1	33.3	27.0	14.3	30.2	17.5	1.6	9.5	3.2	6.3	4.8	1.6	7.9	-	-	4.8	7.9	
	50代	124	45.2	25.0	23.4	33.1	23.4	15.3	18.5	1.6	17.7	7.3	6.5	4.8	3.2	5.6	5.6	1.6	3.2	2.4	
	60代	172	19.2	44.2	18.0	20.9	27.3	9.9	13.4	19.2	8.7	10.5	9.9	7.0	1.7	2.9	4.1	5.2	5.8	1.2	
	70代	100	6.0	58.0	9.0	13.0	22.0	3.0	15.0	48.0	4.0	10.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	-	
性別	男性	325	44.6	27.4	26.8	8.3	20.3	17.8	11.4	17.5	9.5	6.8	8.9	6.8	4.6	4.9	2.5	3.1	5.2	4.6	
	女性	309	29.1	33.7	20.7	35.9	19.7	14.9	16.2	9.4	11.3	11.0	8.1	2.6	4.2	2.6	3.6	1.3	7.8	3.6	
性・年代別	男性	20代	48	68.8	4.2	31.3	4.2	8.3	31.3	6.3	2.1	-	10.4	18.8	14.6	6.3	4.2	2.1	10.4	8.3	4.2
		30代	44	81.8	6.8	40.9	11.4	11.4	25.0	9.1	-	20.5	6.8	4.5	11.4	6.8	6.8	2.3	4.5	4.5	2.3
		40代	35	68.6	2.9	37.1	11.4	14.3	42.9	8.6	2.9	11.4	2.9	-	8.6	2.9	8.6	-	-	5.7	2.9
		50代	47	57.4	12.8	25.5	8.5	23.4	14.9	19.1	2.1	10.6	12.8	6.4	6.4	6.4	-	2.1	2.1	5.6	10.6
		60代	90	22.2	41.1	25.6	10.0	33.3	11.1	12.2	18.9	13.3	41.1	14.4	2.2	4.4	7.8	5.6	2.2	4.9	4.4
		70代	61	8.2	65.6	9.8	4.9	18.0	-	11.5	60.7	1.6	65.6	3.3	3.3	1.6	1.6	-	-	15.4	3.3
		70代	61	8.2	65.6	9.8	4.9	18.0	-	11.5	60.7	1.6	65.6	3.3	3.3	1.6	1.6	-	-	15.4	3.3
	女性	20代	52	40.4	19.2	32.7	17.3	15.4	17.3	9.6	1.9	13.5	13.5	13.5	5.8	11.5	1.9	1.9	3.8	15.4	3.8
		30代	31	45.2	19.4	35.5	48.4	9.7	35.5	9.7	-	9.7	6.5	12.9	6.5	-	-	-	-	9.7	-
		40代	28	42.9	21.4	28.6	46.4	14.3	14.3	28.6	-	7.1	3.6	14.3	-	-	7.1	-	-	3.6	14.3
		50代	77	37.7	32.5	22.1	48.1	23.4	15.6	18.2	1.3	22.1	32.5	6.5	1.3	5.2	2.6	3.9	2.6	6.5	2.6
		60代	82	15.9	47.6	9.8	32.9	20.7	8.5	14.6	19.5	3.7	47.6	4.9	1.2	1.2	2.4	6.1	-	8.5	3.7
		70代	39	2.6	46.2	7.7	25.6	28.2	7.7	20.5	28.2	7.7	46.2	2.6	2.6	5.1	2.6	5.1	-	-	-
		70代	39	2.6	46.2	7.7	25.6	28.2	7.7	20.5	28.2	7.7	46.2	2.6	2.6	5.1	2.6	5.1	-	-	-
ボランティア経験の有無	ボランティア経験あり	232	37.1	30.2	19.0	22.8	26.3	16.4	10.8	11.6	10.8	7.3	5.2	0.9	4.3	4.3	3.4	2.6	9.9	5.2	
	ボランティア経験なし	402	37.1	30.6	26.6	21.1	16.4	16.4	15.4	14.7	10.2	9.7	10.4	7.0	4.5	3.5	2.7	2.0	4.5	3.5	

n(サグ#数)の \* は、n < 30を表す。

問 2 7 将来の地方圏への定住についての関心度 (SA)

「大変関心がある」=5、「やや関心がある」=4、～「まったく関心がない」=1として平均値を算出

		n	大変関心がある	やや関心がある	どちらともいえない	あまり関心がない	まったく関心がない	無回答	平均値	
全 体		1021	7.2	21.4	26.0	25.9	16.1	3.5	2.8	
地域別	首都圏	534	7.3	22.3	25.1	25.1	17.0	3.2	2.8	
	関西圏	487	7.2	20.3	26.9	26.7	15.0	3.9	2.8	
年代別	20代	171	6.4	24.6	26.3	26.9	12.9	2.9	2.8	
	30代	122	12.3	31.1	30.3	20.5	4.1	1.6	3.3	
	40代	107	7.5	25.2	29.0	21.5	12.1	4.7	2.9	
	50代	213	8.9	24.4	26.3	22.1	14.6	3.8	2.9	
	60代	272	5.1	17.3	24.6	29.8	20.2	2.9	2.6	
	70代	136	5.1	8.8	21.3	30.9	27.9	5.9	2.3	
性別	男性	500	8.8	21.8	24.0	26.4	14.8	4.2	2.8	
	女性	521	5.8	20.9	27.8	25.3	17.3	2.9	2.7	
性・年代別	男性	20代	75	5.3	20.0	26.7	32.0	12.0	4.0	2.7
		30代	58	15.5	31.0	27.6	19.0	5.2	1.7	3.3
		40代	56	8.9	25.0	26.8	19.6	10.7	8.9	3.0
		50代	81	14.8	30.9	22.2	14.8	16.0	1.2	3.1
		60代	150	6.7	22.0	21.3	32.7	13.3	4.0	2.8
		70代	80	5.0	5.0	23.8	31.3	28.8	6.3	2.2
		70代	80	5.0	5.0	23.8	31.3	28.8	6.3	2.2
	女性	20代	96	7.3	28.1	26.0	22.9	13.5	2.1	2.9
		30代	64	9.4	31.3	32.8	21.9	3.1	1.6	3.2
		40代	51	5.9	25.5	31.4	23.5	13.7	-	2.9
		50代	132	5.3	20.5	28.8	26.5	13.6	5.3	2.8
		60代	122	3.3	11.5	28.7	26.2	28.7	1.6	2.3
		70代	56	5.4	14.3	17.9	30.4	26.8	5.4	2.4
		70代	56	5.4	14.3	17.9	30.4	26.8	5.4	2.4
ボランティア経験の有無	ボランティア経験あり	429	8.2	23.5	25.9	24.9	14.0	3.5	2.9	
	ボランティア経験なし	592	6.6	19.8	26.0	26.5	17.6	3.5	2.7	

n(サグ#数)の \* は、n < 30を表す。

問 2 8 地方圏への定住時期 ( S A )

		n	今 す く	1 } 3 年 未 満	3 } 5 年 未 満	5 } 10 年 未 満	10 年 後 以 降	わ か ら な い	無 回 答	平 均 値	
全 体		292	1.0	2.7	6.2	14.4	36.0	39.4	0.3	9.8	
地域別	首都圏	158	1.3	1.3	7.0	15.8	40.5	34.2	-	10.0	
	関西圏	134	0.7	4.5	5.2	12.7	30.6	45.5	0.7	9.5	
年代別	20代	53	1.9	1.9	-	9.4	43.4	43.4	-	10.9	
	30代	53	-	1.9	-	1.9	47.2	49.1	-	11.9	
	40代	35	-	-	-	2.9	60.0	37.1	-	12.3	
	50代	71	1.4	4.2	4.2	23.9	40.8	25.4	-	9.6	
	60代	61	1.6	3.3	19.7	24.6	11.5	39.3	-	6.8	
	70代	19*	-	5.3	15.8	15.8	-	57.9	5.3	5.2	
	性別	男性	153	0.7	3.3	9.2	15.7	32.0	38.6	0.7	9.2
	女性	139	1.4	2.2	2.9	12.9	40.3	40.3	-	10.3	
性・年代別	男性	20代	19*	-	-	-	31.6	68.4	-	12.5	
		30代	27*	-	3.7	-	3.7	48.1	44.4	-	11.5
		40代	19*	-	-	-	5.3	57.9	36.8	-	12.1
		50代	37	-	8.1	5.4	27.0	37.8	21.6	-	9.1
		60代	43	2.3	2.3	23.3	25.6	11.6	34.9	-	6.7
		70代	8*	-	-	25.0	12.5	-	50.0	12.5	5.2
		女性	20代	34	2.9	2.9	-	14.7	50.0	29.4	-
	30代		26*	-	-	-	-	46.2	53.8	-	12.5
	40代		16*	-	-	-	-	62.5	37.5	-	12.5
	50代		34	2.9	-	2.9	20.6	44.1	29.4	-	10.2
	60代		18*	-	5.6	11.1	22.2	11.1	50.0	-	7.2
	70代		11*	-	9.1	9.1	18.2	-	63.6	-	5.3
	ボランティア経験の有無		ボランティア経験あり	136	0.7	1.5	5.9	16.9	39.0	36.0	-
		ボランティア経験なし	156	1.3	3.8	6.4	12.2	33.3	42.3	0.6	9.5

n(サンプル数)の \* は、n < 30を表す。

問 2 9 地方圏への定住を考える理由 ( M A )

		n	が ゆ つ た り し た 生 活	お 空 い し い れ い で 水 が	た い の 中 で 暮 ら し	自 然 の 中 で 暮 ら し	て 野 菜 な ど を つ く つ	食 べ 物 が お い し い	が で い る に 住 む こ と	生 活 費 が 安 く す む	自 分 や 家 族 の 健 康 の た め	で ま わ り の 人 が 親 切 で 気 さ く	や す い な り の 人 が 住 み	子 供 を 自 然 の 中 で 育 て た い	そ の 他	無 回 答
全 体		292	63.0	59.2	58.6	37.0	27.1	23.6	23.3	22.3	21.6	20.9	13.0	2.7	12.0	
地域別	首都圏	158	65.8	58.9	53.8	34.8	30.4	19.0	22.8	22.2	21.5	17.7	12.0	3.2	12.0	
	関西圏	134	59.7	59.7	64.2	39.6	23.1	29.1	23.9	22.4	21.6	24.6	14.2	2.2	11.9	
年代別	20代	53	67.9	69.8	50.9	35.8	35.8	37.7	24.5	22.6	26.4	32.1	35.8	1.9	7.5	
	30代	53	66.0	67.9	60.4	24.5	35.8	28.3	30.2	28.3	26.4	22.6	22.6	1.9	3.8	
	40代	35	82.9	48.6	68.6	40.0	20.0	28.6	17.1	17.1	14.3	17.1	8.6	5.7	2.9	
	50代	71	56.3	52.1	54.9	33.8	23.9	16.9	19.7	16.9	15.5	14.1	1.4	4.2	22.5	
	60代	61	54.1	55.7	60.7	45.9	21.3	16.4	23.0	26.2	23.0	19.7	3.3	-	13.1	
	70代	19*	57.9	63.2	63.2	52.6	21.1	10.5	26.3	21.1	26.3	21.1	5.3	5.3	21.1	
	性別	男性	153	62.1	57.5	63.4	37.9	27.5	21.6	23.5	22.2	19.6	20.3	9.8	2.0	11.8
	女性	139	64.0	61.2	53.2	36.0	26.6	25.9	23.0	22.3	23.7	21.6	16.5	3.6	12.2	
性・年代別	男性	20代	19*	63.2	73.7	57.9	36.8	36.8	36.8	31.6	10.5	36.8	31.6	36.8	-	10.5
		30代	27*	66.7	70.4	66.7	22.2	48.1	29.6	29.6	29.6	18.5	22.2	18.5	-	-
		40代	19*	84.2	47.4	73.7	42.1	26.3	36.8	15.8	31.6	21.1	15.8	10.5	5.3	-
		50代	37	56.8	54.1	59.5	29.7	27.0	18.9	27.0	8.1	18.9	16.2	-	2.7	21.6
		60代	43	53.5	48.8	60.5	48.8	14.0	9.3	20.9	30.2	14.0	20.9	2.3	-	14.0
		70代	8*	62.5	62.5	75.0	62.5	12.5	-	-	25.0	12.5	12.5	-	12.5	25.0
		女性	20代	34	70.6	67.6	47.1	35.3	35.3	38.2	20.6	29.4	20.6	32.4	35.3	2.9
	30代		26*	65.4	65.4	53.8	26.9	23.1	26.9	30.8	26.9	34.6	23.1	26.9	3.8	7.7
	40代		16*	81.3	50.0	62.5	37.5	12.5	18.8	18.8	-	6.3	18.8	6.3	6.3	6.3
	50代		34	55.9	50.0	50.0	38.2	20.6	14.7	11.8	26.5	11.8	11.8	2.9	5.9	23.5
	60代		18*	55.6	72.2	61.1	38.9	38.9	33.3	27.8	16.7	44.4	16.7	5.6	-	11.1
	70代		11*	54.5	63.6	54.5	45.5	27.3	18.2	45.5	18.2	36.4	27.3	9.1	-	18.2
	ボランティア経験の有無		ボランティア経験あり	136	59.6	59.6	54.4	35.3	27.9	21.3	25.0	17.6	24.3	20.6	11.0	3.7
		ボランティア経験なし	156	66.0	59.0	62.2	38.5	26.3	25.6	21.8	26.3	19.2	21.2	14.7	1.9	10.9

n(サンプル数)の \* は、n < 30を表す。

## 6. 大都市住民に向けたニーズ調査アンケート自由回答

### (1) 問26の自由回答

性別	住居エリア	内容
男	首都圏	・地元の人との接点がたくさんあるような行事があると良いと思う。
男	首都圏	あまり参加したくない。
男	首都圏	名前が良くないのか？
男	首都圏	生活の保障がされている。
男	首都圏	職場で参加を認めてくれる。
男	首都圏	住む家を一人部屋にして欲しい。
男	首都圏	老人介護以外なら少し考える。
男	首都圏	老人ができないことをしてあげられるようなことをする。
男	首都圏	具体的なヴィジョンではない。
男	首都圏	ボランティアの意味がよくわからないのです。田舎は好きです。労働もいとまいません。
男	首都圏	公的宿泊施設を利用しながら、生の音楽演奏と音楽のレクチャーを通じて地域の住民と交流するようなもの。
男	首都圏	触れ合いを大切に楽しくやっていきたい。
男	関西圏	農作業
男	関西圏	ボランティア活動をしっかりするかわりに、その地方で充分に楽しめる時間がある事。
男	関西圏	なるべくお金がかからないもの。
男	関西圏	いろんな人と出会えるようなもの。
男	関西圏	話し相手。
男	関西圏	パソコン指導。
男	関西圏	家庭教師の体験(授業)。
男	関西圏	その地方ならではの料理や仕事にたずさわるプログラム。
男	関西圏	健康面や精神面にダメージを与えないような環境作り。
男	関西圏	参加しない。
男	関西圏	農作業を手伝う。
男	関西圏	料金が無料になる。
女	首都圏	ボランティアホリデーを説明している文にもあるように、どこかを旅行して楽しかったね、また行きたいね、という感想ではなく、この仕事はこういうところが大変なんだとか、あるいはその地域のイベントに詳しくなったりするなど、新しいことを学びたい。
女	首都圏	泊まる場所が自由。
女	首都圏	誰でも参加しやすい、企画・プランを作って欲しい。
女	首都圏	その地域の良さが、旅行よりも深く知る事ができるもの。
女	首都圏	その土地を感じられるボランティア内容を期待します。
女	首都圏	田舎ならではの生活を体験できるもの。
女	首都圏	あまり疲れないこと。
女	首都圏	宿泊地がホテル。
女	首都圏	3食付き。
女	首都圏	特に思い浮かばない。
女	関西圏	地方でしか味わえない特産物を食べてみたい!!
女	関西圏	普段の生活では体験できないもの。
女	関西圏	羊の手を洗る。
女	関西圏	お花を摘む。
女	関西圏	花壇作り。
女	関西圏	庭を造る。
女	関西圏	そうじ
女	関西圏	地方特有の産業やイベントなどの手伝い。
女	関西圏	あまりしんどくない活動で、楽しいボランティア。
女	関西圏	内容(ボランティア自体の)が、そこでしかできないものであること。
女	関西圏	ある程度、自由な時間がとれること。
女	関西圏	ボランティア以外に何か興味のもてるものがその地にあること。
女	関西圏	多くの人と知り合えること。
女	関西圏	酪農体験・牛の世話をしてチーズ作りをしてみたい。
女	関西圏	葡萄農園で農作業のお手伝いをして、ワイン作りをしてみたい。
女	関西圏	森林や国定公園、山林でごみ拾いなどのクリーン活動をしてみたい。
女	関西圏	農業を手伝ってその地方の特産品を安く手に入れる。
女	関西圏	滞在先の環境。
女	関西圏	普段できないことをしてみたいです(色々な人とコミュニケーションを取ったり、農作業を体験したり、動物や植物と触れ合ったり)。自然が豊かでのんびりした所ならなお良いです。
女	関西圏	人との触れ合い。
女	関西圏	普段はできないような作業や経験。
女	関西圏	販売がしたい。
男	首都圏	心に残るもの。
男	首都圏	1. 田舎で日中は農作業の手伝い、夜は温泉に入る。
男	首都圏	友人がたくさんできること。
男	首都圏	普段とは違う体験。
男	首都圏	生活を通して、人間的に成長できる事。
男	首都圏	福祉
男	首都圏	・温泉施設の手伝い。
男	首都圏	・スキー場の手伝い。
男	首都圏	その土地の人々の交流。
男	首都圏	その土地の食文化。

性別	住居エリア	内容
男	首都圏	会社員でも参加できるような仕組み。ex. ボランティア活動を会社として認めてくれるなど。
男	首都圏	参加しない。
男	首都圏	その土地の人々とのコミュニケーション。
男	首都圏	馬や牛の世話などをやってみたいです。
男	首都圏	災害の復興などの手伝い。
男	首都圏	地元の人達が快く受け入れてくれること。
男	首都圏	ボランティアと個人的な旅行を同時に経験できるのは便利だが、責任を持ってボランティアに参加できる環境があることが望ましい。遊び半分で仕事をしているように思われるのは、かえって迷惑になると思うので、それなりの責任のあるボランティア内容を体験できればと思う。
男	首都圏	参加する予定はない。
男	首都圏	農作業の手伝い。
男	首都圏	低料金
男	首都圏	楽しみたい。
男	首都圏	地域の人と将来に渡って仲良くできれば。
男	首都圏	帰りたくないと思えるような人と人とのコミュニケーション。
男	首都圏	いまいちボランティアというものがわからない。漠然としているので気持ち、意欲は湧かないし、イメージが具体的にできない。もし行ったとしたらあらゆる人との交流がメインと思うが、ボランティアって期待したり要望してやるものだったのか？わからない。
男	関西圏	やりたくないの、思いつかない。
男	関西圏	田植えなどの農作業。
男	関西圏	行って良かったと思えるやりがいのあるお手伝いできればいいです。
男	関西圏	老人介護
男	関西圏	山林の保護活動。
男	関西圏	色々な人々との出会いへの期待感。
男	関西圏	もしかするとその地に移住したくなる期待感。
男	関西圏	・現在の仕事を生かした建築関係にすることをしたい。
男	関西圏	・会社の公のボランティアホリデー専用の休日が取れば参加できるので、社会全体で、そういう休日を決めたいと思う。
男	関西圏	地方の暮らし。
男	関西圏	平日は仕事をしているので、休日に要望したい。
男	関西圏	都会では味わえない地方ならではの充実した一日が過ごせれば良いと思います。
男	関西圏	長期間を生かして、大きな実績が残る活動にして欲しい。
男	関西圏	一人になれる時間があり、費用が使える限り安いこと。
男	関西圏	勤め先の理解。
男	関西圏	いい環境で毎日楽しく日々を過ごせたら。
男	関西圏	地域の人達と触れ合いしたい。
男	関西圏	地域、環境に役立つことをしたい。
男	関西圏	参加するならばそこにしかないもの、そこでしか体験できないものをしてみたい。
男	関西圏	観光施設のゴミ拾い。ゴミを拾いながら自然を満喫したりとか。
男	関西圏	金銭授受
女	首都圏	・地域の人と一緒に活動ができること。
女	首都圏	・参加者同士で、情報交換などをする場があること。
女	首都圏	もし参加するならば、寝る時とかは個室で1人で寝たいです。
女	首都圏	ボランティアをしても、あいた時間や休める日があれば、その地域ごとに(全国どこでも)ボランティアホリデーをしている人に割引がきく、施設や店などがあると、更にいいと感じます。
女	首都圏	ボランティアホリデーという仕組みに興味がない。
女	首都圏	もしその地域に本当に住みたいと思ったとき、また、自分が必要とされたときに、UターンではなくIターンのようにして住むことや、就職はできるのかどうかということを期待します。
女	首都圏	普段の都市圏の生活では経験できないこと。
女	首都圏	村おこしのためのイベントなど。
女	首都圏	人手がいるお祭り。
女	首都圏	田舎ならではの生活を楽しみながらも、自分の時間を自然の中で個人として楽しめる時間が欲しい。
女	首都圏	自分が活動することで訪問地の人々が満足(感謝)してくれることを期待する。
女	首都圏	観光名所にはならないが、その地方ならではの風習、食事などを知ったり体験してみたい。
女	首都圏	今、関東に住んでいるので北海道や沖縄など、まったく違う環境の土地に行ってみたい。
女	首都圏	地震・災害で避難所生活を送っている方達の手助け。
女	首都圏	参加したくないので思いつかない。
女	首都圏	「来て良かった」と思えるような楽しい体験をしたいです。人々とのふれあいはすごく良いものだと思うからです。
女	首都圏	ボランティアの内容を細かく把握してから行きたい。
女	首都圏	その地域の色(生活や習慣)が体験できることを期待する。
女	首都圏	ボランティアといえど、何でもする、何でもできるわけではないので、楽しくできるボランティアがいいです。

性別	住居圏	内容
女	首都圏	自然の多い所で。
女	首都圏	自分の時間を多く取れる。
女	首都圏	家族で参加できるようなプラン。
女	首都圏	達成感、自分の自信につながるもの。
女	首都圏	ボランティア以外の時間を自分の趣味に使えるようなものがないですね（都心ではできない趣味）。
女	首都圏	ボランティアというものが、どういうものなのかわからないので何とも言えない。
女	首都圏	その地方の生活を体験できるようにプログラムが組まれているといいと思う。
女	首都圏	行ってみたい観光地が近くにあればいいと思います。
女	首都圏	ゆったりとした時間を過ごして、地位の方々と様々な触れ合いを通じて色々な人生観を学びたい。
女	首都圏	地域の人々と交流できるようなボランティア。
女	首都圏	安価で相手にも自分にもメリットがあるものが良い。
女	関西圏	帰ってきて「ボランティアホリデー」で学んだことを、他で（生活）復習できるようなプログラム。また次回行きたくなるような新しいことが、たくさん発見できるようなプログラム。
女	関西圏	子供にも、そのまた子供にも、受け継がれていけるような（学ばせたい）プログラム。
女	関西圏	地元の人たちとの交流。
女	関西圏	そこに住んでいる人々との交流、また帰ってきてからのことですが、自分が住んでいるところでも役に立つことができます。
女	関西圏	3～4日かではなく、最低1週間ほしい。まったくボランティアに参加しない日を1～2日くらい欲しい。子供と大人と一緒にできるようなボランティアも中にはあればいいな、と思います。
女	関西圏	農業の収穫のお手伝い。
女	関西圏	ボランティア活動で知り合った人と知り合う楽しみ。今後もやり取りができる楽しみ。
女	関西圏	老人の人達と話ができ、喜んでもらえる楽しみ。
女	関西圏	地域の人達と関われるようなもの。
女	関西圏	もっと具体的な例など提案。イメージでまず不安。
女	関西圏	人とのつながり。
女	関西圏	子供も参加できる。
女	関西圏	子供を連れて行きたい。
女	関西圏	滞在した地域の人といろんなことを一緒にできれば良いと思う。
女	関西圏	行った先で本当に助かったと言ってもらえるボランティアができれば良い。
女	関西圏	地域の人とのふれあい。
女	関西圏	休みが欲しい（週2回くらい）。
女	関西圏	一人の部屋。
女	関西圏	町の活性化。
女	関西圏	自由な時間もあって、金銭的に負担が少ないこと。
女	関西圏	自然がいっぱいなお所がいいです。
女	関西圏	少人数で行動できるもの。
女	関西圏	金銭の収支の関してクリアにする。
女	関西圏	子供も一緒に参加できるもの。
女	関西圏	都会であまり体験できないもの。
女	関西圏	その土地の文化、資源に触れることができる。
女	関西圏	今後その土地を訪れた際には得するクーポン、割引など。
男	首都圏	仕事が今一番大切なので、長期滞在はできない。よって、参加する意志はないため、期待、要望は思いつかない。
男	首都圏	自然のあふれた環境。
男	首都圏	新たな出会い。
男	首都圏	価値観の変化。
男	首都圏	新たなスキル取得。
男	首都圏	子供と仕事で忙しいので、ボランティアなどやる暇がないのです。
男	首都圏	地域の人と親睦を深めるイベントを行って欲しい。但し、宿泊施設についてはプライベートを尊重して、個々の部屋にして欲しい。
男	首都圏	スキー場でボランティアができれば良い。
男	首都圏	今までボランティアというものに参加したことがないので、いまいちボランティアというものがわからない。なので、期待とか要望というものがありません（わかりません）。
男	首都圏	費用無料
男	首都圏	ボランティアでありながら自分のためにもなるようなものがあれば、資格などが取れるものがあればいい。
男	首都圏	滞在期間中に部分的ではなく、すべての行程に参加、協力できるもの。
男	首都圏	地方圏でのスローライフ。
男	関西圏	地方の祭りなどにも参加できる。
男	関西圏	収入がなくなると生活できない。国の制度として認められて、休みの間も仕事、収入を保障してもらえないと、長期間旅行などは不可能。
男	関西圏	ボランティアホリデーの現在の取組み内容がよくわからない。現在の生活では参加をすることは難しく、老後の参加しか考えられず期待できるものはないという現状。
男	関西圏	やはり純粋に田舎を体験したい。

性別	住居圏	内容
男	関西圏	近くにコンビニを作って欲しい。
男	関西圏	自分に利益があること。
男	関西圏	少しでも役に立つ実感できる作業など。
男	関西圏	様々な体験。
男	関西圏	旅費や滞在費などはできるだけ0に近い方がいい。
女	首都圏	地元の人と交流する機会が多いといい。
女	首都圏	また、その土地ならではのもの（農作物にしる、料理にしる、祭りにしる）に接したい。
女	首都圏	温かく迎え入れて、楽しい雰囲気であれば最高です。
女	首都圏	動物関係（保護、酪農）。
女	首都圏	子供がいるので、自然に触れられる地域。
女	首都圏	動物も多く、特に牛や馬がいる大きな大自然。
女	首都圏	安さ
女	首都圏	温泉のそば。
女	首都圏	期待や要望というよりは、実際大変な状況になっている人達の、助けに少しでもなれば良いと思う。特に近頃では天災が多いので、そういうところでは要望や期待など、考えてもらえないと思う。
女	首都圏	都会では感じられない、空気を感ぜられる場所。
女	首都圏	その地域でしか行うことのできないボランティアをしてみたい。
女	首都圏	ボランティアとして行くからには金銭面ではなくても何かしら自分にプラスになるものがあることを期待します。例えば美しい景色や、おいしい（新鮮な）食事も、その土地の人々との交流など。
女	首都圏	あたたかさ！
女	首都圏	「ボランティアをしながら」というのがよくわからない。主たる目的が何なのか、明確でない。
女	首都圏	その地方でしか体験できないことに対するボランティアが良い。地元でも体験できるようなものは、地方圏まで行く意味がないから。
女	首都圏	他の参加者とあまり親密にならずにすむこと（親密になることを強要されない）。
女	首都圏	地域の方々とのおふれあい。
女	首都圏	半年後に出産を控えており、今のところ具体的には思いつきませんが、子供と一緒に参加できるような内容のものがあたら良いと思う。ボランティア活動や地域の方々と交流なども子供達にとって良い成長の糧となるようなものであたらいいと思う。
女	関西圏	地元の方々とのおふれあい。
女	関西圏	子供同士の交流。
女	関西圏	様々な体験。
女	関西圏	地元料理や名産、特産。
女	関西圏	地域の方と関わり合い、たくさんの人達と出会い、自分の気持ちを向上させたい。
女	関西圏	地元の方々と交流がある所。
女	関西圏	観光場所や郷土料理の多い所。
女	関西圏	農作業の手作り。
女	関西圏	長期ではなく短期で体験したいなものが良い。ボランティアというのが重荷になるので体験としてお手伝いするというのが、まだ気持ち的に楽な気がする。
女	関西圏	その地方の文化を少しでも多くの人に知らせることに役立つようなもの。
女	関西圏	動物が好きなので、世話をしたい。
女	関西圏	やりがいがあること。
女	関西圏	観光地としてあまり知られていないけれど、名所等が実はたくさんあるという所。
女	関西圏	あまり重なる内容は困るので、教えて頂きながら迷惑にならない程度農業や人員整備、受け付けなどくらい。
女	関西圏	託児所があるか。子供を預かるプログラムがあたらいいと思う。
女	関西圏	ボランティアしながら働ける。
女	関西圏	地域と交流できて、今までとは違った経験ができる。
女	関西圏	地元の人達と接する。
男	首都圏	地域の暮らしを体験する。
男	首都圏	長期滞在はイヤなので。
男	首都圏	自然に触れることができれば良い。
男	首都圏	・生活環境が整ってれば良い。
男	首都圏	今までの自分の常識を見直させられるような経験。
男	首都圏	自然の中で活動できること。
男	首都圏	汗を流せる肉体労働。
男	首都圏	地元の人との触れ合い。
男	首都圏	雪かき体験
男	首都圏	その地域ならではの体験をしたい。
男	首都圏	災害、町おこし（村も）。
男	首都圏	自然を満喫したい。
男	首都圏	現実的に無理なので特に考えられない。すみません。
男	首都圏	地元の人にも感謝され、自分にとってプラスになる。
男	首都圏	福祉施設への関わり。
男	首都圏	地方自治体が主体となったその地域の声を十分に取り入れたプログラム（災害保険などが考慮されていること）。

性別	住居エリア	内容
男	関西圏	ボランティアで参加するのだから、宿泊費や宿舎などの配慮。
男	関西圏	特産品を用いた食事。
男	関西圏	参加するつもりが無いので思いつかない。
男	関西圏	会社の許可(できれば有給)。
男	関西圏	税金の優遇。
男	関西圏	地元文化への興味があるので、人々のふれあいがある作業。
男	関西圏	自分自身の時間。
男	関西圏	清掃活動。
男	関西圏	被災地協力(宿泊、食事、風呂などの心配がない場合)。
男	関西圏	交流を通じての友情。
男	関西圏	地方の様々な状況を知ること。
女	首都圏	農作業の手伝いをしてみたい。
女	首都圏	ボランティアと休暇を同時に行う(過ごす)ということに、あまりイメージがわかないので、そのあたりを魅力的なもので、年齢的に幅広く参加できるものを要望します。
女	首都圏	ボランティアなので、特に期待する事はありません。
女	首都圏	小さい子供がいるので、小さい子を連れてできる事があれば、やりたい。
女	首都圏	その地域の人達とのふれあい。
女	首都圏	その土地のことがわかること。
女	首都圏	安く滞在でき、その土地の人とふれあえる。
女	首都圏	ボランティア仲間との交流。
女	首都圏	田舎。
女	首都圏	営業目的ではなく、本当に困った方への助けであるものであって欲しい。
女	首都圏	自由がきくものであればいい。
女	首都圏	農業体験、牧場の手伝いとかをやりたい。
女	首都圏	どちらかといえば実家が山方面なので、海の近くの町や村で何かした家族で滞るため、小学校、スーパーなど。日常生活に最低限必要な設備。
女	首都圏	自分の職を生かしたパソコン、IT関係で役立つと思います。
女	関西圏	地元の郷土料理と一緒に作る。
女	関西圏	自然に親しめる、地元の人たちと触れ合う事ができる。
女	関西圏	地元の人と同じ生活リズムで過ごす事ができる(体験できる)。
女	関西圏	家族・身内的な感覚で過ごせるようにこちらも努力していきたい。
女	関西圏	地方のおいしい物を食べたい。
女	関西圏	レジャーを楽しみながら、ボランティア活動をやりたい。例えば、午前中ボランティア、午後はスキー、温泉とか。
女	関西圏	地域の人や文化に触れられるもの、ホームステイが良い。
女	関西圏	・地域の方との交流ができること。
女	関西圏	・自由時間があること。
女	関西圏	観光施設や動物園、水族館など普段体験することのできない裏方の仕事。
女	関西圏	農作業、豪雪地帯等、地域体験型生活。
女	関西圏	畑仕事を手伝う。
女	関西圏	田舎料理を教えてもらいたい。
男	首都圏	農業畜産体験
男	首都圏	林業支援
男	首都圏	できれば子供にも体験させたいので、子供の参加できるようなものが良い。
男	首都圏	時間、お金の余裕があれば参加したいと思います。
男	首都圏	内容は販売が苦手なので、それ以外自分のできるものがあれば!!
男	首都圏	旅行中に決まった時間のみで、簡単な指導などを行う程度なら考える余地があると思う(例えば、中高年向けのパソコン指導など)。
男	首都圏	格安
男	首都圏	木工や、漁業、農業など、都会では体験できない自然相手の手に職をつけることができるような内容であって欲しい。
男	首都圏	わずらわしいことがないこと。ボランティアが威張っていて周りをだめにするようなこと。
男	首都圏	災害による復興支援。
男	関西圏	とまる所がよい所がいい。
男	関西圏	家族なども呼んで、一緒に参加したい。
男	関西圏	地域の人に喜んでももらえればそれだけで良い。
男	関西圏	その地域性の高い仕事の手伝いや、勉強をしたい(農業や手工業など)。
男	関西圏	忘れかけている自然とのかかわりや子供の頃の気持ち等。
男	関西圏	仕組みがわからない。
男	関西圏	長期休暇がとれないので、参加できない。
男	関西圏	拘束されず、自身が楽しいと思うことのみで限定でき、結果としてボランティアにつながれば良い。
女	首都圏	・音楽指導
女	首都圏	・特産品の販売
女	首都圏	参加した証が欲しい。例えば、その場所の手形とか、お土産。
女	首都圏	知り合えるはずのなかった人との交流。
女	首都圏	お風呂がある。
女	首都圏	長期滞在希望はあるのですが、子供が自立してからであれば、是非、体験したいと思っています。
女	首都圏	自然と触れ合えるボランティア。

性別	住居エリア	内容
女	首都圏	ボランティアと言いつつも、自分も楽しめるボランティア(休憩時にテニス、スキーができるなど)。
女	首都圏	果物の収穫の手伝い。
女	首都圏	山、川、海の清掃作業など。
女	首都圏	子供が集まる場所での絵本の読み聞かせなどをするお話し会。
女	首都圏	子供が好きなので、子供と触れ合えるものに参加したいです。
女	首都圏	いまいちどこういうものがつかめないので、地方の方々が本当に喜んでいただけるもの。
女	首都圏	ボランティア活動しながら地元の人々と共に楽しいプログラム!
女	首都圏	必要とされて行くのが一番良いと思う。
女	首都圏	人とのふれあい。
女	首都圏	食事面や住居において十分な補助をして欲しい。
女	関西圏	フライシャーの面において配慮をお願いします。
女	関西圏	安全であること。
女	関西圏	ボランティアしながら地方を楽しめる(例:温泉・観光・イベント等)。
女	関西圏	会社の勤務や社会事情が、ボランティアホリデーをとりやすいものであること。
女	関西圏	地方の方々と交流できればいいと思う。
女	関西圏	都会で、できることではなく自然等に結びついたプログラム。
女	関西圏	地域の人々との触れ合い。
女	関西圏	普段ではできない体験をしてみたい。
女	関西圏	村、町起こしイベントなどの準備のお手伝い。
女	関西圏	地元の方との触れ合い。
男	首都圏	よくわからないので、特になし。
男	首都圏	遊び的要素があれば、参加するかもしれない。
男	首都圏	問25にも書いたように、旅行とボランティアを私はわけて考えたい。旅行という個人の中の楽しみの中に、ボランティアは持ち込みたくない。
男	首都圏	充実した人間関係など。
男	首都圏	・ボランティアの日と休みの日を完全にわけて動けるのであれば内容によっては参加してもよいとは思っています。
男	首都圏	・国内よりも海外に興味あり。
男	首都圏	・保険などの整備(ボランティア中のケガなどへの保険)。
男	首都圏	自然とのふれあい。
男	首都圏	ボランティアと一括してお話されていますが、具体的に何をされるのですか?それが示されていないければ、期待も要望も出せないと思うよ。
男	首都圏	高齢者との作業や話し合い。
男	首都圏	体は動かないかもしれないけど、今の年齢だと難しいので、高齢者ができるプログラムがあれば数年、数十年後に参加してみたいです。
男	首都圏	パソコンの指導。
男	首都圏	町作り、観光案内の手伝い。
男	首都圏	相手が具体的に何をしたいのか、助けられるようなことがあれば何でもできるような応援したい。
男	関西圏	自分の才能や能力を生かせる場、または求められるようなことを期待する。
男	関西圏	個人でなく、数名で活動できるような作業があれば。
男	関西圏	危険を伴わない作業。
男	関西圏	おいしい食事。
男	関西圏	きれいな部屋。
男	関西圏	温泉。
男	関西圏	スポーツができる。
男	関西圏	きれいで広い住居。
男	関西圏	企業参加(自分の勤める)。
男	関西圏	都市部の人間が地方圏に行って早くとか込められるのが不安だと思います。受け入れ先の柔軟な環境が欲しい。
男	関西圏	里山の保全。
男	関西圏	農作業の手伝い。
男	関西圏	里山の保護。
男	関西圏	自分の技術が生かせる。
男	関西圏	その間の生活を無理なく過ごせる。
男	関西圏	その地域に行って味わえない体験をすること。
女	首都圏	地方で暮らす人々の人生観を知りたい。
女	首都圏	・保護支援。
女	首都圏	・障害児との保育支援。
女	首都圏	考えたことがないので、思い浮かびません。
女	首都圏	将来、自分が田舎で暮らす時にも役立つ仕事の手伝いをしたい。例えば、野菜作り、保存食作り、昔からの生活の知恵などの手伝いをしながら学びたい。
女	首都圏	農業などの仕事の手伝い。
女	首都圏	家畜の世話等。
女	首都圏	田舎の民家で畑仕事やイベント(町おこし、祭り)をしながら、故郷を味わってみたい。
女	首都圏	空地に苗木を植え、毎年成長を見守れる。
女	首都圏	きれいな自然と空気。
女	首都圏	受け入れ体制を整えて欲しい。ボランティア活動がしやすいように。
女	関西圏	食事付

性別	住居エリア	内容
女	関西圏	子供の頃は田舎で農作業の手伝いなどしましたが、今都会で生活しているので、土と触れ合うことが全くありません。もし参加するならば、土と触れ合う農家の手伝いをしてみたいと思います。
女	関西圏	また、以前TVで見たのですが、雪国の雪下ろしも経験してみたいと思います。
女	関西圏	野菜作りの手伝い。
女	関西圏	あまりよく知らないことですが、参加するならば、本当にその地域の方に役立つようなこと、また、役立つ日数を確保し参加できればと思います。
女	関西圏	同じ屋根の下で生活する。
女	関西圏	気持ち良く受け入れてくれる環境であること。
女	関西圏	中心となる指導者があり、活動がスムーズに行えるようサポートがあること。
女	関西圏	都会の人間関係や情報社会より離れ、自然の中で今まで生きてきたことを身に付けてきたことを活用できることをしたい。
男	首都圏	・町づくりイベント等の手伝い。
男	首都圏	・英語は少し話せるので、アメリカ滞在5年程度ですが、通訳等。
男	首都圏	現住地のボランティアに注力したいので、特になし。
男	首都圏	“ボランティア”の名を借りた商業目的であったり、永住者誘致であったりすることが決してないことを確認してからにしたい。
男	首都圏	自分の体力、経済面に負担がないような内容。
男	首都圏	自分の経験を生かして、興味のもてるもの。
男	首都圏	・約束の田舎暮らしの参考としたい。
男	首都圏	自然や環境の保護など、将来の人達に役立つものでそれを実感できようなものであれば、時間の許す限り参加したい。
男	首都圏	自分自身の生活が大変で参加できる心の「ゆとり」がない。
男	首都圏	農業体験し、野菜、果物の生産などの体験がしたい。
男	首都圏	農作業
男	首都圏	ボランティアはホリデーも含め観光ではないと思います。
男	首都圏	地域の人達との交流。
男	首都圏	地域の風土、文化の吸収。
男	首都圏	役に立った実感。
男	首都圏	交通費、宿泊費は全額負担することを要望する。
男	首都圏	ボランティア活動と観光旅行は切り離して考えるべきと思う。
男	首都圏	地域の風土と暮らしの実体験を得る。
男	関西圏	今と違った生活（衣食住、すべてに於いて違う生活習慣にできるほど、長期に生活して違う考え方、スタンス（アイデンティティー）を身につけたい）
男	関西圏	ボランティアという言葉が前面に出るのが、あまり好きで感じておりませんが、あえて言うなら田舎の人々と自然に同化できるように考え
男	関西圏	この質問の設定自体が、休みをどうでも代行可能な人が手配できる、サラリーマン向きです。自営業者では下手に休みをとると信用をなくします。やりたいができない！
男	関西圏	その土地の人々との交流を深めたい。
男	関西圏	不参加ですのお答えできません。
男	関西圏	その土地の文化、風習に接する(祭り等)。
男	関西圏	・公園、道路等の清掃。
男	関西圏	・お年寄りの通院、買い物等の手助け。
男	関西圏	地元の方々の生活の知恵。
男	関西圏	会社に対し、公的に許しがもらえない限り不可能。
男	関西圏	ボランティアに興味がないので参加しない。
男	関西圏	町、村起こしのお手伝い。
男	関西圏	特産物を使った物作りで自分の名前が書ける。
男	関西圏	トラブルの発生を最小限度にするように細心の注意をする。
男	関西圏	相方が気持ち良くできるように相性チェックなどをする。
女	首都圏	染色、陶芸等を体験できると同時にボランティア活動を要望します。
女	首都圏	趣味を生かせるような生活を期待する。
女	首都圏	体験型で、自分自身も他の方も十分満足できるような企画。
女	首都圏	ボランティアについても、交流についてもしたい気持ちはありますが、泊まる所が、粗末や汚いところだとかがいやなので、グレードがはっきりしてはよい。例えば のホテル並とか、 とか…ネ！
女	首都圏	必要性が高いもの。
女	首都圏	体力の範囲内で可能なもの。
女	首都圏	安全
女	首都圏	休息のとれる場所がある事。
女	首都圏	将来ゆっくりできる時間ができたら、夫婦で行ってみたい。今は無理。
女	首都圏	費用はあまりかからない方がよい。
女	首都圏	地方の野良猫の避妊・去勢手術の援助。
女	首都圏	地元で親がいるので、第二の田舎になるような活動をしたいです。
女	首都圏	地震や災害時のボランティアは人間として「人の役に立ちたい」という想いは強い。しかし、主婦として身近な家族を放っていけない。
女	首都圏	歳末助け合いまで待たずに、各市町村で災害時に即、募金活動等の手助けをする方が先かも。
女	首都圏	宿泊費・飲食費・交通費などが少しくても安くできるから。

性別	住居エリア	内容
女	首都圏	長期滞在をすることができないので、近くの、家から行くところしか行けない。
女	首都圏	お年寄りとの交流があるようなボランティアがあればいいかな、と思います。
女	首都圏	山林など、荒れた土地を手入れして、健全な自然を取り戻す。
女	首都圏	各地の家庭料理。
女	首都圏	人々とのふれあいの中での達成感？
女	首都圏	人との交流。
女	首都圏	新しい経験、知識の習得。
女	首都圏	その土地の人々のいろいろな知恵を教えてください。
女	首都圏	土地の料理や自然のあり方を知る。
女	首都圏	ボランティアホリデーという言葉も内容も初めて聞くことなのでよくわからないが、高齢者の家に泊まって家族同様の暮らしをするのが良いように思われます。
女	首都圏	伝統工芸のお手伝い、また、特産品に係る仕事の手伝いをしながら観光できること（その地域を理解し、住民との交流）また、格安で公共の宿、または旅館を提供してもらうこと。
女	首都圏	楽しく参加でき、みんなで協力できるもの。
女	首都圏	旅館の手伝いをして温泉に入れさせてもらいたいです。
女	首都圏	参加するつもりはありません。
女	首都圏	子供が好きで子育てがもうすぐ終わるので、子供に関わるものがないなあとと思う。
女	首都圏	ガーデニングのお手伝い。
女	首都圏	その土地に住むお年寄りから、いろいろな話を聞いてみたい。
女	首都圏	遺跡の発掘に学生時代携っていたので、かなりのブランクがあるがもう一度やってみたい。
女	首都圏	史跡に身近に接することができるようなプログラム。
女	首都圏	地域の人々との交流。
女	首都圏	自分の興味あるボランティアだったらいい。
女	首都圏	安く泊まれてなるべく費用を抑えられる所。
女	首都圏	ボランティアをしながらでも自分が行きたい観光地や施設を回れる所。
女	首都圏	温泉に入れたりのんびりくつろげたり、スポーツができたり個人で行く観光と変わらなくらい自由にできること。
女	首都圏	自然や風景を存分に楽しめること。
女	首都圏	花が好きなので花を育てる。
女	首都圏	地域の人との交流。
女	首都圏	土地柄の溢れる所で地域のお手伝いなどを通じてその土地を知り、その土地の人達と関わりたいと思います。
女	首都圏	保育支援ならできます。
女	関西圏	漠然としていてわからないが、主催する側の主旨や責任が、はっきりしていることだと思えます。
女	関西圏	特産品の加工作業等にたずさわりたい。
女	関西圏	現地の宿舎等に住み込みで。
女	関西圏	近所にスーパーなどがないところは、食事などはどうするのだろうか？（車もなければ自転車もないのだから）電車で行った場合。
女	関西圏	宿泊費などにはお金を使いたくない！（食費は別）。
女	関西圏	あまりよくわからないですが、都会では味わえないような珍しい食べ物や、田舎の生活を期待したいです。
女	関西圏	人手が足りない農家の収穫のお手伝い。
女	関西圏	海の清掃。
女	関西圏	山の清掃。
女	関西圏	安全面
女	関西圏	普段では体験できないことを体験したい。
女	関西圏	地域に溶け込んでの生活。
女	関西圏	企画から完成まで参加できるもの。
女	関西圏	2-3日の短期間。
女	関西圏	具体的にわからない。
女	関西圏	・気持ちが素直に相手(仲間)に通じる、そんな環境の中で働ければと思います。
女	関西圏	他の人とのコミュニケーション。
女	関西圏	まだわからない。
女	関西圏	昼はボランティアをしても、夜は自由時間を必ず取ることができること
女	関西圏	ボランティアの意義がよくわからない。例えば震災で困ってられる人がいて、人手がいるというのであれば、行ってお役に立てればと思うが、田舎に行くと例えば農業や、漁業など手伝うというのは、私の中ではボランティアとは思えないので（旅行気分て人を手伝うということが受け入れられない）。今後、勉強していきたい。
女	関西圏	ほっこりした生活。
女	関西圏	地域がボランティア活動によって潤ったり感謝されること。
女	関西圏	園芸に関する手伝い。
女	関西圏	ホームヘルパー1級と保育資格(6年程体験あり)を持っているので、台風や地震で避難されている高齢者や小さな子供の心のケアのできるボランティア活動ができればと思いますが、今現在ヘルパーの仕事をしているので参加できそうもありません。



性別	住居エリア	内容
男	首都圏	その地方の特長を十分に生かした内容であるならば、関心が出てくるのではないかと思います。
男	首都圏	私は、鳥根県の田舎に実家があるので、改めて田舎に滞在する気持ちはない。
男	首都圏	人と人との交流。
男	首都圏	その地域独自の活動を参考にして地元へ還元したい。
男	首都圏	地方から都市に逆にボランティア団体を招く。
男	首都圏	その地域を足場にその周辺を探索する。
男	首都圏	祭りやイベントに参加したり。
男	首都圏	参加者が共通の話題のある人々なら良い。地方出身者はいやだ！
男	首都圏	低予算で心と心のふれあいができること。
男	首都圏	地元の料理を食べて作り方を覚えてみたい。
男	首都圏	田舎の人とコミュニケーションの取り方の難しさをどうしていくのか。
男	首都圏	スポーツ指導
男	首都圏	作物の取り入れ作業。
男	首都圏	技術系のサラリーマンであるために、どちらかと言うと農作業のような自然の中で、自然の暖かさ厳しさを体験しつつ、ボランティアができればと思っている。
男	首都圏	他人との交流。
男	首都圏	徹力でも姿、形で残り、自分自身で納得できるもの。
男	首都圏	仕事から家を作るような作業。
男	首都圏	野菜作りの手伝い。
男	首都圏	魚を捕る作業の手伝い。
男	関西圏	成果が見られるもの。
男	関西圏	定年後、田舎に帰り、地域の活動に参加する。
男	関西圏	バレーボール
男	関西圏	ソフトバレー
男	関西圏	体験型観光。
男	関西圏	観光案内所、観光ガイド、温泉施設運営の手伝い。
男	関西圏	祭りやイベントがあれば、企画・実行をしたい。
男	関西圏	ボランティアは地方圏に行かなくてもできるし、本質的に観光旅行を兼ねるといふものはどうかと思う。つまりボランティアは遊びではない。
男	関西圏	・交通の便が良い。
男	関西圏	・環境的が良く、空気がきれい。
男	関西圏	参加する気がまったくなし。
男	関西圏	今は仕事もあり無理だけど、できるようになれば何でもやってみよう気はする。できるかどうかは問題だけど...
男	関西圏	公共施設の手伝い。
男	関西圏	食事を用意してもらえること。
男	関西圏	都会と田舎の子供達との交流活動。
女	首都圏	植物、野菜などの栽培実体験の指導を受ける。
女	首都圏	または、地域の特産ある料理方法など、一緒に作る。
女	首都圏	園芸が趣味のため、長期家を空けることができず、2~3日程度しかできない。当然、長期滞在は無理かと思う。
女	首都圏	地域のふれあい。
女	首都圏	体を動かし(軽作業)し、地域と関わりたい。
女	首都圏	長期滞在のボランティア活動は参加するつもりがないので。
女	首都圏	土地の人達との心の交流。
女	首都圏	大自然の中で素朴な生活。
女	首都圏	楽しい雰囲気、田舎の人たちとお友達になりたいです。
女	首都圏	郷土の名物料理を食べてみたい。
女	首都圏	お祭り・盆踊りなどにも参加したい。
女	首都圏	中年でも楽しくできることがあれば。
女	首都圏	農作業中心のもの。
女	首都圏	自然との触れ合い、植物の保護等。
女	首都圏	お客様扱いされるのではなく、地元の方々と同じように接して欲しい。
女	首都圏	郷土料理などの体験をしてみたいと思います。
女	首都圏	費用はなるべく少なくしたい。
女	首都圏	ボランティア活動に社会的な意味が大であればやりがいがあるような気がします。
女	首都圏	交通の便が良い所。緊急の用事の時にすぐ帰ってこられるように。
女	首都圏	行ってみたいことのない場所が良い。
女	首都圏	地方の方との交流。
女	首都圏	地方の体験。
女	首都圏	郷土料理を作ったりしたい。
女	首都圏	まず郷土料理体験くらいならできそうかな。
女	首都圏	今現在地方に住んでおり、具体的な要望は思い付きませんが、農業(家庭菜園的なもので良い)林業など体験できたら良いのですが。
女	関西圏	・個室で夜は他人に気を使わずに過ごしたい。
女	関西圏	・他人が動いている時に、休憩できずらいので、ハードかと思う。
女	関西圏	・人間関係がわずらわしい。
女	関西圏	(自分自身の健康に自信がないので、それでもできるものがあるという前提で)宿泊施設がプライバシーを守れるものであること。

性別	住居エリア	内容
女	関西圏	自分にとっても何か新しいことを知ったり、身につける事ができれば良いと思います。
女	関西圏	新しいことへの人間関係を持ちたいです。
女	関西圏	遺跡発掘の手伝いボランティア。
女	関西圏	仕事を休むことになるので、職場の理解が必要となります。
女	関西圏	あれもこれもではなく、まとまった事柄のためにしたい。
女	関西圏	成果も期待したい。
女	関西圏	周囲の疎通を行い応じるように努めたい。
女	関西圏	宿舎提供、食事の提供もあれば良い。
女	関西圏	・地域の盆踊りに参加する。
女	関西圏	・地域の民芸を学習し、参加する。
女	関西圏	地域の食べ物、作り方も学ぶ。
女	関西圏	農作業(米、野菜作り、果樹園etc)の応援を通してのボランティア。
女	関西圏	一時的な"気分"ではなく、それを機会に知り合った方々との交流を、より深く長いお付き合いに発展させることができるなら...と思います。
女	関西圏	地元での伝統工芸などを体験させて頂く。
女	関西圏	同年代の方々との茶話会。
女	関西圏	年令に合ったボランティア。
女	関西圏	危険を共感しないもの。
女	関西圏	地域の方々と仲良くなり、ボランティアがすんでも個人的に交流ができるようにしたい。
女	関西圏	体力的には自信がないし、また特技もない者でも入っていける、地方のボランティアがあれば参加する。
女	関西圏	話相手
女	関西圏	農作業
女	関西圏	野菜の植付けを教えて欲しい。
女	関西圏	郷土料理を教えて欲しい。
男	首都圏	田舎特有の収穫があること。
男	首都圏	年齢にふさわしい環境があること。
男	首都圏	今住んでいる地元で、充分、ボランティア活動のチャンスがあり、それにもっと力を入れたい。
男	首都圏	お手伝い(農業)。
男	首都圏	自然保護の補助的作業。
男	首都圏	地域に少しでも貢献できる内容であること。
男	首都圏	酪農体験ボランティア、農業体験ボランティア。
男	首都圏	その土地の名物料理などに興味がある。
男	首都圏	ホテルのような宿舎。
男	首都圏	考えたこともないので、わからない。
男	首都圏	宿泊施設。
男	首都圏	コンビニエンスの有無。
男	首都圏	食料品の調達が可能。
男	首都圏	プログラムが参加者の選択度が高くなるような内容が望まれる。
男	首都圏	官指導は望ましくない。
男	首都圏	時間をゆっくり動いているような行動をしたい。
男	首都圏	他人に言われて行動したくない。このようなことが現実になるならばしても良い。
男	首都圏	社会的に役立ち、自分が興味を持てるもの。
男	首都圏	近い場所。
男	首都圏	特産品の販売。
男	首都圏	障害者(4級)につき、あくまで軽作業を要望する。
男	首都圏	体力にはまったく自信がないが、脳は活動している。自分の技術、技能に合うことが近場であれば参加するのでも良い。
男	首都圏	人との交流が深まる企画、プログラムであること。
男	首都圏	時間がゆっくりと流れるプログラムであって欲しい。
男	首都圏	地元文化発展を狙ったものであって欲しい。
男	首都圏	体力を使うボランティア。
男	首都圏	未経験(竹林、雑木林、果樹園など)のボランティア。
男	関西圏	かかった費用に、若干上乗せした程度の費用は払いたい。
男	関西圏	食事、風習等はすべて気づかいなく、その土地のやり方でやってもらいたい。
男	関西圏	結果その地の及び人の良さがわかったら最高です。
男	関西圏	体を動かした作業。
男	関西圏	休耕田の開放。
男	関西圏	観光ではない為、あくまでボランティアで。
男	関西圏	観光は観光。ボランティアはボランティアで考えなければならぬ。中途半端な考えでは観光である(ヒッピーなやり方ではだめ)と思う!!
男	関西圏	一人暮らしの老人の為に少しでも、何かの役に立ちたい。
男	関西圏	その地域の人々が日常的に接している、対人関係・生活習慣・食べ物、そして自然風の中での生活体験とボランティアの提供を行いたい。
男	関西圏	シルバーエイジ層の活動が活発な地域。
男	関西圏	家をあけることに、家族の同意が得られないと思う。
男	関西圏	もう若くないので、受け入れ側が拒否すると思う。
男	関西圏	相手が望むような行動ができないと思う。

性別	住居17	内容
男	関西圏	ボランティアということを互いに強く意識しない中で、自然な感じでの雰囲気を感じ、
男	関西圏	その地方の特産品(食べ物、炭、工芸品)についての造り方など、並行して学ぶ。
男	関西圏	・身体を軽度にかかす作業。
男	関西圏	・日常生活の援助・支援活動。
男	関西圏	人とのふれあい。
男	関西圏	ネットワークの構築。
男	関西圏	年、体力にあった仕事。
男	関西圏	身体を動かす作業。
男	関西圏	自分の持っている技術を活用しながら、ボランティア活動するのが良い。
男	関西圏	医療関係がしっかりしている所。
男	関西圏	各地元の人々と、文化活動また、交流を通じてイベントの手伝い。
男	関西圏	里山の整備。
男	関西圏	田舎の田畑の整備 新鮮な野菜でも手に入れたい。
男	関西圏	史跡や自然の多い景勝地など、見学を兼ねて掃除などの軽作業できる場所(宿泊)の案内(宣伝)が欲しい。
男	関西圏	地方圏出身であり、地方の高齢化を除いて地方だからボランティアが必要だという考え方が理解できない。
男	関西圏	ボランティアの内容。
男	関西圏	高齢者による内容であるか。
男	関西圏	受け入れ側の環境状況を知る。
女	首都圏	地元の人達に郷土料理など習い、交流を深めるとともに、自分の料理の向上。
女	首都圏	園芸などの手伝い。
女	首都圏	地域の良さ・田舎暮らしの良さ等を知る事ができればいいかなと思う。
女	首都圏	現任の体調が不安定で、実際にボランティアに参加できるかわかりませんが、ヘルパーの経験を生かして、散歩・話し相手・医療機関への送迎等できたら参加したいと思っていますが、年齢の事も考えると無理です。
女	首都圏	田舎での暮らしとはどのようなものが、再確認してみたい。
女	首都圏	本当に人手が足りない所へ行きたい。
女	首都圏	特になにもできないが、相手側が必要としていることができれば嬉しい。何が重要なのか、何を喜んでもらえるのを知りたい。
女	首都圏	家庭内外の仕事(女性)。
女	首都圏	旅をすれば山の荒れ具合が目に入ります。高齢者が多くの田畑を守っていて下さることに感謝し、環境保全に関心したことを。
女	首都圏	せめて滞在費などは自己負担しない仕組みが欲しい。
女	首都圏	ボランティアホリデーは引き受ける場合もあるので(海外の人)外へ出て行くばかりではない。
女	首都圏	介護体験。
女	首都圏	自然と共に生活できれば良い。
女	首都圏	介護に経験があるので体の不自由な方のいるいるなお世話してあげたい。
女	首都圏	郷土料理体験。
女	関西圏	まったくわからない。
女	関西圏	農家に泊まって、野菜作りやその他のお料理の講習を受けたい。
女	関西圏	ボランティアというのは、いろいろあると思いますが、高齢なので若い人たちがたいに動かせませんし、よくわかりません。
女	関西圏	実家の農業の手伝いで、年に数回行っているが、田舎の生活は大変。
女	関西圏	だんだんと衰えつつある、織物・染色などの地場産業のボランティア。
女	関西圏	郷土の特産物の生産ボランティア。
女	関西圏	旅行は大好きだし興味はあるが、仕事によっては年齢的(63歳)に無理で、行った先でかえって迷惑をかけることがあってはいけないので、長期でなく家の近くでのボランティアなら参加させてもらえと思う。
女	関西圏	体を動かす作業。
女	関西圏	スポーツ指導(水泳)。
女	関西圏	パソコン(ワード)。
女	関西圏	農作業手伝い。
女	関西圏	実のなる木、他を作る。
女	関西圏	地方圏等の環境によって色々勉強致しますし随います。
女	関西圏	温泉地で保養しながら山道の整備とか山の草刈りとか自然と共有した一日の半分は奉仕、後の半分は地域の様々なこと、歴史文化、生活等を知りたい。
女	関西圏	地域の祭りの準備、後片付け等にも参加したい。
女	関西圏	料理を覚えたい。
女	関西圏	地域の役に立ちたい。
女	関西圏	自分にできることがたくさんあること。
女	関西圏	力仕事以外の仕事があること。
女	関西圏	空気の良い所。
女	関西圏	今行っていること(草刈、樹木育樹など)に関連した行事。
女	関西圏	主婦でも簡単にできること。
男	首都圏	興味がないので、特に要望なし。
男	首都圏	山の手入れ
男	首都圏	植林
男	首都圏	田植え

性別	住居17	内容
男	首都圏	農業専業の家に泊まりながら、農作業、村のイベント等に参加し、一時的と言えども村民の一員になること。
男	首都圏	植林整備事業
男	首都圏	1. 地方の生活習慣の概要。
男	首都圏	2. ボランティアを必要とする活動範囲(ボランティアの)。
男	首都圏	3. 地方の人々と交流する機会。
男	首都圏	4. 今までのボランティアの受け入れとその効果。
男	首都圏	5. 活動の時間帯と休日。
男	首都圏	宿泊設備が整っている。
男	首都圏	食事がおいしい。
男	首都圏	フリータイムが少し欲しい(あらかじめボランティア活動時間を明示する)。
男	首都圏	自分の特技を生かし、施設等で大声で歌う人々の、アコーディオン伴奏をしたい。
男	首都圏	例えば、村おこし等について、人を呼び込むアイデア等の提供など。
男	首都圏	地域の旬会などに参加したい(俳句協会の会員)。
男	首都圏	軽度の農作業の手伝い。
男	首都圏	現地(ボランティアホリデーの派遣先)の求めるボランティアホリデー向きの具体的な需要が示されないと答え難い設問ですね。
男	首都圏	農作業
男	首都圏	現在の生活から離れることは考えられないので、特に要望も期待もありません。
男	首都圏	ボランティアをしながら地域の人と触れ合う。
男	首都圏	他の人の足手まといになり迷惑をかけたくないから、参加はしません。
男	首都圏	軽作業等、体を動かし物を生産する(獲る)ことのできる事。
男	首都圏	年齢的に体力に自信がないので、期間が限られているから。
男	首都圏	いろいろな地に行き各地の名所や特産品などを、帰って地元でアピールするようなこと。
男	首都圏	・交通費も含めてお金がかからないように。
男	首都圏	・仕組みもよく理解できない。
男	首都圏	老年層ではありますが、健康ですので体力の少ない作業。
男	首都圏	滞在期間の短い(2-3日)活動。
男	首都圏	技術士として参加できれば、してみたい。
男	首都圏	私は高齢のため体力を要することはできないが、機械の出ですからその関係の修理とか、作ることはできます。
男	首都圏	運転も作業車もできますから、その方でボランティアできると思いますが。
男	首都圏	決められた仕事ではなく、自分で合った仕事を見つけない。
男	首都圏	地元の人達と一般では見れない物等、見聞き体験したいと思います。
男	首都圏	できるだけ1ヶ所以上、多くの場所に移動しながら参加する仕事が良い。
男	首都圏	年齢的にも無理。
男	首都圏	理容師なので、老人ホーム等での調整。
男	首都圏	野生植物の保護。
男	首都圏	温泉施設、キャンプ場、運営等の手伝い。
男	首都圏	野生植物保護活動
男	首都圏	体験型観光
男	首都圏	特産品の加工作業。
男	首都圏	野生植物の保護。
男	首都圏	まだ自分自身をみがきたいので無給でも良いが趣味的なものの作業に参加したい。炭焼き、陶芸の窯たき、ログハウス作りなどの作業に興味を持つ。最低一週間以内で3日位が良い。
男	首都圏	農作業のお手伝いや、それに似たような仕事。
男	首都圏	イベント等のお手伝い他。
男	首都圏	自分が体験、会得したことを次の世代につなげることができる場が提供されること。そして、そのような人材が少ない地方圏に滞在すること。
男	首都圏	ボランティアホリデーの事務局に自分の提供できる内容を登録しておくことができるシステムを作りたい。
男	首都圏	人工林が荒廃しているので早急に着手をすべき。
男	首都圏	地方自治体が中心になるべき。
男	首都圏	老人(80歳位)と共に仕事がしてみたい。
男	首都圏	静かな所。
男	首都圏	トイレがきちんとしている所。
男	首都圏	交通費が安くなるような所。
男	首都圏	地方に他人を受け入れる気持ちがあるかどうか。
男	首都圏	風俗、習慣その他の違いを受け入れてくれるか?。
男	首都圏	手入れのできていない山の手入れ、植樹等。
男	首都圏	高齢なので長期滞在は無理なので、2、3日ならば。
男	首都圏	地方自治体の手伝い。
男	関西圏	年が77才を過ぎ、自分自身でいっぱいです。
男	関西圏	自由があること。
男	関西圏	多くの人と親睦が図れること。
男	関西圏	住んでいるところと環境が違うところなど。
男	関西圏	参加するとしても、高齢、障害3級のハンデのため、ボランティアもならず期待も要望も薄。
男	関西圏	農業(過去に農業を経験しているから)。
男	関西圏	農作業手伝い

性別	住居エリア	内容
男	関西圏	役場や公共施設の手伝い。
男	関西圏	その地域・土地の昔からの習慣等。
男	関西圏	年が来年で80才である。
男	関西圏	病弱である。
男	関西圏	ボランティア用の仮設住宅が欲しい。
男	関西圏	体力がないので長期滞在は無理。
男	関西圏	人間のコミュニケーション。終了後も文通で連絡。
男	関西圏	充実感。
男	関西圏	相手にもメリットがあることを望む。
男	関西圏	どのようなことか、行ったことが無いのでよくわからない。
男	関西圏	高齢(73才)で体力に自信がないので、ボランティアホリデーに参加したい気持ちは大いにありますが、適当な手伝いがあるかどうか。
男	関西圏	福祉、保健(障害者)。
男	関西圏	地域の清掃活動。
男	関西圏	環境保全奉仕活動。
男	関西圏	何ができるかわかりませんが、何かやってみたくです。
男	関西圏	自分の得意とする作業に参加したい。
男	関西圏	経費の負担軽減。
男	関西圏	昔ながらの素朴な人情味溢れる過疎地で、地域の人々と共同でできるものならば良いと思う。具体的には提示できない。
男	関西圏	環境。
男	関西圏	66才でまだ勤務している、犬がいるため(大小4匹)、朝夕の世話でひまがない。
男	関西圏	足が不自由なので、話し合い、意見交換等であれば参加してみたい。
男	関西圏	食事が作れること。
男	関西圏	布団が備えてあること。
男	関西圏	・軽作業な農業手伝い。
男	関西圏	・祭りなどイベント等の手伝い。
男	関西圏	・イベントのお手伝い。
男	関西圏	自然の中で自然に関わりながらマイペースでできるようなこと。
男	関西圏	ボランティアと旅行は別のもと考えている。
男	関西圏	ボランティアに参加できないから、期待要望なし。
男	関西圏	ボランティアホリデーと言う言葉自体にインキキ感を感じる。敗戦から約60年近くになるが、主権在民を柱とする平和憲法を守るならば、赤い羽根募金や、ボランティアホリデーなどの必要性は、私は感じない。
男	関西圏	郷土料理体験
男	関西圏	瀬戸内で鯛の本釣り。
男	関西圏	子供達の活動(教職経験を生かして)。
男	関西圏	山歩き(ハイキング)。
男	関西圏	草むしり
男	関西圏	清掃
男	関西圏	農業体験
男	関西圏	野、農作業。
男	関西圏	町づくり、イベントなどの作り。
男	関西圏	農作業手伝い。
男	関西圏	酪農手伝い。
男	関西圏	特産品の加工作業。
男	関西圏	軽トラック、農機具などの使用が自由にできること。
男	関西圏	できるならば贅沢は言えないが、宿泊する場所と食事抜きではボランティアはできない。
男	関西圏	農作業の手伝い。
男	関西圏	長期滞在の場合、何日か自由の時間が欲しい。
男	関西圏	長い間の都会の生活で動を知り、静を知らない日々ですが、静かな環境で全身を動かし汗を流す仕事を望みます。
男	関西圏	植物の整理。
男	関西圏	地元料理の手伝い。
男	関西圏	病院への浦除介助。
男	関西圏	田、畑の雑草取りなどの屋外での仕事
男	関西圏	森林パトロール、観光施設パトロールなど。
男	関西圏	長期参加は無理。個人のプライバシーが保たれ、あまり制約がなければ考えられる。
男	関西圏	地方圏の人々との触れ合い。
女	首都圏	期待等しない。果樹園の手伝い一つ考えても、実際関わった経験のない人には無理な作業が多い。自分のこととして頑張れるかどうかが大切だと思ふ。ボランティアは今、質が問われているのではないのでしょうか。
女	首都圏	何をすればいいか
女	首都圏	そのことを自分ができるかどうか。
女	首都圏	ニーズに応えられるかどうか。
女	首都圏	安全の確保。
女	首都圏	明確な目的。
女	首都圏	拘束の程度。
女	首都圏	気持ち良く、楽しい雰囲気です仕事をしたいです。

性別	住居エリア	内容
女	首都圏	ボランティアホリデーに参加することは、体力的(椎間板ヘルニアなので)に無理です。力仕事でないこととか(例えば縫い物、話し相手)ならできるとは思います。
女	首都圏	地域活動の祭りや、イベントの手伝いや特産品等の販売。
女	首都圏	個室があり、ボランティアの時間と楽しめる時間のけじめがあること。
女	首都圏	同年齢の方々と生活ができること。
女	首都圏	期間もあまり長くなく、年に何回も参加できること。
女	首都圏	温泉で休養することができれば。
女	首都圏	参加したくないので期待、要望もない。
女	首都圏	農作業の手伝い(草取り、手入れなど)。
女	首都圏	野生植物の保護。
女	首都圏	地方特有の風習を知りたい。
女	首都圏	現在、私は93才の母の面倒を一人でしていますので、他のボランティアはやりたくてもできません。残念ですが...今は考えられないのです。
女	首都圏	地域への環境作り。
女	首都圏	特産物の発展(品質・種類)に対して共に勉強させていただければと思っています。
女	首都圏	軽作業
女	首都圏	終わる時間が決まっていますので残業がない。
女	首都圏	危険はイヤだ。
女	首都圏	汚いはイヤだ。
女	首都圏	農作物の収穫。
女	首都圏	「ボランティアホリデー」という言葉も知りませんでした。色々なサークルに参加しているので、今すぐは参加できませんが、もし日帰りであるとなればできるかもしれません。
女	首都圏	都会と地方に住む人々の情愛、環境、考え方などの違いを知り、自分の今後の生活の場を考えてみたい。
女	首都圏	できるものは調理(ケーキ、パンも含む)ですが、年齢的に相手方に迷惑をかけた場合のことを考えるとふみきれません。
女	首都圏	簡単な農作業の手伝い。
女	首都圏	野生植物の保護活動。
女	首都圏	地域の人との交流の中で、その後も友人として関係を続けていければと思います。
女	首都圏	田舎の生活が好きなので、知らなかったことを色々覚えられたらいいなと思います。
女	首都圏	地方の食生活を知りたい。
女	首都圏	あまり聞いたことがないシステムなので、不安です。
女	首都圏	保育支援、介護支援に参加して、今までの経験を生かしながら、お互いになれる、楽しみ、喜びを分かち合いたいと思います。
女	首都圏	軽作業の調理支援。
女	首都圏	介護支援。
女	首都圏	資格はないが、乳幼児の子守り等。
女	首都圏	年齢相応の軽作業で貢献したいと思います。
女	首都圏	畑で野菜を作る手伝い。又は田植えなどに親しむ作業等。
女	首都圏	地域の人との交流。
女	首都圏	実家や親戚が田舎にあると良いと思う。
女	首都圏	地元の方達がボランティアを必要とする事柄と自分の能力が合致するとやりがいがあると思う。
女	首都圏	家事一般自分でできる範囲のことができ、一時的なものではなく長く付き合えることができる出会いがしたいと思う。
女	首都圏	農作業
女	首都圏	体験型観光(郷土料理)
女	首都圏	年齢的に無理だと思ってしまうので、話し相手くらいしかできません。
女	首都圏	達成感のある仕事なら何でも良い。個人差があるとは思いますが、再度お手伝いの時に自信が持てるような指導?をして欲しい。
女	首都圏	染色、お菓子作りなど手伝いながら、自分のアイデアを生かしたい。
女	首都圏	繁忙期での手伝い(農作業)。灰焼き、下草刈等、人手で行うものを手伝う。
女	首都圏	近くに医療施設の充実している所。
女	首都圏	長期滞在は年齢的に無理だと思ってしまう。
女	首都圏	長期に家を留守にできない。
女	首都圏	私は関心、好奇心が旺盛ですが何とせよ行動力が現在は伴いませんので残念です。健康体に戻りたいです。
女	首都圏	お年寄りの話し相手。
女	関西圏	畑仕事は体力的に無理ですので、座ってできる物作りなどしてみたい。
女	関西圏	誰かのために何かしてあげるのは、とても楽しいことだと思います。身近なことでも良いので、私にもできることはないか?といつも考えております(リュウマチで身体(足)が不自由です)。
女	関西圏	地方の作物などをしりたい。
女	関西圏	話し相手でいろいろ楽しく過したい。
女	関西圏	体の不自由な方を車いすに乗せて、押しながら田舎道をおしゃべりしながら散歩したいです。

性別	住居ID	内 容
女	関西圏	老人ホームの為に、募金しつつ。
女	関西圏	年齢的にも長期は無理。
女	関西圏	年齢的に活動が一日中は...
女	関西圏	神社
女	関西圏	史跡
女	関西圏	観光案内
女	関西圏	お酒の造り方。
女	関西圏	春・夏・冬の学校の休みの時期に、孫(中学生)等と一緒に活動に参加できれば良いと思います。
女	関西圏	人の話を聞いてあげる。そしてそれなりのアドバイスができればいいなと思う。
女	関西圏	週休2日
女	関西圏	1日8時間労働
女	関西圏	自分の技術が生かされる仕事。
女	関西圏	土地の人たちと共に、野生植物の保護育成を毎年続けていく。
女	関西圏	特に、絶滅品種を増やす作業をしたい。
女	関西圏	健康に自信がないから、家から通えるような所。高齢でもありますので、他の方に迷惑をかけたくないから。
女	関西圏	1、こちらの要望よりも地方の方が何をしてほしいのか...望まれることをしていきたいと思います。
女	関西圏	小さくても畑があれば、自分で作物を作りたいと思ったり致します。
女	関西圏	年令が20才若ければ、色々なことを考えてもいいのですが、今の自分の年令(71才)ではあまり役に立てそうにないので、自分より年配の方の話し相手とか商品の販売とか位しか、お役に立てないのではと思います。
女	関西圏	体力を使わない方法のボランティア。
女	関西圏	歌うことで慰問。
女	関西圏	話し相手(聞き上手である)。
女	関西圏	軽い手仕事を共に楽しむ(布、紙での小物作り)。
女	関西圏	人とのふれあい。
女	関西圏	ボランティアの人達が仕事(手伝い)の内容をはっきりと指示するようして下さい(初期の日2、3日)。
女	関西圏	仕事が終わった後は語らいの場を必ずもうけて楽しく明るくすること。
女	関西圏	子供を対象にしたようなもの。
女	関西圏	茶、書道などの文化面。
女	関西圏	自分にできることがあれば活動したい。
女	関西圏	都会育ちで年齢も若くないので、身体にあった植物に関する野外での楽しい仕事(?)であればいいなー。
女	関西圏	地元の人達との触れ合い(会話)。
女	関西圏	介護してみたい。
女	関西圏	イベントの手伝い。
女	関西圏	田舎の人達との触れ合い。
女	関西圏	都会化されていない田舎の風景。
女	関西圏	温泉のあるところ。
女	関西圏	南紀の梅の収穫のボランティア。
女	関西圏	健康に不安だからその上、年をとっているからかえって邪魔になると思うから、自宅で留学生などの相談相手になったりするボランティアに参加したい。
女	関西圏	皆で楽しくできるようになれば良いと思う。
女	関西圏	宿泊施設
女	関西圏	食事の確保。
女	関西圏	大自然の残っている所を期待します。

(2) 問30の自由回答

性別	住居圏	内容
男	首都圏	東京への交通の便が良いほうがいい。
男	首都圏	あまり考えていないが、適度に緑に囲まれている。
男	首都圏	適度に便利な環境が良い。
男	首都圏	周りに自然が残っていて、静かな環境である場所に住みたいと思う。
男	首都圏	食、寝、遊。
男	首都圏	ゆっくりと生活がしたい。
男	首都圏	自然環境
男	首都圏	仕事(収入)のことについて心配です。
男	首都圏	交通手段や商業施設が充実していて、生活の利便性が確保されていれば、自然が豊かだとか人情があるとかはどうでも良い。地方特有の習慣や排他的な共同体意識にわずらわされないことが望ましい。生活費が安くすんだり、土地に余裕があるのなら、それに越したことはない。
男	首都圏	お金が安そう。
男	首都圏	料理がおいしそう。
男	首都圏	車がなければ生活できなそう。
男	関西圏	時間に追われず、ゆったりとした暮らし。
男	関西圏	ゆったり生活できる所。
男	関西圏	空気がきれいな所。
男	関西圏	交通の便が良いこと。
男	関西圏	自然災害(地震、大雨、台風など)に弱い環境のところは避けたい。
男	関西圏	自分の趣味ができる施設があること。
男	関西圏	同年代の人々が少しでも仲間にいる感じがいい。家の周りの人々とも深い交流が生まれ、差のきれいなところがいい。家の周りの人々とも深い交流があり、一緒に農作業したり、子供同士も仲の良い関係が良いと思
女	首都圏	交通手段を便利に
女	首都圏	スーパーなど(デパート等)一まとまりにして、買物がそこで一度に買えるように。
女	首都圏	ファーストフードやコンビニなども欲しい。
女	首都圏	買物ができる所が近くにあって欲しい。
女	首都圏	周りに人がいない。
女	首都圏	ゆったりとした生活。
女	首都圏	自然の中での生活。
女	首都圏	家の近くに買い物できる場所がある。
女	首都圏	交通が不便ではない。
女	首都圏	広い家、庭で暮らす。
女	首都圏	ペットを飼う。
女	首都圏	自分の好きなことができる。
女	首都圏	のんびりできる。
女	首都圏	健康的
女	関西圏	地方でも都会のように病院などに不自由しないという点です。
女	関西圏	のんびりとゆったりと自然の中で暮らしたい。
女	関西圏	家族でBBQ。
女	関西圏	家族でテニス。
女	関西圏	交通の利便性
女	関西圏	図書館などの公共施設の充実。
女	関西圏	近くに色々な店などがある場所。
女	関西圏	色々なテーマパークがある。
女	関西圏	有名な食べ物や名産がある場所。
女	関西圏	生活に不便がないこと(交通、買い物など)。
女	関西圏	子供が将来幸せだと感じられる環境。
女	関西圏	町の環境。
女	関西圏	町の雰囲気。
女	関西圏	自然の中で四季を感じて生活したい(都会ではただ何となく過ぎて行くから)。
女	関西圏	野菜を作ったり、山に山菜を取りに行ったり、川で魚を取ったりしてのんびりと生活したい。
女	関西圏	ゆとりのある生活。
女	関西圏	騒音、人込みのない生活。
女	関西圏	近所の人々との触れ合い。
男	首都圏	交通となれば車。車がメインになるので、ガソリン代が他よりも安くなること。
男	首都圏	安定した収入が得られること。
男	首都圏	生活に不自由しないよう、近くにお店があること。
男	首都圏	安らぐ景色であること。
男	首都圏	都会では失われつつある、人と人とのコミュニケーションを味わえる。
男	首都圏	・空気がおいしく水がきれいな川の近くで、野菜を作りながら、のんびりと暮らしたい。
男	首都圏	自然が多く、子供ののびのびできる環境。
男	首都圏	ライフラインの確保。
男	首都圏	物価が安い。
男	首都圏	自然。
男	首都圏	自給自足生活を是非やってみたいです。
男	首都圏	のんびりした時間。
男	首都圏	ゆったりとした生活。
男	首都圏	自然
男	首都圏	おいしい食べ物。
男	首都圏	自然がいっぱいで空気がおいしい。でもコンビニや遊ぶ所がある。

性別	住居圏	内容
男	首都圏	東京に近い所。
男	首都圏	田舎でも最低限の施設は必要(病院、コンビニ等)。
男	首都圏	時間的に余裕のある暮らしがしたい。
男	首都圏	自然が身近に感じられる場所。
男	首都圏	今のところ考えていませんが、交通が便利であればいいと思います。
男	首都圏	静かな環境。
男	首都圏	海のある土地。
男	首都圏	実際田舎、都会といった考えは好きではない。住む場所は物流が良く、地域の人はそこそこの適度な付き合いで体を動かせることにお金が発生しない安全かつ自由な環境と考える。
男	関西圏	交通手段が多く整っているのが良い(田舎へ行く道が1つしかないとかは辛い)。
男	関西圏	野菜などを作っているのんびり暮らしたい。
男	関西圏	交通の便がいい事。
男	関西圏	病院や買物が近くにある事。
男	関西圏	まだわからない。
男	関西圏	仕事。
男	関西圏	田舎の定住は買い物や交通不便が気がかりであり、その辺りが良くなればと期待します。
男	関西圏	交通、病院など住居、生活環境を不安定にしない。
男	関西圏	自転車です15分以内に駅があり、安く買物ができる店があり、海が近い。
男	関西圏	低価格の土地と家。
男	関西圏	交通機関が便利であって欲しい。
男	関西圏	都会はごちゃごちゃしていて、うるさいし、ゆっくりのんびり暮らした何もない状態からのスタートなので、それをサポートするものがまったくないと先に進めないで、その地方圏全体の密着的なサポートとつながりが無いといけません。
男	関西圏	将来結婚して子供ができた時に、学校など教育施設などの環境が整っていること。
男	関西圏	雇用確保
女	首都圏	・車で数十分のところにショッピングセンターがあること(買物がある程度便利)。
女	首都圏	環境の美しさ。
女	首都圏	若いうちは田舎での定住は考えませんが、年をとったら、きれいな空気のもとでのんびりとした所に家を持ちたい。
女	首都圏	何にもない場所ではなくて、歩けば一通りの買物ができる場所で、医療の面も整った場所であって欲しい。都会では買えない値段で家を買って、少しでもお金に余裕を持ち、旅行に行ったり、老後を楽しめればいい。
女	首都圏	小児科もある病院が近くにある事。
女	首都圏	スーパーなど徒歩でいける距離である事。
女	首都圏	子育てで孤立しないよう、子供の集まる場所がある事。
女	首都圏	学校が徒歩30分以内で、防犯意識がしっかりしている事。
女	首都圏	ゆったりと生活する事ができる。
女	首都圏	都心よりも広々とした住まいで生活できる。
女	首都圏	自然が続く事。
女	首都圏	郷土料理を学びたい。
女	首都圏	その歴史も知りたい。
女	首都圏	医療設備が充実。
女	首都圏	通信回線
女	首都圏	田舎に行く決めた時点で、都市部よりも多くの面で不自由さがあるということは想像できるので、物資の面では期待していませんが、何よりも、田舎に対する(その住民など)知識を十分に取入れてからでない、全て変わる生活に順応できるのだからかと考えると、やはり、情報を多く発信して欲しいということ、インターンを受け入れる体制などについての情報が、期待するところです。
女	首都圏	都市圏への利便性。
女	首都圏	交通の便が良い。
女	首都圏	交通の便利な所や大きなショッピングセンターなどが身近にありながらも田舎らしい自然の中に住みたい。
女	首都圏	交通の便が良いこと。
女	首都圏	・自然が多く、空気がきれい。
女	首都圏	・土地が広くて安い家を買える。
女	首都圏	・東京へアクセスが便利なこと。
女	首都圏	・緑が豊かで空気がきれいなこと。
女	首都圏	自然を大事にする。
女	首都圏	地方は何かと不便だから、できれば住みたくない。
女	首都圏	会社という狭い枠にとらわれず、自分のやってみたい仕事に就いて、のんびりと暮らしたいと思します。
女	首都圏	特に東京は家賃が高いのですが、田舎だとあまりそういうこともなく、場所さえ気に入った地域なら自由でいいなあと思います。
女	首都圏	田舎には住んでみたいけど、生活が成立つのが心配。田舎にはあまり仕事がないと聞くので。
女	首都圏	緑が多いこと。
女	首都圏	観光が少ないこと。
女	首都圏	実家が地方なので特になし。
女	首都圏	学校や病院、コミュニティセンターなどの施設の充実。
女	首都圏	まったく関心がないので、特になし。

性別	住居圏	内容
女	首都圏	不便だし、虫が嫌いなので定住ほしたいと思いません。
女	首都圏	緑豊か、きれいな川や空気がのんびりできる土地が良い。
女	首都圏	自給自足をしたい。
女	首都圏	牧場で牛を育てて、チーズなどを作りたい。
女	首都圏	地域の人々と交流ができる。
女	首都圏	その土地でも収入があり、生活できる。
女	首都圏	子供の教育環境が整っていてさらに夫の職場が近くにあるといい。
女	首都圏	家族で過ごす時間を長くしたい。
女	関西圏	人と人との温かいつながり。
女	関西圏	自然との共存。
女	関西圏	今の土地から離れてしまうと、私を必要としてくれている人たちが困るので、定住は考えていないが、第2の地(休みの日に行く)にしても良いと思う。都会で疲れた子供達を、自然の中でのいるいるなことを学ばせてあげたいので、田舎は田舎のまま置いて欲しいです。
女	関西圏	耐震性のある家に住みたい。
女	関西圏	広い家。
女	関西圏	庭でガーデニング。
女	関西圏	静かな環境。
女	関西圏	自分が病気になるので、病気が治れば良いと思います。
女	関西圏	楽しくて子供が育ちそうと思う。
女	関西圏	心が豊かになれそうに気がする。
女	関西圏	病院が近くにあること。
女	関西圏	窓から海(山)が見えること。
女	関西圏	安全。
女	関西圏	地元の人とすぐ仲良くしていきたいから、交流の持てる場が欲しい。
女	関西圏	地元の人とすぐ仲良くしていきたいから、情報が欲しい。
女	関西圏	空気がきれいで静かでのどか。
女	関西圏	食べ物がおいしい。
女	関西圏	車で2時間くらいで、ある程度の都市に出られる所。
女	関西圏	時間がゆっくり流れるような環境。都会のせかせかを感じさせないよう
女	関西圏	のんびりした生活。
女	関西圏	自然。
女	関西圏	子供の安全。
女	関西圏	仕事があれば田舎でも良い。
女	関西圏	野菜作りなどの指導。
女	関西圏	都会みたいに時間に追われるような生活じゃなく、ゆっくり暮らしてみたい。
女	関西圏	自分のことを理解してくれる人等が近くにいること。
女	関西圏	子供を自然にふれさせ。
女	関西圏	今の家からあまり遠くなく、自然がある所が良い。
女	関西圏	定住するつもりはないですが、もしするとしたら駅やバス停の近くで、スーパーも歩いていける所に住みたい。
女	関西圏	病院などもできれば近い方が良いと思う。
女	関西圏	家は大きくて住みやすい。
女	関西圏	不自由なく暮らせる。
女	関西圏	自然の中でのんびりと暮らしたいです。
女	関西圏	伝統行事が残っていることが一番。
女	関西圏	考えていない。
女	関西圏	ゆっくりのんびり生活したい。
女	関西圏	移住の際の引越しなどの費用の一部負担。
女	関西圏	土地、建物を特別価格にて購入できる。
女	関西圏	交通アクセスが便利に。
男	首都圏	・災害等に対し、安全であること。
男	首都圏	・住みやすいところであること。
男	首都圏	生活に不便がないこと。
男	首都圏	必要なものが身近で揃う環境。
男	首都圏	どこにも行きたくないです。
男	首都圏	田舎に帰っているので別になし。
男	首都圏	なるべく自給自足ができるような環境が理想。でもあまり田舎すぎると、病院などの施設が遠くなるので、適度な場所が良い。
男	首都圏	地方圏へ定住するのならば自然の中で暮らしたいと思うので、周りに自然がいっぱいあり(川や海等があるとベター) 娯楽施設等、人の手が入ったものがあまりないような所。
男	首都圏	海が近い所でペンションなどを開きたい。
男	首都圏	働く環境と文化になじめること。
男	首都圏	静けさ
男	首都圏	家族でゆっくり生活できること。
男	首都圏	安定した職業に就けて、普通に生活していける環境、収入。
男	首都圏	医療施設などの充実
男	首都圏	自然環境の天災による影響がないか。
男	首都圏	都市部と同様の職場環境(インターネットの有効利用)。
男	関西圏	医療・福祉等、公共的な施設が整っている事。
男	関西圏	近くに病院、学校などがある。病院は特に救急で診てもらえる小児科があること。
男	関西圏	田舎への定住は考えられず、週末のみ田舎で生活するという方向でしか考えることはできない。
男	関西圏	まったくできる環境。

性別	住居圏	内容
男	関西圏	住み良いこと。
男	関西圏	便利なこと。
男	関西圏	環境
男	関西圏	土地柄
女	首都圏	自分が大切にしたいもの、こだわりたいものを実現できる形がいい。例えば、自分で作った野菜を食べたり、陶芸や伝統工芸品を作成するなど、そこでなければ実現できないものに関わりたい。
女	首都圏	子供が独立し、夫と二人で定住してみたい。
女	首都圏	何らかの補助が、自治体からあれば良いと思います。
女	首都圏	新しい人を喜んで、受け入れてくれる人たち(地方の方たち)であって欲しいです。
女	首都圏	大きな家に住みたいし、ゆったり時間に追われない暮らし。
女	首都圏	空気がとてもきれいな。
女	首都圏	畑でいろんな野菜を作ってみたい。
女	首都圏	子供を叱らずにのびのびさせてあげられそう。
女	首都圏	ストレスがたまらなそう。
女	首都圏	問29で選んだ理由が要望であり、期待することです。東京ではあまりないような人間関係を持てるような気がします。
女	首都圏	自然との共生。
女	首都圏	広い住環境。
女	首都圏	新鮮な食材。
女	首都圏	主要幹線経路に近い(新幹線の駅など、東京に行く際、便利であること)
女	首都圏	・病院が近くにあること。
女	首都圏	・全般的な生活費は安く済むのであろうと思うが、やっぱり物価が高く感じる(高いイメージがあるのでもう少し安いといいと思うが・・・)。
女	首都圏	借家ではなく自分の家を持ちたい。
女	首都圏	自然が多い地域に住みたい。
女	首都圏	医療、福祉(施設など)が充実した地域に住みたい。
女	首都圏	自身と子供が喘息がひどくて、辛い思いをしているため空気のきれいな所への定住を考えている。ゆくゆくは治らないまでも、少しでも症状を軽くできればと思う。
女	首都圏	病院などへの交通の便や買物など。
女	首都圏	車の免許を持っていないので、交通の便を考える。近所に生活に必要な物を買うに行く場所等があれば、それでも構わない。
女	首都圏	あとは、生活していく上で、職場に通勤しやすいか等。
女	首都圏	よそ者扱いされない、監視されない。*申し訳ありません。自分が地方出身であまり良い印象(人間、近所づきあい)がないのでマイナスイメージばかりです。
女	首都圏	住む家については家は小さくて良いが庭がある。できれば崖の下は避けたい。
女	首都圏	環境
女	首都圏	近所の方々(人間関係)。
女	首都圏	物価
女	首都圏	買い物などできる場所までの交通手段、時間。
女	首都圏	学校
女	首都圏	時間に追われずのんびり暮せたら良いと思う。
女	首都圏	自給自足がうまくできたら良いと思う。
女	関西圏	都市部へのアクセスが良い(1-2Hくらいで行ける)。
女	関西圏	生活しやすい(スーパー、学校、病院etcが近くにある)。
女	関西圏	家族で助け合い、色々なことを経験したいので、地域の方と同じような生活をしたい。
女	関西圏	戸建の家に住めること。
女	関西圏	スーパーや交通方法(手段)が近くにある所。
女	関西圏	すぐ診てもらえる病院がある所。
女	関西圏	医療面でのサポート(急病等に備えて)。
女	関西圏	アレルギー症状が軽減する。
女	関西圏	子供の学校(良い学校が近くにあるか)。
女	関西圏	自然の素晴らしさを子供に教えたい。
女	関西圏	人と人のつながりの大切さを子供に実感して欲しい。
女	関西圏	星がきれいに見えること。
女	関西圏	多少交通が不便でも、人があまり多くなく旅行者も来たりしない所。
女	関西圏	夫婦でゆっくり過ごしたい。
女	関西圏	野菜を作ってみたい。
女	関西圏	老後に自分の時間が持てるようになってから定住したい。
女	関西圏	田舎は田舎らしくそのまま、便利などにならなくて良い。
女	関西圏	広い家に住んで、家庭菜園、ガーデニングなどを楽しむ。
女	関西圏	地方圏への定住には抵抗があるので、特に要望なし。
男	首都圏	・仕事の安定。
男	首都圏	店や駅があればいい。
男	首都圏	・環境が良いこと。
男	首都圏	・都会にない便利さ。
男	首都圏	・転居先での仕事の有無。
男	首都圏	・安定した年収。
男	首都圏	のんびりしたい。せかせかしたくない。
男	首都圏	地域の人々とのふれあい。
男	首都圏	夢や希望はあるが、金銭的な面や、年をとってからの新しいスタートには少々不安もある。

性別	住居圏	内 容
男	首都圏	東京生まれ東京育ちだから、地方圏の定住は望んでいないので要望もな
男	首都圏	きれいな空気。
男	首都圏	安心な町。
男	首都圏	ガーデニングが好きなので花が咲き乱れる家に住みたいが、仕事が定年
男	首都圏	のない自営なので、おそらくここにずっと暮らすでしょう。田舎には大
男	首都圏	変興味がある理由は母親の実家が長野で山あり川あり毎年子供を連れて
男	首都圏	遊びに帰ります。母親の兄弟が全員長野の近所に住んでいるので、遊び
男	首都圏	に行くことみんな集まって宴会！！。
男	首都圏	なるべく都市から遠い場所。
男	首都圏	住まいの広さ。
男	首都圏	豊かな自然。
男	首都圏	都会の煩わしさのなさ。
男	首都圏	住まいは地方圏でも都会の情報やアクセス（必ずしも絶対条件ではない
男	首都圏	が）が十分整備されている地域が良いと思う。
男	関西圏	周りに緑が多いこと。
男	関西圏	身近に病院があること。
男	関西圏	田舎の定住は考えたことが無いので、特に無い。
男	関西圏	田舎への定住は考えていないので、期待、要望は無いです。
男	関西圏	自分は海の側で小さなお店を開きたいと考えています。そのために、ま
男	関西圏	ずその地方の文化や風土を勉強してからと考え、年に4～5回訪問して
男	関西圏	います。その地方で求められるような仕事を探索中ですので、情報交換
男	関西圏	の場を求めます。
男	関西圏	生活できるだけの収入(仕事)。
男	関西圏	・のんびりとした生活。
男	関西圏	・物価が安いこと。
男	関西圏	・大規模な店。
男	関西圏	インターネット環境が整っていること。
男	関西圏	安く買える住居。
男	関西圏	ネット環境の整備。
女	首都圏	定住するつもりは無いです。
女	首都圏	自然に囲まれていて、空気がきれい。
女	首都圏	今の友人が遊びに来て、何日が泊まって、自然と触れ合い、ゆっくりの
女	首都圏	んびりお酒を飲んだり色々してみたい。
女	首都圏	自然の中で時間に追われることなく、ゆっくりと過ごしたい(自給自足等
女	首都圏	で)。
女	首都圏	地方へ定住した後、安定したたくわえで暮らせるかどうか。
女	首都圏	医療施設がしっかりしていること。
女	首都圏	仕事があればよい。
女	首都圏	運転免許(普通)
女	首都圏	教員免許(中学)
女	首都圏	教員免許(高校)
女	首都圏	教員免許(養護学校)
女	首都圏	現在の生活水準以下の暮らしはしたくない。
女	首都圏	近隣に学校、病院、大型スーパーがあるため。
女	首都圏	病院が充実していること。
女	関西圏	時間にとられることなく、ゆったりと生活する事ができる。あくせく
女	関西圏	働くことなく、のどかに毎日を過ごす。
女	関西圏	自然と共に、春夏秋冬を感じて、のんびりと過ごしたい。
女	関西圏	近所付き合いが盛んで、アットホームなところである事。
女	関西圏	自給自足を身につけている事。
女	関西圏	病院があって欲しい。
女	関西圏	買物施設などは揃っていて欲しい。
女	関西圏	あまり移住するつもりはない。
女	関西圏	考えられません。
女	関西圏	南の島で自給自足の生活をし、インターネットを使って買い物と情報収
女	関西圏	集をしたい。
女	関西圏	無料のエステサロンを開き、島の人達と交流のできる場を作りたい。
女	関西圏	医療施設や買物をする所が近くににあること。
女	関西圏	・自然があり、環境が良いこと。
女	関西圏	電気・ガス・水道が完備されていて、家が安く、学校、ショッピング、
女	関西圏	病院も近くにあり、住宅が密集していないこと。
女	関西圏	最低限必要な公的機関が徒歩30分以内にあること(郵便、スーパー、病
女	関西圏	院等)。
女	関西圏	公共の交通機関がある程度発達していること。
女	関西圏	買い物、病院などに遠すぎないこと。
女	関西圏	住民が気軽に参加できるイベントや講座などがあり、開かれた地域であ
女	関西圏	ること。
女	関西圏	ゆったりとした生活をしたい。
女	関西圏	広い家で暮らしたい。
男	首都圏	医療機関の充実。
男	首都圏	交通機関の充実。
男	首都圏	里山のある土地。
男	首都圏	安心できる医療。
男	首都圏	老後のんびり田舎で・・・と考えています。
男	首都圏	最近交通手段も発達しているので、多少遠くても都心に行くことも大
男	首都圏	変ではないと思う。
男	首都圏	子供をのびのび育てられること。

性別	住居圏	内 容
男	首都圏	収入が安定する仕事と、住居があれば考えるかもしれない。
男	首都圏	具体的には今は無理。
男	首都圏	趣味と実益が伴うこと。
男	首都圏	自分なりに住みやすいこと。
男	関西圏	お店が少ないのが、困るかなーと思っています。
男	関西圏	現時点では地方圏への定住など考えられない。年のせいかわからない
男	関西圏	が、たとえ年をとった段階でも、最近の災害のことを思うと、地方圏と
男	関西圏	なると考えてしまう。
男	関西圏	都心への交通の便が良いところ。
男	関西圏	のんびりとした暮らし。
男	関西圏	ストレスのない暮らし。
男	関西圏	公害のない環境で、健康を維持したい。
男	関西圏	同じような仲間がいればなお良い。
男	関西圏	最低限の生活保障(生活できるだけの収入源の確保)。
男	関西圏	楽しくできる自給自足の生活。
男	関西圏	きちっとした収入があれば田舎でのんびりしたい。自然の中でのびのび
男	関西圏	と子供を育てたい。
男	関西圏	田舎であっても、交通の便がよいところ。
男	関西圏	静かなところ、人が少ないところ。
男	関西圏	交通網の利便性。
男	関西圏	車に乗れないくらい老いた時、病院に行く、買い物に行くなど不便さを
男	関西圏	どう解消できるか？
女	首都圏	もともとが田舎育ちなので、やはり少しでも山が見える場所に住んでみ
女	首都圏	たい。畑もやってみたくて、自然があると良いと思う。動物も飼
女	首都圏	ってみたいと思う。
女	首都圏	・食べ物おいしい。
女	首都圏	・お店がたくさんある。
女	首都圏	民家があまりにもないような田舎ではない所。
女	首都圏	できれば、海に近ければと思います。
女	首都圏	田舎暮らしをするなら、豊かな自然の中で新鮮な食べ物を味わい、広い
女	首都圏	家で生活できたら、と思う。でも、友人、子供と一緒になければつまら
女	首都圏	ないので、多分移住はしないと思います。
女	首都圏	温泉があるなど。
女	首都圏	少なくとも医療機関は整っていて欲しい。
女	首都圏	ずっと都会で生活しているの、田舎暮らしはできないと思う。
女	首都圏	家族が楽しく、のんびり過ごせること。
女	首都圏	夜とかもネオンがある方がいい。
女	関西圏	問29で「をしたことが実際であるということ。高齢であると思うので、
女	関西圏	いざという時の病気等に対応する施設。
女	関西圏	両親が鹿児島島の田舎の出身で、田舎の暮らしの大変さを身にしみて感じ
女	関西圏	ていますので、定住は全く考えていません。
女	関西圏	自然が豊かであること。
女	関西圏	田舎は空気がきれいといくつもの良いことがあるけれど、買い物の面や
女	関西圏	交通の不便さがある。
女	関西圏	のんびり自然と触れ合い、自給自足に近い生活をする。
女	関西圏	自然がありつつ、便利な生活ができる。
女	関西圏	近所付き合いがうまくいくように。
女	関西圏	医療機関との連絡が密であること。
女	関西圏	今のところあまり関心がないので、望むことが見当たりません。
女	関西圏	昔からの風習にこだわらず、新しい若い人の意見が聞いてもらえるよう
女	関西圏	な環境の中でなら生活してみたいかも。
男	首都圏	交通の便。
男	首都圏	生活の安定。
男	首都圏	友人
男	首都圏	家族が全員で住める。
男	首都圏	・どこの諸外国もそうだが年をとると都市的な利便性が重要(医療ケア、
男	首都圏	ある程度の密集、各種エンターテイメント...)
男	首都圏	若者が地方圏に住みやすい公的施策が必要。
男	首都圏	静かさ、やすらぎ。
男	首都圏	地方圏への定住は現在考えていない。
男	首都圏	定住を考えていないので、期待も要望もありません。
男	首都圏	今の年金だと仕事、田舎で生活できるだけの収入がないと難しい。
男	首都圏	収入を得ることのできる仕事と住宅。
男	首都圏	ゆったり、のんびりした生活。
男	首都圏	気の合う仲間で同じ地域に定住し、共同作業や協力しあいながら生活す
男	首都圏	る(特に老後)。
男	首都圏	自然を大事にしたい。
男	関西圏	あまり他人に干渉されない、静かな生活を望む。
男	関西圏	時間に縛られないような生活。
男	関西圏	生活費の捻出が十分できるか。
男	関西圏	生活に不便は感じないくらいい・・・
男	関西圏	定住は考えていません。年令を増す毎に環境の整った場所の方が老後は
男	関西圏	安心と考えます。自宅から出てすぐにスーパーがあり、医療も受けやす
男	関西圏	い。自宅はバリアフリーで安全。そのような環境が地方圏で整えば定住
男	関西圏	も期待できます。
男	関西圏	豊かな自然。

性別	住居エリア	内容
男	関西圏	あまり地方圏への定住を望まない。なぜなら日本独特の土着性がある、地元の人とよき付き合いをしたり、地元で溶け込む努力をするなどの行為があまりにもナンセンスに思うから。アメリカ人のように自由に居場所を変えられるのとは別問題だと思う。
女	首都圏	温泉がある所。
女	首都圏	周りの人とうまくやっていたりか心配なので、人柄がいい人が周りにいる程度でいい。
女	首都圏	ある程度の土地。
女	首都圏	病院があまり遠くなくある所。
女	首都圏	のんびり暮らす。
女	首都圏	周りがさびしくないとこ。
女	首都圏	便が悪いのは耐えられないと思うので、便もよく、自然も親しめる所。
女	首都圏	その地方圏に排他的な気質がないこと。
女	首都圏	インターネットが使えること。
女	首都圏	医療施設があること。
女	首都圏	定住するにあたって、まずその地域の暮らしについていけないのではないかと、不安が先に募る。
女	首都圏	自然が豊かで、交通の便がいい。
女	首都圏	厳しい自然より、楽しめる四季。
女	首都圏	DASH村のような、手作りの暖かさ。
女	首都圏	きれいな自然と空気。
女	首都圏	年をとって地方に移り住む場合はやはり地域の人々との交流などの機会に期待したい。
女	関西圏	自給自足のエコロジカルな生活。
女	関西圏	田舎の方々にいるいるなことを教えてもらい、また、祭りや町内会の活動などにも参加して、心安らかな老後を送りたいと思います。
女	関西圏	周りの人と仲良く暮らし、野菜などを作ってのんびり暮らす。
女	関西圏	交通が便利である。特に都会へのアクセス。
女	関西圏	高齢になると、だんだん身体が動かなくなってくるので、買物、交通の便利なこと。
女	関西圏	定住を考えていない。
女	関西圏	自然に囲まれ、のんびりとした所が希望だが、買物、医療などのある程度の便利さも必要だと思う。
女	関西圏	老後をゆっくりと過ごしたい変面、老後は医者との関係が切り離せないことがあり不安もある。出てくる不安を取り除けるなら定住も夢じゃなくなるかも。
男	首都圏	関心がないので、期待、要望なし。
男	首都圏	1. 都会にないゆとり。空気、水。
男	首都圏	2. 医療の充実（緊急時）。
男	首都圏	広い土地が購入でき、趣味であるバイクの集々場やミニ工場を作り、老後を過ごしたい。
男	首都圏	食生活に困る事のないような物資が備わっている事。
男	首都圏	全く関心がないので、特になし。
男	首都圏	・生活のための仕事のあり、なし(サラリーマン以外)。
男	首都圏	自然を含めた環境が良いこと。
男	首都圏	隣近所に気兼ねなく生活できること。
男	首都圏	大都市へのアクセスが良いこと。
男	首都圏	地域住民との交友。
男	首都圏	ゆったりとした生活。
男	首都圏	ある程度の金額を得られる仕事があることを要望します。
男	首都圏	自然
男	首都圏	時間に追われない生活。
男	首都圏	衣食住の環境が良いことに期待する。
男	首都圏	健康面から病院があること。
男	首都圏	地方圏のレベルが不明。
男	首都圏	健康で過ごすことができる環境が維持されること。
男	関西圏	TVのない生活。
男	関西圏	田舎であっても仕事があること。20年前に経験済みですので。
男	関西圏	医者が近くにあること。
男	関西圏	スーパーが近くにあること。
男	関西圏	田舎で生まれ育ったので、ゆっくは実家のある地方圏への定住を希望している。
男	関西圏	今、住んでいる所が田舎です(大阪の北部)。田舎への定住は考えていません。
男	関西圏	健康のため、空気のいい場所。
男	関西圏	食材、水のおいしいところで自然に暮らしたい。
男	関西圏	・公共交通の利便性。
男	関西圏	・医療機関のありなし。
男	関西圏	・自然災害の危険性。
男	関西圏	近所付き合いをしなが半自給生活し、ゆっくり時間の過ぎていくような暮らし。
男	関西圏	考えていません。
男	関西圏	家を安く貸してくれる。
男	関西圏	寒くない地方。
男	関西圏	海が近くにある。
男	関西圏	できればレストラン経営がしたい。
男	関西圏	定住は考えない。ずっと便利な所に住んでいて、親、子供も身近にいるので。

性別	住居エリア	内容
男	関西圏	防災の徹底。
男	関西圏	安全の確保。
男	関西圏	地方分権の徹底で、医療や教育など生活環境の充実を図って欲しい。
女	首都圏	緑の多い、広い敷地。
女	首都圏	家族だけの野菜作り。
女	首都圏	周りの人と楽しく、家庭菜園でもやりながら生活したい。
女	首都圏	自然と人間の温かさ。
女	首都圏	草花が大好きなので、庭が広く持てて、ベット運とゆったりとした生活ができればいいと思います。
女	首都圏	定住をしても、都会へたまには2-3時間出れる所が良い。
女	首都圏	田舎だからかなり大きい庭や家に住みたい。
女	首都圏	生活の便が良い事(買物・医療)。
女	首都圏	近隣との交流が持てる事。
女	首都圏	快適な住居の確保。
女	首都圏	定住はとも考えられない。
女	首都圏	やはり定住となっても生活するのに便利な所であって欲しい。
女	首都圏	地方圏に住んでも、近所との人間関係はあると思いますが、もう少しゆとりのある関係を保ちたいと思います。
女	首都圏	その土地の風習に慣れるのは大変だと思いますが。
女	首都圏	ゆっくりとした時間を送りたい。
女	首都圏	今現在、首都圏に近いが農業主体の生活であり、ここも地方圏かもしれない。すぐには考えられない。もっと都市化が進めば、将来は考えるかもしれない。
女	首都圏	いくつになっても暮らしやすい生活。
女	首都圏	近くにコンビニ・病院・スーパーなどがある。
女	首都圏	生活費が安い。
女	首都圏	住みやすい場所。
女	首都圏	古い家を購入して、野菜など自分で作って、暮らしたいと思っています。
女	首都圏	昔の自然が残っていたらいいなと思います。
女	首都圏	医療福祉の充実。
女	首都圏	医療設備が充実している。
女	首都圏	自分が満足できる住居が必要。
女	首都圏	自給自足の生活を送ってみたい。
女	首都圏	考えていない。
女	首都圏	定住を考えたことがないのでわからないが、公共事業の充実と医療機関と文化的行事と治安が良いこと。
女	首都圏	近所づきあい。
女	首都圏	ゆっくりできる。
女	首都圏	交通の利便性(自家用車を利用しない生活)。
女	首都圏	病院が近くにあること。
女	首都圏	スーパーマーケットに行けること。
女	首都圏	まったく考えていません。今(商売をしている)の所を離れたら生活して行けませんので。
女	首都圏	土地や家が広く、安く手に入れられ、できれば海の近く。
女	首都圏	定住したら自給自足の生活を送りたい。
女	首都圏	医療機関が十分であるか(総合病院が複数あるか)。
女	首都圏	病院までの時間が短時間(病気が多い病気をしたことはないが、高齢に向けて一番心配)。
女	首都圏	自然の中で暮らすという良い面ばかり思い描きますが、不便なことや金銭的なことへの不安があります。
女	首都圏	家が広くて、費用がかからなくのんびり気ままに生活できること。
女	首都圏	家の周囲が自然に囲まれて、川が流れて鳥達が遊び回り心も体もリラックスでき、癒されること。
女	首都圏	地方圏で子供に自然の素晴らしさと同時にその恐ろしさを学ばせたい。
女	首都圏	自然の中で自由にそのにおいに包まれて暮らしたい。
女	首都圏	地元の人達とうまく交流できること。
女	首都圏	医療施設の充実している場所。
女	首都圏	バスなどの便があること。
女	首都圏	集会所などの施設がある所。
女	首都圏	災害などに対する対応を発表している所。
女	首都圏	夫婦揃って健康であること。
女	首都圏	賃金は望まないが、安定した収入があること。
女	首都圏	家庭菜園できるくらい庭があること。
女	首都圏	子供達と月1回くらいの交流があること。
女	関西圏	排他的でないこと。
女	関西圏	・医療、ショッピング施設の充実。
女	関西圏	・災害に対する安全性(台風、地震対策)。
女	関西圏	空気がきれい水がおいしい。
女	関西圏	生活費が安く済む。
女	関西圏	ゆったりとした生活ができる。
女	関西圏	野菜などを作ってみたい。
女	関西圏	自然の中で暮らしたい。
女	関西圏	毎日自転車で行けるところにスーパーがあると良い。
女	関西圏	都会も少しは感じられるところがあると良い。
女	関西圏	年に1度は何か大きなイベントがあると嬉しい。



性別	住居エリア	内容
女	関西圏	静かな環境。
女	関西圏	医療関係は充実していて欲しい。
女	関西圏	バリアフリーな町作り。
女	関西圏	地域の交流。
女	関西圏	買物がしやすい。
女	関西圏	高齢になるので、ライフラインの充実。
女	関西圏	都市圏への行き来がしやすい環境(交通手段など)。
女	関西圏	不便な田舎でしたら病院に行くのが大変。常に医者がいて欲しいこと。
女	関西圏	個人の生き方が尊重されること、期待。
女	関西圏	すぐには思いつかない。
女	関西圏	田舎にある慣習やしきたり等、入って行きにくい所があるのでとは定住には不安あり。
女	関西圏	地方圏への定住は考えたことがありません。
女	関西圏	・家庭菜園など普段買っているような野菜を作ってみたい。・新鮮な野菜が食べられる。
女	関西圏	若い時は、どこへでも。でもある程度年を取ると自分の生まれた土地でと希望します。
女	関西圏	ほとんど考えたことがないので何とも言えない。
女	関西圏	車を持っていないので、交通の便が心配です。
女	関西圏	自給自足の信念のある方は、田舎への定住は素晴らしいと思えるでしょうが、歳が行けば反対に都心に住み、楽しく暮らすという考えもあるでしょう。私はどちらかと言えば後者で、年に2~3回田舎への旅行をして、のんびりできることがありがたいです。
女	関西圏	買い物近くでできたらいいなと思います。
女	関西圏	トイレが洋式。
女	関西圏	自然の中で暮してみたい。
女	関西圏	四季の移ろいを感じたい。
女	関西圏	医療機関を多くする。
女	関西圏	交通手段を多くする。
女	関西圏	豪雪地帯以外であること。
女	関西圏	自然がいっぱいの所。
女	関西圏	景色、空気のいい田舎でのんびり暮したい気持ちはありますが、公共施設やショッピングなどの利用がやすく、バス、電車の交通の便が良い場所であれば定住は考えられません。
男	首都圏	静かな場所。
男	首都圏	海が近い。
男	首都圏	安全なところ。
男	首都圏	病院が近くにある事。
男	首都圏	将来は田舎でも水洗トイレ(自家用浄化槽でも可)が使用できるようになる事が、田舎住まいの必須条件となっていくのではないかとと思う。
男	首都圏	ゆったりとした時間を過ごせるような環境にある地域。
男	首都圏	その地域の人々と交流して親睦を深める生活を送りたい。
男	首都圏	・空気がきれいで水がおいしい。
男	首都圏	・まわりの人が親切で気さく。
男	首都圏	・自分あるいは家族の健康のため。
男	首都圏	交通の便が良いこと。
男	首都圏	考えていないので、思い浮かばない。
男	首都圏	本当に地方圏へ定住しきれぬかは疑問。
男	首都圏	家庭菜園作りを指導してくれる方がいる地域。
男	首都圏	期待も望みもなし。ただ空気が良く、食べ物おいしいのんびりした生活をしたいです。
男	首都圏	田舎には住みたくない。
男	首都圏	年間を通して温かい場所が釣りができて畑があり、家庭菜園が楽しめるような所を期待。
男	関西圏	広すぎもせず、狭いこともなく程ほどの土地を所有したならば、ぶどう畑を作ってワイン作りに精を出してみたいと思います。
男	関西圏	定住は考えていない。
男	関西圏	・近所とのつきあい。
男	関西圏	別に田舎への定住は考えていない。若い頃ならいいが、年をとるとやっぱり無理な気がし、もし年をとって田舎暮らしを考えれば、周りに迷惑をかける気がする。
男	関西圏	空気がきれいで、風光明媚なところで、ゆったりとした生活がしたい。
男	関西圏	都会の事を忘れて、ゆったり生活。
男	関西圏	地域とのふれあい。
男	関西圏	身体の調子が悪くなった時や、事故などでけがをしたときに、十分な治療を受けられるように欲しい。
男	関西圏	生活費安く。
男	関西圏	1、病院が近い所。
男	関西圏	2、地震、水害等が少ない所。
男	関西圏	地域の人達との交流があればいいと思うが、煩わしい付き合いは？
男	関西圏	川が海があること。
男	関西圏	交通手段の確保。
女	首都圏	医療施設など不安があるので、希望しない。
女	首都圏	田舎に実家が空家となって存在するが、家も大きく庭も広いが、定住する気はまったくなし。狭くても便利な都会生活からは離れたくない。
女	首都圏	地域の交流。

性別	住居エリア	内容
女	首都圏	自給自足の生活。
女	首都圏	身体が不自由でなければ、大いに参加している色々な事を経験してみた
女	首都圏	地域になじめるような。
女	首都圏	物価の安さ。
女	首都圏	人情の厚さ。
女	首都圏	医療関係に住む近くにあれば安心です。
女	首都圏	広い土地。
女	首都圏	生活費が安い。
女	首都圏	健康に暮らせる所。
女	首都圏	山が近くにあり、小川が流れていればなお良い。
女	首都圏	畑をたがやしたい。
女	首都圏	空気、水がきれいなど都会にないものがありますが、年をとり田舎に住む時、日常生活に必要な買物をすることが少ないように思われます。車の運転もいつまでできるかわかりません。スーパーなどが近くにあると助かります。
女	首都圏	・医療や倉生活に多少便利なところを望みます。
女	首都圏	仲間の交流が欲しい。
女	首都圏	田舎への定住は考えられません。今後何かのアクションがあったらどう
女	首都圏	たく今までと違う人生を生きたいと思うようにでもなったら別です
女	首都圏	交通の便が良い所。
女	首都圏	住みやすい環境であること(病院、買い物場所が近くにあること)。
女	首都圏	のんびり暮らす。
女	首都圏	気候の良い所。
女	首都圏	新鮮な自然の食品。
女	首都圏	行くとしたら実家のある田舎にします。姉妹がいるから。
女	首都圏	一日がゆっくり、マイペースで住みたい。
女	首都圏	現在は車の運転をしますので、不便は感じませんが将来車に乗れなくなった場合の日常生活の上で、交通事情がもっと良くなって欲しい。
女	関西圏	・年齢が偏らずに自由な雰囲気、買物などが便利な場所で、緑がいっぱいある環境が良い。
女	関西圏	若い頃は自然の中で猫と暮らしたいと思っていましたが、だんだん健康上の不安が増え、今もし移住するとしたら、近くで生活に必要な買物ができ、医院の設備のあるところしか無理のようです。周りにとけこめることも必要ですし、気候の温暖なところでないといけません。
女	関西圏	時間に追われない日々。
女	関西圏	物作り...染色・木工・陶芸など、その土地にある物で。
女	関西圏	設備などが十分な病院が近くにあること。
女	関西圏	車を運転しないので、バス便が適度にあること。
女	関西圏	住居があること。
女	関西圏	社会的に文化と接触できること。
女	関西圏	交通の便。
女	関西圏	自転車で行けるお店、マーケット、スーパーがあること。
女	関西圏	人々の素朴さ
女	関西圏	公共機関、買い物、病院の便が良いこと。
女	関西圏	・農地、畑の確保と農作業道具提供/ノウハウの指導。
女	関西圏	その土地特有の考え方や、価値観があり年令を重ねてから、その土地になじむののではないのでしょうか？
女	関西圏	双方が互いを受け入れることができるなら、とても素晴らしいと思えます。
女	関西圏	高収入につながらなくとも何か"仕事"、といえるものにたずさわれるならば、より早く深く交流がはかれるのではないのでしょうか？
女	関西圏	田舎には親類、友達がいてのんびり、ゆったりと精神的にゆとりのある生活を期待する。
女	関西圏	病院や買物場所(大きくなくても良い)がやはり近くにあり、日常生活に困らないようにできる所。
女	関西圏	数年前までは田舎に住む事を夢見て、色々な所を見てまわったが、腰を痛めて今では病院も近いし、近所の人も親切なこの土地がよいので、地方で住むことは考えられない。
男	首都圏	周りにゆったりとした環境があること。
男	首都圏	野菜など作って食べられること。
男	首都圏	考えていない。自分が老化してきて、横浜市のような良い所から離れたくない。
男	首都圏	地域の方とコミュニケーション=情報交換が気軽にできること。
男	首都圏	気候が温暖で生活しやすいこと。
男	首都圏	畑などをやってみたい(野菜作り)。
男	首都圏	定住するところは決まっているので、とにかく花が好きなので、花に囲まれた生活をしたい。
男	首都圏	近くに老人ホームがあるので、転居するまでに何か老人ホームの人達に教えられるような資格を取りたい。
男	首都圏	近隣の住民との友好。
男	首都圏	ボランティア等、活発に活動可能な環境。
男	首都圏	自給自足がやりたい。空気がきれい、環境が良く、ストレスがたまらないような所であれば。
男	首都圏	老後のゆとりある生活。現在福島の浜通りに山林2500坪位所有している
男	首都圏	寒くない地方。
男	首都圏	のんびりと人間らしい生活。
男	首都圏	近くに大病院がある地方。

性別	住居型	内容
男	首都圏	暖かい地方。
男	首都圏	雑木林があって小川が流れている場所。
男	首都圏	自販機がない。
男	首都圏	人工の音がない。
男	首都圏	地域の閉鎖性が希薄であること。
男	首都圏	文化的運動が容易なこと。
男	首都圏	医療などのインフラの一定程度の整備がされていること。
男	首都圏	首都圏や地元主要都市へのアクセス(空港、鉄道など)が容易であること。
男	首都圏	野生動物と共存できるように行政で考えてもらいたい。
男	首都圏	定住する近くに総合病院が欲しい。
男	関西圏	その土地の人と、道ぶしん、川ざらえ、ゴミの収集、お祭りの準備、手分け、その他、その土地の共同作業をみんなでやる楽しさとつらさ、それが一番の良さだと思います(つまり、コミュニケーション)。ただし私自身は仕事上、田舎に定住することはできない。
男	関西圏	高齢になり(70歳)、山・川・谷がある静かな(田舎)所。
男	関西圏	ゆったりとした暮らし方。
男	関西圏	町へ出て行くのに、交通が便利な所に住みたい。
男	関西圏	昔ながらの風土と人の気質が残っている所(都市化されていない風景と人間関係)。
男	関西圏	ただし、医療施設(診療所)が整っている所。
男	関西圏	図書館・公民館施設がある。
男	関西圏	できれば、少し離れても温泉・海のある所。
男	関西圏	静かな環境は好きだが、日常生活に不便があると思う。
男	関西圏	永年暮らしており、愛着と安心感があり、本件設問には現状特に思い当たらない。
男	関西圏	元々お住まいの方とつかず離れずの関係で、互いに学ぶべき点を中心に交流したい。
男	関西圏	・自然が豊かであること。
男	関西圏	・交通があまり不便でないこと(買い物、病院など)。
男	関西圏	海が近く、人口の少ない所。
男	関西圏	畑があって、野菜は自給自足できる所。
男	関西圏	景色の良い所。
男	関西圏	買い物に便利な所。
男	関西圏	今のところ考えておりませんが、
男	関西圏	野菜を作りたい。
男	関西圏	ゆったりと生活できる。
男	関西圏	定住を考えるとしたら、立地条件の良い所で生活をしたい。
男	関西圏	向こう3軒、両隣的な生活。
男	関西圏	住みたい希望が多いにあったが、田舎の土地、家を処分したので今は願望のみである。
男	関西圏	現在地が都市田舎間であり、特に希望していないが、田舎には待木高齢になった時、交通(車の運転ができなくなった場合)や医療などの問題がある。
男	関西圏	家族が少なく家内と2人で地方圏となると、息子家族が淋しいかと思えばそれも実行できないかも知れません。
男	関西圏	ある程度文化的な生活が期待できる所。
男	関西圏	海、山がある所。
男	関西圏	高齢者も受けられるか。
男	関西圏	定住後の周囲の管理に馴染むか不安感あり。
女	首都圏	多く雪の降らない地方。
女	首都圏	定住する場所に医療施設があること。
女	首都圏	時間がゆっくり流れていくような生活。
女	首都圏	地域の行事には積極的に参加。
女	首都圏	海が見える気候の良い場所。
女	首都圏	野菜、果物の安い場所。
女	首都圏	町人が暮らす所でも、自治会のあり方をひとつ根本的に考え直して欲しい。特に田舎ほど新しい人が入りにくい、入りにくい、と思
女	首都圏	田舎に住むには人間関係が大変だと思います。
女	首都圏	私の希望は夏は北海道、冬は千葉で生活と考えております。山菜を採ったり温泉につかりのんびりと老後を考えております。
女	首都圏	もう少し年齢が若かったらと田植えを、麦踏みをと手伝った子供の頃を思うと"頑張る!!"ことを覚えたのはその頃。今の若者に欠けているのはこの点の体験なしと思われるが。
女	首都圏	まったく考えていません。
女	首都圏	通勤で都会に来て30年近く帰郷していませんので、帰っても周りの人になじめるか。都会育ちの子供達が一車両の電車をみてさみしいと言ったり、交通に不便を感じて田舎に行きたがらない、就職できる場がない、などの理由で田舎定住にまでいきません。
女	首都圏	森林のある水のきれいな所。
女	首都圏	環境の良い所。
女	首都圏	生まれも育ちも東京なので、日常生活に不便な所はとも定住できそうもない。
女	関西圏	まったく想像もできない。
女	関西圏	病院が近くにあり、安心して暮していける所。
女	関西圏	自然が多いところ。
女	関西圏	交通の便のよいところ。
女	関西圏	自然の中でゆったりと過ごしたい。

性別	住居型	内容
女	関西圏	田舎は大好きで、田園風景のある所に住みたいと思っただけですが、60歳を過ぎてから、新しい土地に馴染むことは非常に難しく、今のままの生活で終わりたい。
女	関西圏	平層の家でリビングとゆったりとした客間と少しの庭(家庭菜園ができる程度)。
女	関西圏	野菜などを作って、自然の中でのんびりと暮らしたい。
女	関西圏	住みやすく、周りの人が親切であること。
女	関西圏	土砂崩れしない所。
女	関西圏	田舎に住んでみて初めて色々なことを経験することであり、今は何も言えません。
女	関西圏	野菜など農家などから買ってもらう。
女	関西圏	祭りとか葬式とか古いしきたりには参加しない。
女	関西圏	プールなど施設があり老後充実した生活ができると良い。
女	関西圏	交通に便利なお店。乗り換えが多いと困る。都会と行ったり来たりできること。
女	関西圏	車がなくても生活できる所。
女	関西圏	歴史文化のある所。
女	関西圏	ただの過疎地では困る。
女	関西圏	田舎は空気もきれいだし、生活費も安くつくので、ゆったりと畑で野菜をいろいろ作ったりできれば良いと思います。
女	関西圏	医療面の充実。
女	関西圏	地域の人とすぐに溶け込めるようにお互いに努力をして欲しいし、自分達も努力する。
男	首都圏	田舎の定住に興味はあるが、実際に現住所から移住する気にはなれない(田舎住まいは嫌いでないということ)。
男	首都圏	病院設備の充実。
男	首都圏	交通手段の充実。
男	首都圏	高齢のため、体力を伴うボランティアなどは不可。
男	首都圏	自然の中で静かに暮らしたい気持ちは、多少持っている。
男	首都圏	1、医療施設。
男	首都圏	2、自由に利用できる公的な施設。
男	首都圏	病院がある。
男	首都圏	スーパーがある。
男	首都圏	・温暖なところ。
男	首都圏	・食材が多い。
男	首都圏	・近くにコンビニエンスストアとか、買物に便利な店があると良いと思う(本屋)。
男	首都圏	私は単身で家族がないので、考えられません。
男	首都圏	障害者でもありますので、考えられません。
男	首都圏	ケア付の老人ホーム。
男	首都圏	見晴らしの良い場所。
男	首都圏	特に海や落日も見える所。
男	首都圏	大都会の郊外など。
男	首都圏	仲間として気持ち良く受け入れてもらいたい。
男	首都圏	定住は考えていないが、しいて言えば、病院等福祉施設が充分整っている所。
男	首都圏	買物など、日常生活の便利なお店。
男	首都圏	近代的な生活ができる所。
男	首都圏	わずらわしくない程度に隣人とのコミュニケーションがとれる所。
男	首都圏	都会暮らしのわずらわしさから逃げるために、数日の滞在ならば夫婦で田舎で暮らしたい。
男	首都圏	普通程度の医療が受けられること。
男	首都圏	交通が便利で、のんびりと生活ができる所が良いと思う。
男	首都圏	1、温泉があること。
男	首都圏	2、広い庭でワトリが飼える。
男	首都圏	3、水洗トイレ。
男	首都圏	4、水に不自由しないところ。
男	首都圏	山が近く海に近い所が良い。
男	首都圏	・交通一つとっても車がないと生活できないと思う。
男	首都圏	山岳地方又は、海岸に近い所で比較的温暖地である。
男	首都圏	畑仕事のできる多少の土地がある。
男	首都圏	災害の少ない、起きにくい所。
男	首都圏	近く10km位の所に、あまり大きくない適当な町がある。
男	首都圏	安くない家に出会う。
男	首都圏	都会にいつでも行ける。
男	首都圏	私は都会生活だけでしたので、高齢のため田舎の不便なところには住めません。
男	首都圏	買物、移動のための交通、病院等。
男	首都圏	田舎のことはあまり知らないで、関心がない。
男	首都圏	農作物を作りたい。
男	首都圏	できるだけ海に近く、温泉地なら良い。
男	首都圏	現在月に、東京で15日位、田舎で15日位の生活を4年続けている。田舎では、月29の2、3、4、5、7を羨んでいる。
男	首都圏	要望としては病院、スーパーが歩いていけるところにあって欲しい。

性別	住居エリア	内容
男	首都圏	妻と散歩(10km位)をするのが好きなので、所々に公衆トイレがあって欲しい。
男	首都圏	医療施設が整っていること。
男	首都圏	住居の入手が簡単にできること。
男	首都圏	気候が良い所が良い。
男	首都圏	特になし。田舎への定住は無理だと思うので。
男	首都圏	近くに楽しめる施設があれば良い。
男	首都圏	都市圏に長く住んでいるので、地方圏に都市の利便さを期待することは無理なので要望することはない。
男	首都圏	公共施設が周りにある(郵便局、銀行、病院、学校、公共交通など)。
男	首都圏	川や海、温泉など、自然な遊興環境がある。
男	首都圏	生活の利便性がある(スーパーや商店街)。
男	首都圏	年令を増すと健康に自信がなくなり病院等の施設が地方では充分と言えないのが不安です。
男	首都圏	高齢者の立場から、医療設備がある程度整っていること。
男	首都圏	長期は少し厳しいかな。
男	首都圏	水と空気がきれいな所でゆったりしたい。
男	首都圏	人間関係がスムーズに行くこと。
男	首都圏	買い物や交通が便利。
男	首都圏	都会と同じ程度の文化、教育を受けられる。
男	首都圏	私は中学三年まで田舎にいました。もう東京の方が長いので東京に友人が多く楽しい生活をしています。一生の仕事を持っていますので、体力が続く限り仕事をしてみたいと思っています。
男	首都圏	年令、体力に合うような農作業がしてみたい。
男	首都圏	交通機関が良いこと。
男	首都圏	高齢のため、近くに病院等医療設備があること。
男	首都圏	隣近所が良い人ばかりなので考えることはない。
男	首都圏	地方圏に定住の場合に近所に病院等があれば良い。
男	首都圏	ゆったりとした生活ができる。
男	首都圏	空気が水がきれい。
男	首都圏	比較的交通の便の良い所。
男	首都圏	医療関係の多い所。
男	首都圏	温泉があればいい。
男	首都圏	医療施設の充実。
男	関西圏	セカンドハウスのような考えである。従って、猛暑の時などに。
男	関西圏	期待は、空気が川がきれいゆったりとした毎日の生活で、健康にもプラスだと思う。
男	関西圏	要望は、現在生活しているところと、同じ程度のライフラインが希望で自然の中でできる限り自活してみたい。
男	関西圏	私は田舎育ちですので、あまり田舎は好きではありません。
男	関西圏	子供や妹や親戚の者が阪神間に定住しておりますので。
男	関西圏	気候の良い土地。
男	関西圏	私は田舎生粋で20才頃を過ぎました。小川では魚を取りメダカ・鮒・鯉も多々たくさん泳いでおりました。そんな環境の中で生活(余生)したい気持ちがあります。
男	関西圏	自然のきれいな空気の中で、おいしい野菜を作りたい。
男	関西圏	都会生活と変わらない情報。
男	関西圏	自然食品。
男	関西圏	別に地方に行きたいと思いません。
男	関西圏	地方圏への定住も面白いと思いますが、その土地の人々との付き合い、風習に馴染めるか、病気になったときの対応が心配です。
男	関西圏	特になし。現在の住居を離れたいくない。
男	関西圏	老後をゆっくりと生きたい。
男	関西圏	実家(所有)が田舎にあり、定住はいつでもできるが、現在地との関係もあり、先はまだわかりません。
男	関西圏	環境。
男	関西圏	病院やミニスーパーが近くにあること。
男	関西圏	現在、住んでいる方が期間が長く、友達も多いので離れて住みたくな
男	関西圏	・病院があること
男	関西圏	・買物の場所がある。
男	関西圏	・交番がある。
男	関西圏	田舎でも比較的交通の便が良いこと(公共の交通機関、電車等)。
男	関西圏	・畑作りなど、自然の中でのびのびと暮らしたい。
男	関西圏	子供時代は田舎育ちで成人になり都会に出て来た。田舎の良さは理解できるが、生活となると考えることが多々あり現状では田舎へ定住するつもりはない。たまに行くのが良い。
男	関西圏	妻が持病等で意見を異にするので実現は難しいが我自身は、自由で気ままな田舎生活に憧れている。自然採取や養殖畑作飼育などマイペースで思う存分にできれば良いと思っている。
男	関西圏	子供が都市圏に居りますので、田舎への定住は無理です。
男	関西圏	実家が田舎にありますが、病気があるため通院が不便ですので、今の土地から離れることができませんので、悪しからず。
男	関西圏	私が現在居住している地域にある公共サービス、図書館、プール、トレーニングジム等。
男	関西圏	また私的には各種交通機関の便及び、かかりつけの診療所、また現在地に住んで47年、友人も多く子ども達や孫達が近くに住んでいるため、現在地を離れる気持ちはありません。

性別	住居エリア	内容
男	関西圏	貸し農園、野菜自給自足。
男	関西圏	野菜などは自作したい。
男	関西圏	田舎でも、病院、スーパーが近くにあること。
男	関西圏	定住地のそばに小川が流れている。
男	関西圏	家庭菜園ができる。
男	関西圏	地方の人々と気楽に付き合いができること。
男	関西圏	祭りごとや集会で、特別扱いされないこと。
男	関西圏	定住するには山間部は避けたい。平地地というが平野で空気のきれいで少し野菜の作れる田畑100坪程のできる所。
男	関西圏	道路が整備している所。車が激しく通り、排気ガスだらけは困る。
男	関西圏	河川の堤防の決壊しないよう完備されている所。
男	関西圏	無医村でない地方。
男	関西圏	定住先の人達と仲良く溶け込んで号に入れば号に従って一生楽しく暮せる所。
男	関西圏	先住者と仲良くできるか、先住者に色々教えてもらいたい。
男	関西圏	私は滋賀県彦根市の出身で大阪に来て50年です。仕事の関係で旅行で国内の方々に行きましたが、古里彦根は「城、山、琵琶湖」など最高の町と誇りを持っております。定住の第一希望地です。
男	関西圏	近くに温泉場があれば良い。
男	関西圏	風景が良い所。
男	関西圏	バリアフリー化の進んでいる所。
男	関西圏	隣人との心の通じた生活。
男	関西圏	生活費が安く上がる(ただし生活の利便性、病気になった場合に不安はあるが)。
男	関西圏	自然の中に十分レジャーが楽しめる所。
男	関西圏	自然の中でゆったりとした生活。
女	首都圏	医療が整っていること
女	首都圏	文化、教育、娯楽へのつながりが保てること。
女	首都圏	豊かな自然。
女	首都圏	70才にもなりますと、今までの友人、病院など変えるつもりはまったくありません。
女	首都圏	病院、買物等が遠くないところに住みたいです。
女	首都圏	田舎への定住はまったく考えてません。田舎への旅は楽しいですが、暮すなら都会という私の好みは、若い時から変わりません。
女	首都圏	年齢とともに寒いところでの生活を望みません。暖かく、体に良い土地であること。
女	首都圏	山、坂が急でないこと。
女	首都圏	バス、電車で買物などに出かけられること。
女	首都圏	買物が近くでしたい。
女	首都圏	年老いて行くので、病院、役場その他の公的施設が、居住する場所に近いところにある...が第一目標です。
女	首都圏	私は田舎から現在地に住むようになったのです。それは、田舎に住んでいるは子供達を高校、大学に進学させられなかったのです。これらが補えれば、田舎のほうが良いと思います。
女	首都圏	体が弱いから行かれません。
女	首都圏	空気がきれい。
女	首都圏	災害が少なく安全である事。
女	首都圏	交通がいきとどいている。
女	首都圏	お店がある(食品など)。
女	首都圏	医療の面が充実している事。
女	首都圏	日用品が簡単に手に入る事。
女	首都圏	地方圏への生活は考えた事もない。なぜなら、子供の頃は戦時時代で田舎生活をしてきた。学生時代の友人が田舎に多く住んでおり、今でも訪問したり、畑の収穫物が届けられるから(例えばトウモロコシ・ジャガイモ)。
女	首都圏	安い住居。
女	首都圏	田舎で暮らす可能性は全くないので、期待も要望もありません。
女	首都圏	家庭菜園などの指導。
女	首都圏	年を重ね、一人暮らしとなった現在は、友人のいる現在の所から遠く離れた所には、行きたくありません。
女	首都圏	買物に便利な所(1km位)。
女	首都圏	交通の便の良いことに期待したいです。
女	首都圏	今の所、予定がありません。
女	首都圏	自然の中でのんびりとした生活。
女	首都圏	高齢のため、医療に関して心配なので(住み慣れた場所より別れられな
女	首都圏	食べ物がおいしいところ。
女	首都圏	現在、農専地区内で生活しているので、満足している。
女	首都圏	友達がいなくなるので二の足をふむ。関心はあるが不便か?
女	首都圏	民家が多少あって隣近所と仲良くしたい。
女	首都圏	自然に囲まれた環境の良い所。
女	首都圏	若い年代ならば色々考えますが、高齢時代に入りますと都会の交通便利、ショッピング、友人との関係、だんだん住み慣れた町、便利人恋しくなりますので、今更田舎には住んでみたいとは思いません。時々訪れることでいいと思っています。
女	首都圏	自然の豊かな所
女	首都圏	空気がきれいいて水がおいしい。
女	首都圏	生活費が安くすむ。

性別	住居エリア	内 容
女	首都圏	野菜作り。
女	首都圏	空気がきれいで水がおいしい。
女	首都圏	地震でもなり、非難するとなれば田舎に行くようななと思う。
女	首都圏	人間関係が円滑なこと。
女	首都圏	経済的な面でも安定している所。
女	首都圏	田舎に定住は考えてない。
女	首都圏	のれんや家庭菜園でもして、農家の父と仲良く交流したい。福は以前 の経験がありますので、田舎の付き合い方のわずらわしさがわかります ので冠婚葬祭等が大変です。それ等がなければ年齢的に田園生活も良い です。
女	首都圏	医療の充実が必要です。地域ぐるみでの診療ができれば良いと思いま
女	首都圏	福祉関係が充実している所に住みたいです。
女	首都圏	10年位前までは地方に住むことも考えましたが、高齢とともに娘達とあ まり遠くに住むことを止めました。孫も面倒を見ることもありますし、 今のところ元気で好きなことをしています。
女	首都圏	近くに商店街がある所。
女	関西圏	今は定住は考えてない。定住するなら不安がない。
女	関西圏	気持ちの安住を望みます。
女	関西圏	近くに医院がある。
女	関西圏	温泉があれば最高です。温泉でなくても銭湯でもいいです。
女	関西圏	近くに川があって欲しい。
女	関西圏	交通
女	関西圏	今住んでいる所が田舎だから。
女	関西圏	医療関係
女	関西圏	交通の便が良い事。
女	関西圏	持ち家であり野菜作りをしており、子供達と離れることになるので、地 方圏への定住は無理。
女	関西圏	高齢と共に生活圏が狭くなる由。自分での行動に自信がない。病院等の 不安があり、生きる自身をなくす。
女	関西圏	医療施設が歩いて30分前後にあれば良い。
女	関西圏	介護支援
女	関西圏	スーパー等の施設。
女	関西圏	何分、もう高齢のため、望めぬことと思います。
女	関西圏	下、聞かぬものですか？私は山言言らでずが生六が都合の天なので... それに主人が車に乗れません。田舎で車無しで生活は無理と思いたすの です。
女	関西圏	お水(河、川)が近くにある、山あり川ありに住んでみたいと思いま すが、身体を丈夫にしなければと考えております。真夏の都会暮らしは特 に辛いのです。
女	関西圏	地方圏への移住は考えたこともなく、今の住まいが気に入っています し、もし地方に移住するとすれば不動産の管理のこともあり、私の実家 も近くにあり、ここが私の故郷と思っていますので、この土地に永住し たいと思っています。
女	関西圏	足が不自由なので交通が便利な地方を望みます。
女	関西圏	衣食住、何れも質素に暮らせる自信があるから生活費が少なくてもやれ ると思う。
女	関西圏	洋裁、手芸、クラフトなど一緒に楽しみたい。
女	関西圏	趣味として歌い続けたコーラス、童謡、懐メロなどのグループを作り上 げたい。
女	関西圏	住みたくない。
女	関西圏	病院(総合)公共の設備が整っていて20～30分で行ける所。
女	関西圏	1年に1回～2回の楽しいイベント等があると良い。例えば村祭り等 で全国から人々が集うとか、胸がわくわくする等。
女	関西圏	体に自信がないので(股関節右変形性膝関節症)年をいけば便利な良い町 で過ごしたい。
女	関西圏	病気がちの身故病院等(開業医)が少ない。また急を要するさい不便であ る。
女	関西圏	・交通の便。
女	関西圏	・医療機関。
女	関西圏	年齢的にも健康が心配なので医療機関が整っていること。
女	関西圏	物資の流通が早い地方。
女	関西圏	人間関係の問題。
女	関西圏	空気のきれいな所でゆったりと野菜など作ってみたい。
女	関西圏	景色のきれいな自然の中で、のんびりしたい。
女	関西圏	素朴な人達との交流。
女	関西圏	自然いっぱいの風景。
女	関西圏	野菜やお花を作ってみたい。
女	関西圏	温泉がある。
女	関西圏	農業ができる。
女	関西圏	現在は買い物便利ですね(スーパー等多いので)。空気もきれいで す。知らない人でも地域友好をすれば和合できると思います。今のとこ ろはまだ町で暮したいと思います。
女	関西圏	これ以上自然を壊さないで欲しい。
女	関西圏	健康面で充実しているなら田舎に住んでも良い。
女	関西圏	空気がきれいで水がおいしい。
女	関西圏	生活費が安く済む。
女	関西圏	周りの人が親切で気さくである。
女	関西圏	自然環境が良い。
女	関西圏	買い物に困らない。
女	関西圏	安全性のあることを要望します。

## 7. モデル事業モニター募集告知先リスト

### (1) ボランティアセンター

名称	パンフレット配布部数
社会福祉法人 東京都社会福祉協議会	30部
社会福祉法人 千代田区社会福祉協議会	30部
社会福祉法人 中央区社会福祉協議会	30部
社会福祉法人 港区社会福祉協議会	30部
社会福祉法人 新宿区社会福祉協議会	30部
社会福祉法人 文京区社会福祉協議会	30部
社会福祉法人 台東区社会福祉協議会	30部
社会福祉法人 墨田区社会福祉協議会	30部
社会福祉法人 江東区社会福祉協議会	30部
社会福祉法人 品川区社会福祉協議会	30部
社会福祉法人 目黒区社会福祉協議会	30部
社会福祉法人 大田区社会福祉協議会	30部
社会福祉法人 大田区社会福祉協議会	30部
社会福祉法人 世田谷区社会福祉協議会	30部
社会福祉法人 渋谷区社会福祉協議会	30部
社会福祉法人 中野区社会福祉協議会	30部
社会福祉法人 杉並区社会福祉協議会	30部
社会福祉法人 豊島区社会福祉協議会	30部
社会福祉法人 北区社会福祉協議会	30部
社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会	30部
社会福祉法人 板橋区社会福祉協議会	30部
社会福祉法人 練馬区社会福祉協議会	30部
社会福祉法人 足立区社会福祉協議会	30部
社会福祉法人 葛飾区社会福祉協議会	30部
社会福祉法人 江戸川区社会福祉協議会	30部
社会福祉法人 武蔵野市社会福祉協議会	30部
社会福祉法人 三鷹市社会福祉協議会	30部
社会福祉法人 調布市社会福祉協議会	30部
社会福祉法人 町田市社会福祉協議会	30部
社会福祉法人 国分寺市社会福祉協議会	30部
社会福祉法人 国立市社会福祉協議会	30部
社会福祉法人 狛江市社会福祉協議会	30部
社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会	30部
社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会	30部

社会福祉法人 横須賀市社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 藤沢市社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 茅ヶ崎市社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 さいたま市社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 千葉県社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 千葉市社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 兵庫県社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 神戸市社会福祉協議会	30 部
社会福祉法人 京都府社会福祉協議会	30 部

( 2 ) カルチャーセンター

名称	パンフレット配布部数
NHK文化センター	50 部
東急カルチャーセンター B E 渋谷校	30 部
早稲田大学エクステンションセンター 早稲田校	30 部
カルチャースクールセイルズ	30 部
朝日カルチャーセンター新宿教室	30 部
朝日カルチャーセンター立川教室	30 部
朝日カルチャーセンター横浜教室	30 部
朝日カルチャーセンター湘南教室	30 部
朝日カルチャーセンター千葉教室	30 部
朝日カルチャーセンター芦屋教室	30 部
朝日カルチャーセンター川西教室	30 部
朝日カルチャーセンター神戸教室	30 部
朝日カルチャーセンター東大寺教室	30 部
朝日カルチャーセンター近鉄奈良駅ビル教室	30 部
朝日カルチャーセンター千里教室	30 部
朝日カルチャーセンター大阪・中之島教室	30 部
朝日カルチャーセンター京都教室	30 部

( 3 ) インターネット

名称	URL
e- ボランティア・ネット	<a href="http://www.e-volunteer.ne.jp/index.shtml">http://www.e-volunteer.ne.jp/index.shtml</a>
e- 募集ドットコム	<a href="http://www.e-boshuu.com/">http://www.e-boshuu.com/</a>

all about japan	<a href="http://allabout.co.jp/">http://allabout.co.jp/</a>
NPO/NGO walker	<a href="http://www.npo.info/">http://www.npo.info/</a>
Yahoo!掲示板 ボランティア活動	<a href="http://messages.yahoo.co.jp/">http://messages.yahoo.co.jp/</a>
田舎暮らしの本 HP	<a href="http://www.takarajimasha.co.jp/inaka/">http://www.takarajimasha.co.jp/inaka/</a>
公募ガイド	<a href="http://www.anystyle.jp/koubo/">http://www.anystyle.jp/koubo/</a>
アクティブライフ	<a href="http://www.ac-life.com/">http://www.ac-life.com/</a>
シニア・ナビ	<a href="http://www.senior-navi.com/">http://www.senior-navi.com/</a>
エルダーの旅倶楽部	<a href="http://www.elder.or.jp/">http://www.elder.or.jp/</a>
ふるさと回帰ネット	<a href="http://www.furusatokaiki.net/">http://www.furusatokaiki.net/</a>
新現役ネット	<a href="http://www.shingeneki.com/index.shtml">http://www.shingeneki.com/index.shtml</a>
エルダータウンネット	<a href="http://www.elder-town.com/">http://www.elder-town.com/</a>
人生の後半戦フォーラム	<a href="http://forum.nifty.com/f2ndhalf/">http://forum.nifty.com/f2ndhalf/</a>
ボランティアウェブ	<a href="http://www.npo-homepage.go.jp/volunteer.html">http://www.npo-homepage.go.jp/volunteer.html</a>
NHK ボランティアネット	<a href="http://www.nhk.or.jp/nhkvnet/top.html">http://www.nhk.or.jp/nhkvnet/top.html</a>
ViVa! ボランティアネット	<a href="http://viva.cplaza.ne.jp/">http://viva.cplaza.ne.jp/</a>
IT ボランティアホームページ	<a href="http://www5a.biglobe.ne.jp/~tnozu/">http://www5a.biglobe.ne.jp/~tnozu/</a>
大阪ボランティア協会	<a href="http://cw1.zaq.ne.jp/osakavol/">http://cw1.zaq.ne.jp/osakavol/</a>
東京ボランティア・市民活動センター	<a href="http://www.tvac.or.jp/">http://www.tvac.or.jp/</a>
日本青年福祉協会	<a href="http://www.jyva.or.jp/index2.html">http://www.jyva.or.jp/index2.html</a>
神奈川県国際交流協会	<a href="http://www.k-i-a.or.jp/">http://www.k-i-a.or.jp/</a>
i-Ten-Labo	<a href="http://www.kyoto-v.com/">http://www.kyoto-v.com/</a>
関西学生報道連盟	<a href="http://www.unn-news.com/">http://www.unn-news.com/</a>
時計台 NET 掲示板	<a href="http://www.tokeidai.net/bbs/main/main.cgi">http://www.tokeidai.net/bbs/main/main.cgi</a>
メロウ倶楽部	<a href="http://www.mellow-club.org/">http://www.mellow-club.org/</a>

(4) その他

名称	告知方法
都内の私立大学クラス会	パンフレットを個人宛に送付(30部)
民間企業OB会	メールリングリストにて告知

## 8. モデル事業モニター募集チラシ

(表面)

心に残る体験。心にしみる体験。

# 「ボランティアホリデー」 モニター募集のご案内



### “ボランティアホリデー”とは？

都市部にお住まいの方がボランティア活動しながら地方圏に長期滞在。訪問地での様々なボランティア活動を通して、地域貢献するだけでなく、地元の方々と交流する機会が生まれ、一般的な観光旅行とは一味違った体験をすることができます。

### “モニター募集！”

そこで今回ボランティアホリデーの可能性を探るための実証実験として、北海道・東北・四国・九州の4地域でそれぞれモニターを募集いたします。

#### 第1次

2004年11月14日(日)～11月20日(土)  
(泊7日)

行き先：下記市町村のうちのいずれか1箇所  
(北海道)阿寒町、女満別町、斜里町、常呂町  
(山形県)山形市、天童市、東根市、河北町

#### 第2次

2004年11月28日(日)～12月4日(土)  
(泊7日)

行き先：下記市町村のうちのいずれか1箇所  
(高知県)安芸市、夜須町、大方町、西土佐村  
(鹿児島県)出水市、阿久根市、高尾野町、東町、  
長島町、野田町

**定員】**:各市町村2名程度

**料金】**: 宿泊費・航空券にかかる費用は無料

**条件】**: 関東圏もしくは関西圏にお住まいで20歳以上の男女 (資格等、特技・技術をお持ちの方は特に歓迎いたします。)

**ボランティア内容】**: ツルの餌付け、まりもの保護、特産品のパッケージデザイン、ラ・フランスの収穫、焼酎工場での作業、天日による塩づくり、ネイチャーウォッチングガイドの手伝いなど、地域の特性に応じたボランティアメニュー

**ボランティア活動】**: 1日4、5時間程度。ボランティア活動以外の時間は地域の人との交流や観光など。

**締切】**: <第1次> 2004年11月1日(月)まで <第2次> 2004年11月15日(月)まで

### 【申込み・問い合わせ先】

株式会社 富士通総研 PPP推進室 担当: 中井、石川  
電話 : 03-5401-8326 (平日9:00～17:30まで) FAX : 03-5401-8439  
e-mail : vol\_h@fri.fujitsu.com HP : <http://www.fri.fujitsu.com/volunteer/>  
〒105-0022 東京都港区海岸1-16-1 ニューピア竹芝サウスタワー11F

応募フォーマットに必要事項を記入の上、FAXか郵送、メールでご応募ください。

第1次 第2次とも行き先のご希望には添えない場合があります。

ボランティア内容は予告なしに変更することがあります。

終了時にアンケートにご協力いただきます。

宿泊費・航空券以外の費用は自己負担となります。

モニターの選定に際しては面接等を行う場合があります。

北海道運輸局 ・ 東北運輸局 ・ 四国運輸局 ・ 九州運輸局



